

東郷町
地域福祉に関するアンケート調査
【調査結果報告書】

令和 7 年 2 月

東 郷 町

目 次

I . 調査の概要.....	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査方法及び回収結果	1
(3) 報告書の見方.....	2
II . 調査結果.....	3
(1) 町民調査.....	3
1. 回答者自身のことについて.....	3
2. 地域福祉や手助けについて.....	11
3. 地域での助け合いについて.....	24
4. 日常生活や地域活動について.....	35
5. 地域福祉全般について.....	73
6. その他・自由回答.....	109
(2) 民生委員・児童委員調査.....	112
1. 活動の状況について.....	112
2. 地域について.....	117
3. 地域福祉の推進について.....	125
4. その他・自由意見.....	127
(3) 区長・自治会長調査.....	131
1. 活動の状況について.....	131
2. 地域について.....	135
3. 地域福祉の推進について.....	142
4. その他・自由意見.....	144

I. 調査の概要

(1) 調査の目的

「第2次東郷町地域福祉グランドデザイン」策定の基礎資料とするため、町内在住の18歳以上の一般町民2,000人、町内の民生委員・児童委員47人、町内の区長・自治会長18人を対象に、地域福祉に関するアンケート調査を実施しました。

(2) 調査方法及び回収結果

調査方法及び回収結果は下記のとおりです。

区分	抽出方法	調査方法	調査期間
18歳以上の一般町民	無作為抽出	郵送配布・郵送回収 もしくはWEB回答	令和6年12月2日～ 12月15日
民生委員・児童委員	全数調査	直接配布・郵送回収	令和6年12月9日～ 12月20日
区長・自治会長	全数調査	郵送配布・郵送回収	令和6年12月2日～ 12月15日

区分	配布数(A)	回収数(B)	回収率(B/A)
18歳以上の一般町民	2,000	816	40.8%
民生委員・児童委員	47	42	89.4%
区長・自治会長	18	18	100.0%

(3) 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は、有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答がない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- クロス集計表の表側（左端の分類層）は「不明・無回答」を除いているため、各層の実数と集計対象の総数が一致しないことがあります。
- 本文中の分析文やグラフ・表中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載していますが、一部、必要に応じて省略しています。
- 表中の網掛けは、「不明・無回答」を除き、最も割合の高い項目と2番目に割合の高い項目で表しています。なお、回答者総数(n)が10未満の場合は順位づけを省略し、評価の対象外としています。
- 18歳以上の一般町民調査において、経年比較で使用したデータの調査名は下記のとおりです。

資料名	区分	配布数 (A)	回収数 (B)	回収率 (B/A)
地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に向けたアンケート調査【調査結果報告書】 (平成31年3月 東郷町)	18歳以上の 一般町民	2,000	788	39.4%

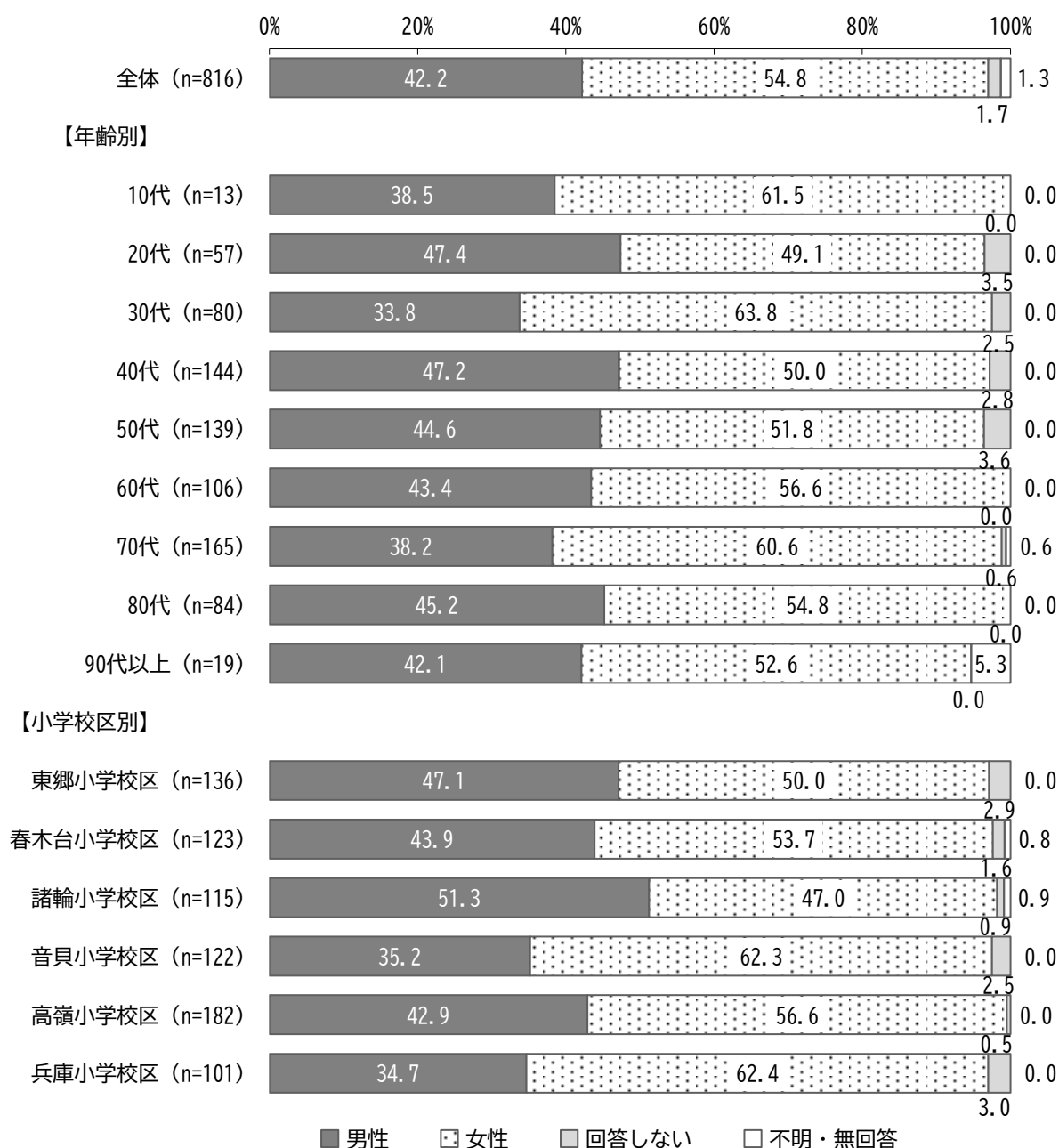
Ⅱ. 調査結果

(1) 町民調査

1. 回答者自身のことについて

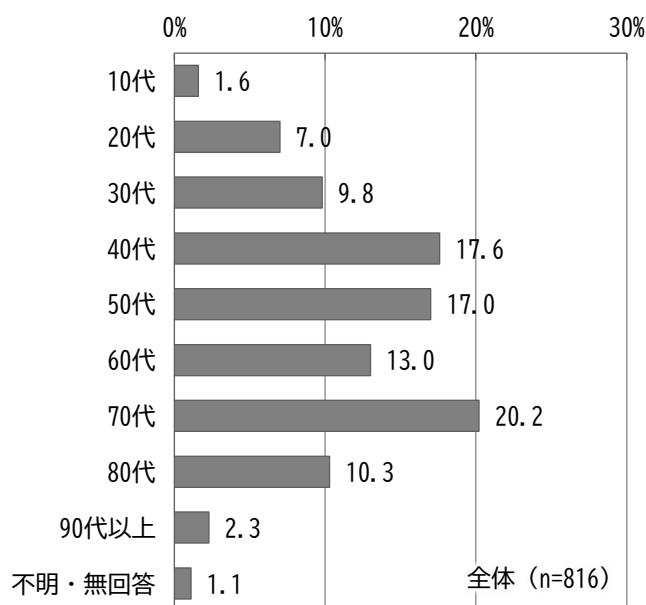
問1 あなたの性別を教えてください。(単数回答)

「男性」が42.2%、「女性」が54.8%、「回答しない」が1.7%となっています。



問2 あなたの令和6年11月1日現在の年齢を教えてください。(単数回答)

「70代」が20.2%と最も高く、次いで「40代」が17.6%、「50代」が17.0%となっています。



■クロス集計

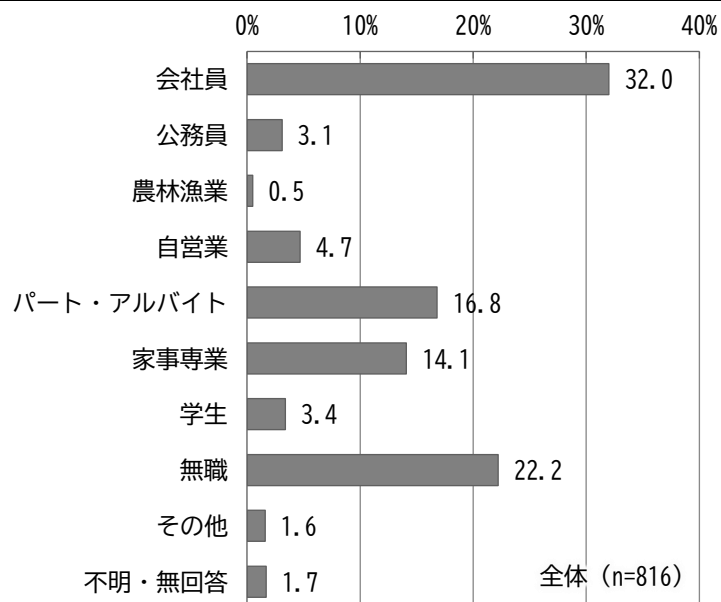
(単位：%)	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	不明・無回答
【性別】										
男性(n=344)	1.5	7.8	7.8	19.8	18.0	13.4	18.3	11.0	2.3	0.0
女性(n=447)	1.8	6.3	11.4	16.1	16.1	13.4	22.4	10.3	2.2	0.0
【小学校区別】										
東郷小学校区(n=136)	2.9	11.8	11.8	20.6	15.4	11.0	19.1	7.4	0.0	0.0
春木台小学校区(n=123)	2.4	3.3	8.9	17.1	13.0	16.3	30.1	8.9	0.0	0.0
諸輪小学校区(n=115)	0.9	5.2	9.6	16.5	17.4	12.2	24.3	10.4	3.5	0.0
音貝小学校区(n=122)	3.3	4.1	9.0	19.7	20.5	13.9	16.4	12.3	0.8	0.0
高嶺小学校区(n=182)	0.5	6.6	6.0	11.0	17.0	13.2	23.6	15.9	6.0	0.0
兵庫小学校区(n=101)	0.0	11.9	14.9	24.8	21.8	12.9	7.9	4.0	2.0	0.0

問3 あなたの職業を教えてください。(単数回答)

「会社員」が32.0%と最も高く、次いで「無職」が22.2%、「パート・アルバイト」が16.8%となっています。

性別でみると、男性で「会社員」が47.4%、女性で「パート・アルバイト」が25.7%と、それぞれ最も高くなっています。

年齢別でみると、10代で「学生」が、20～60代で「会社員」が、70代以上で「無職」が、それぞれ最も高くなっています。



■クロス集計

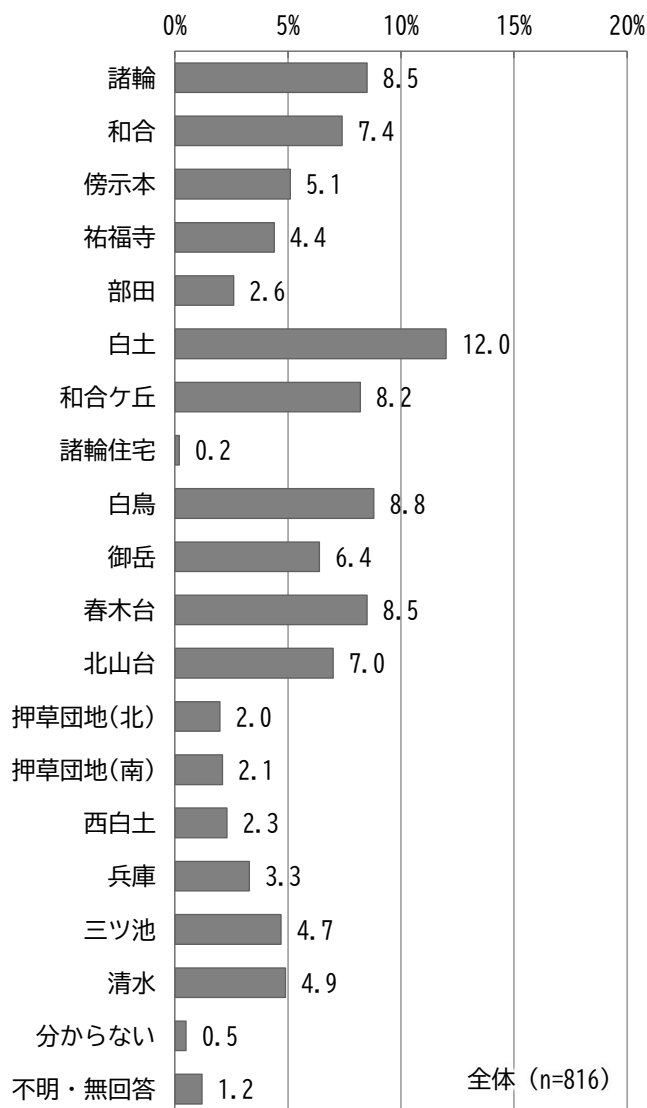
(単位：%)	会社員	公務員	農林漁業	自営業	パート・アルバイト	家事専業	学生	無職	その他	不明・無回答
【性別】										
男性(n=344)	47.4	4.1	0.9	7.8	4.9	0.3	2.9	29.9	0.9	0.9
女性(n=447)	20.4	2.5	0.2	2.2	25.7	25.3	4.0	17.4	1.8	0.4
【年齢別】										
10代(n=13)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	84.6	7.7	0.0	7.7
20代(n=57)	52.6	8.8	0.0	0.0	3.5	3.5	28.1	0.0	1.8	1.8
30代(n=80)	48.8	7.5	1.3	6.3	21.3	8.8	0.0	2.5	2.5	1.3
40代(n=144)	56.3	2.8	0.0	4.2	25.7	5.6	0.7	2.8	2.1	0.0
50代(n=139)	51.1	4.3	0.0	7.9	23.7	5.8	0.0	5.0	2.2	0.0
60代(n=106)	30.2	3.8	0.9	3.8	27.4	20.8	0.0	13.2	0.0	0.0
70代(n=165)	4.2	0.0	1.2	4.8	10.9	29.7	0.0	46.7	1.8	0.6
80代(n=84)	1.2	0.0	0.0	2.4	1.2	22.6	0.0	70.2	1.2	1.2
90代以上(n=19)	0.0	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	89.5	0.0	0.0
【小学校区別】										
東郷小学校区(n=136)	39.7	2.9	0.7	4.4	15.4	12.5	4.4	18.4	0.7	0.7
春木台小学校区(n=123)	31.7	3.3	0.0	4.9	18.7	14.6	2.4	21.1	1.6	1.6
諸輪小学校区(n=115)	29.6	0.9	2.6	10.4	13.9	11.3	4.3	27.0	0.0	0.0
音貝小学校区(n=122)	28.7	5.7	0.0	3.3	23.0	14.8	3.3	20.5	0.0	0.8
高嶺小学校区(n=182)	24.2	3.3	0.0	3.8	14.3	17.0	1.6	33.0	2.7	0.0
兵庫小学校区(n=101)	42.6	2.0	0.0	1.0	20.8	13.9	6.9	7.9	4.0	1.0

問4 あなたのお住まいは、どの地区にありますか。(単数回答)

「白土」が12.0%と最も高く、次いで「白鳥」が8.8%、「諸輪」「春木台」がそれぞれ8.5%となっています。

性別でみると、男性で「諸輪」が10.8%、女性で「白土」が14.5%と、それぞれ最も高くなっています。

年齢別でみると、10代、40代、50代、60代で「白土」が、それぞれ最も高くなっています。



■クロス集計

(単位：%)	諸輪	和合	傍示本	祐福寺	部田	白土	和合ヶ丘	諸輪住宅	白鳥	御岳
【性別】										
男性(n=344)	10.8	7.6	5.5	4.1	2.6	9.3	8.1	0.0	9.9	7.8
女性(n=447)	6.5	7.2	5.1	4.7	2.7	14.5	8.5	0.4	8.5	5.6
【年齢別】										
10代(n=13)	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	30.8	0.0	0.0	7.7	0.0
20代(n=57)	8.8	10.5	3.5	0.0	1.8	10.5	3.5	0.0	15.8	3.5
30代(n=80)	10.0	8.8	8.8	6.3	1.3	8.8	8.8	0.0	8.8	3.8
40代(n=144)	6.3	6.9	6.3	2.8	2.8	13.9	7.6	0.0	4.2	7.6
50代(n=139)	9.4	8.6	2.9	1.4	2.9	14.4	6.5	0.0	9.4	5.8
60代(n=106)	4.7	8.5	5.7	5.7	0.9	13.2	6.6	0.9	9.4	7.5
70代(n=165)	7.3	6.7	4.2	7.9	4.8	9.1	6.7	0.0	8.5	10.3
80代(n=84)	14.3	4.8	8.3	4.8	2.4	14.3	15.5	1.2	11.9	3.6
90代以上(n=19)	21.1	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	36.8	0.0	10.5	0.0

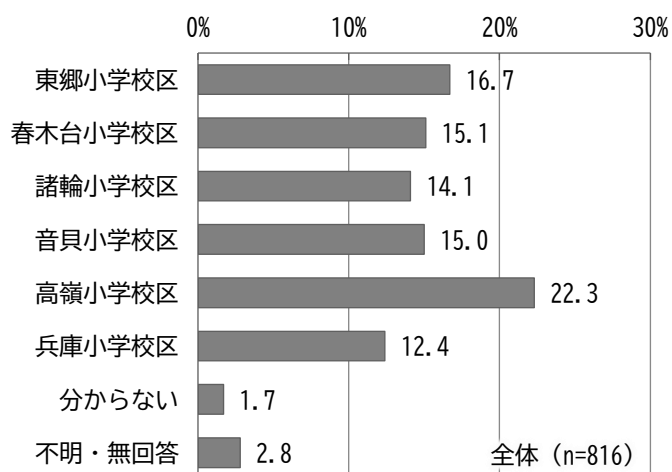
(単位：%)	春木台	北山台	押草団地(北)	押草団地(南)	西白土	兵庫	三ツ池	清水	分からない	不明・無回答
【性別】										
男性(n=344)	9.9	7.3	1.5	2.0	2.3	2.6	4.7	3.5	0.6	0.0
女性(n=447)	7.4	6.9	2.5	2.2	2.5	3.8	4.5	6.0	0.2	0.2
【年齢別】										
10代(n=13)	15.4	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代(n=57)	5.3	14.0	1.8	1.8	0.0	3.5	5.3	10.5	0.0	0.0
30代(n=80)	8.8	5.0	0.0	0.0	3.8	3.8	5.0	8.8	0.0	0.0
40代(n=144)	9.0	9.7	0.0	1.4	2.1	4.9	7.6	5.6	0.7	0.7
50代(n=139)	7.9	7.9	0.7	2.2	1.4	4.3	7.9	5.0	1.4	0.0
60代(n=106)	10.4	2.8	2.8	1.9	1.9	3.8	4.7	7.5	0.9	0.0
70代(n=165)	10.9	6.1	4.8	4.8	3.6	1.2	1.2	1.8	0.0	0.0
80代(n=84)	4.8	4.8	2.4	0.0	2.4	1.2	2.4	1.2	0.0	0.0
90代以上(n=19)	0.0	0.0	5.3	5.3	5.3	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0

問5 あなたのお住まいは、どの小学校区にありますか。(単数回答)

「高嶺小学校区」が22.3%と最も高く、次いで「東郷小学校区」が16.7%、「春木台小学校区」が15.1%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「高嶺小学校区」が最も高く、それぞれ22.7%、23.0%となっています。

年齢別でみると、10～40代で「東郷小学校区」が、50代以上で「高嶺小学校区」が、それぞれ最も高くなっています。



■クロス集計

(単位：%)	東郷小学校区	春木台小学校区	諸輪小学校区	音貝小学校区	高嶺小学校区	兵庫小学校区	分からない	不明・無回答
【性別】								
男性(n=344)	18.6	15.7	17.2	12.5	22.7	10.2	2.0	1.2
女性(n=447)	15.2	14.8	12.1	17.0	23.0	14.1	1.6	2.2
【年齢別】								
10代(n=13)	30.8	23.1	7.7	30.8	7.7	0.0	0.0	0.0
20代(n=57)	28.1	7.0	10.5	8.8	21.1	21.1	3.5	0.0
30代(n=80)	20.0	13.8	13.8	13.8	13.8	18.8	1.3	5.0
40代(n=144)	19.4	14.6	13.2	16.7	13.9	17.4	2.1	2.8
50代(n=139)	15.1	11.5	14.4	18.0	22.3	15.8	2.9	0.0
60代(n=106)	14.2	18.9	13.2	16.0	22.6	12.3	1.9	0.9
70代(n=165)	15.8	22.4	17.0	12.1	26.1	4.8	0.6	1.2
80代(n=84)	11.9	13.1	14.3	17.9	34.5	4.8	0.0	3.6
90代以上(n=19)	0.0	0.0	21.1	5.3	57.9	10.5	5.3	0.0

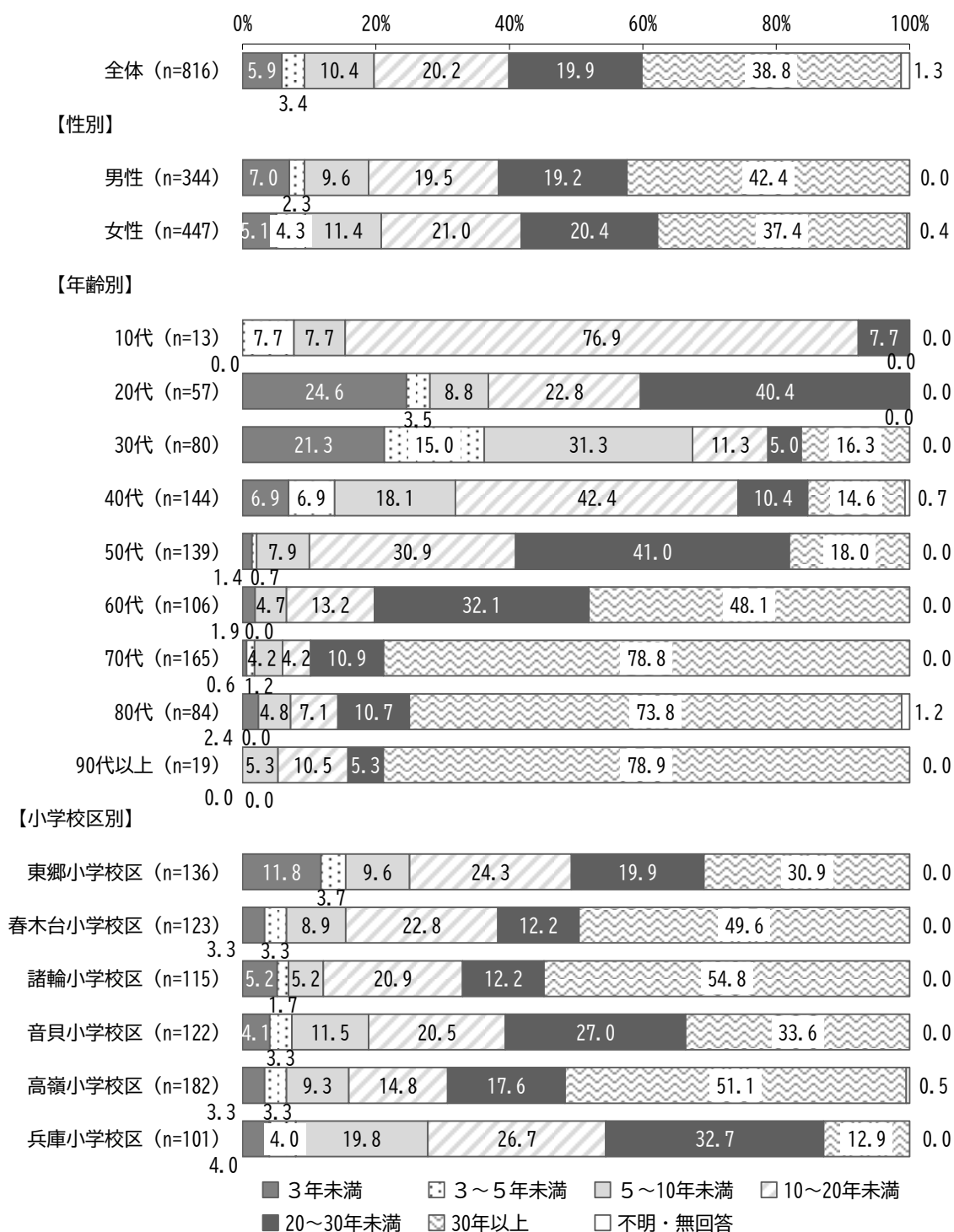
問6 お住まいの地区の居住年数を教えてください。(単数回答)

「30年以上」が38.8%と最も高く、次いで「10～20年未満」が20.2%、「20～30年未満」が19.9%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「30年以上」が最も高く、それぞれ42.4%、37.4%となっています。

年齢別でみると、年代が上がるにつれて「30年以上」が高く、70代以上でそれぞれ7割台となっています。

小学校区別でみると、春木台小学校区、諸輪小学校区、高嶺小学校区で「30年以上」がそれぞれ5割前後と、他の小学校区と比べて高くなっています。



2. 地域福祉や手助けについて

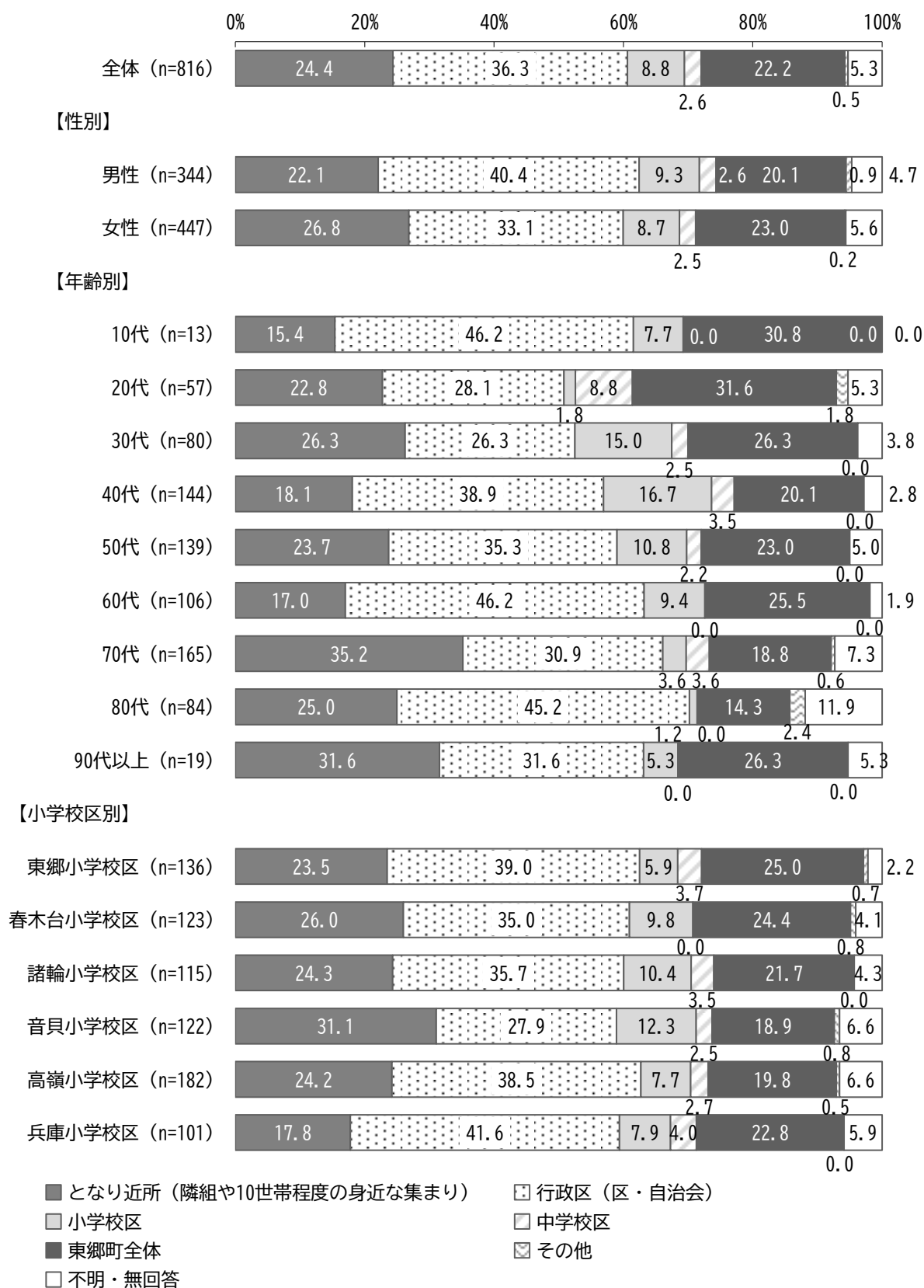
問7 「地域での支え合い」というときに、あなたが考える「地域」とは概ねどの程度の範囲ですか。(単数回答)

「行政区(区・自治会)」が36.3%と最も高く、次いで「となり近所(隣組や10世帯程度の身近な集まり)」が24.4%、「東郷町全体」が22.2%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「行政区(区・自治会)」が最も高く、それぞれ40.4%、33.1%となっています。

年齢別でみると、70代、90代以上で「となり近所(隣組や10世帯程度の身近な集まり)」がそれぞれ3割台と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、音貝小学校区で「となり近所(隣組や10世帯程度の身近な集まり)」が31.1%と、他の小学校区と比べて高くなっています。



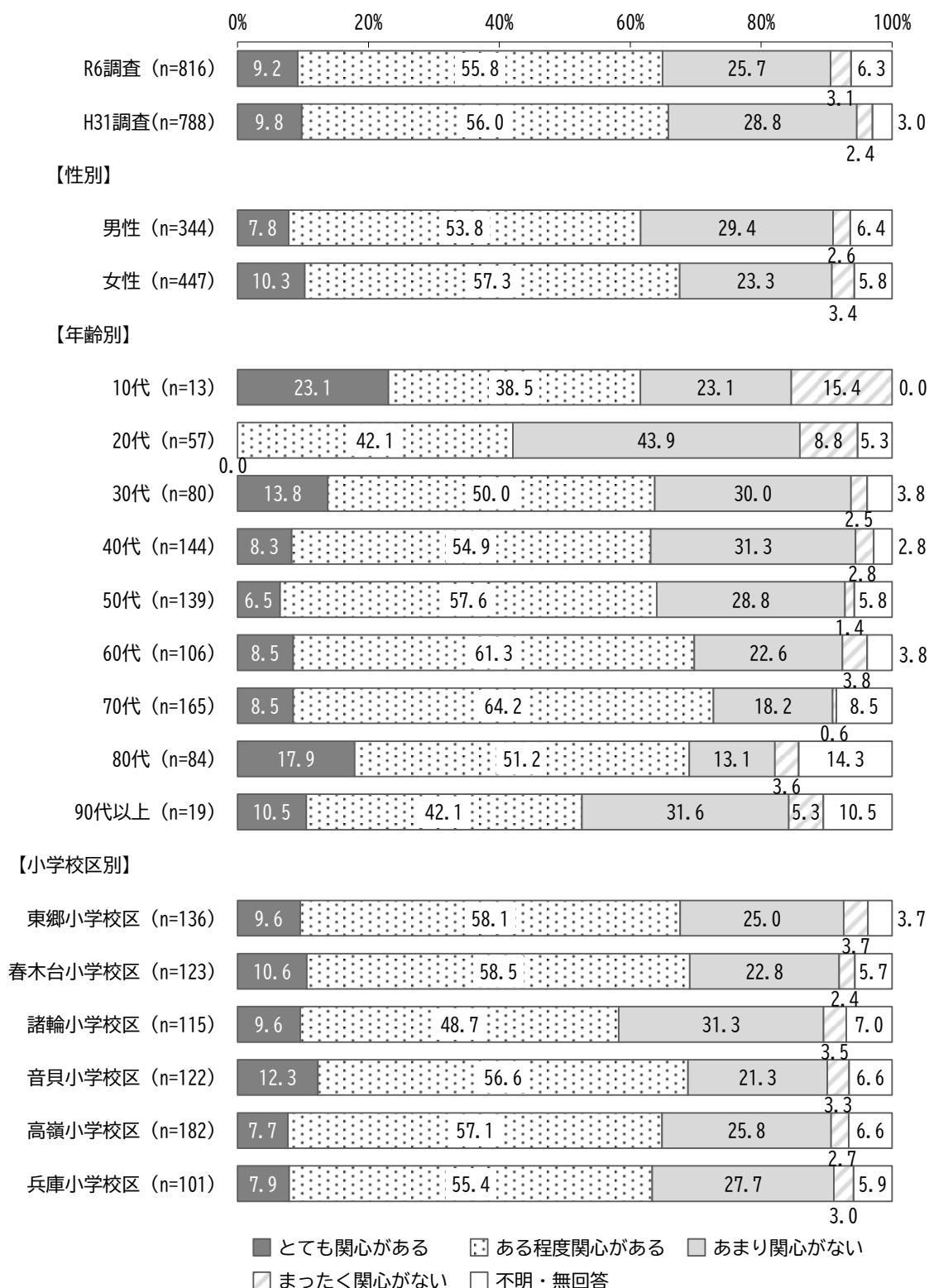
問8 あなたは、地域の福祉について関心はありますか。(単数回答)

『関心がある』(「とても関心がある」と「ある程度関心がある」の合算)が65.0%、『関心がない』(「あまり関心がない」と「まったく関心がない」の合算)が28.8%となっています。前回調査と比較すると、大きな差はみられませんでした。

性別でみると、女性で『関心がある』が67.6%と、男性と比べて6.0ポイント高くなっています。

年齢別でみると、20代で『関心がない』が52.7%と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、諸輪小学校区で『関心がない』が34.8%と、他の小学校区と比べて高くなっています。



問8で「1 とても関心がある」または「2 ある程度関心がある」と回答した方

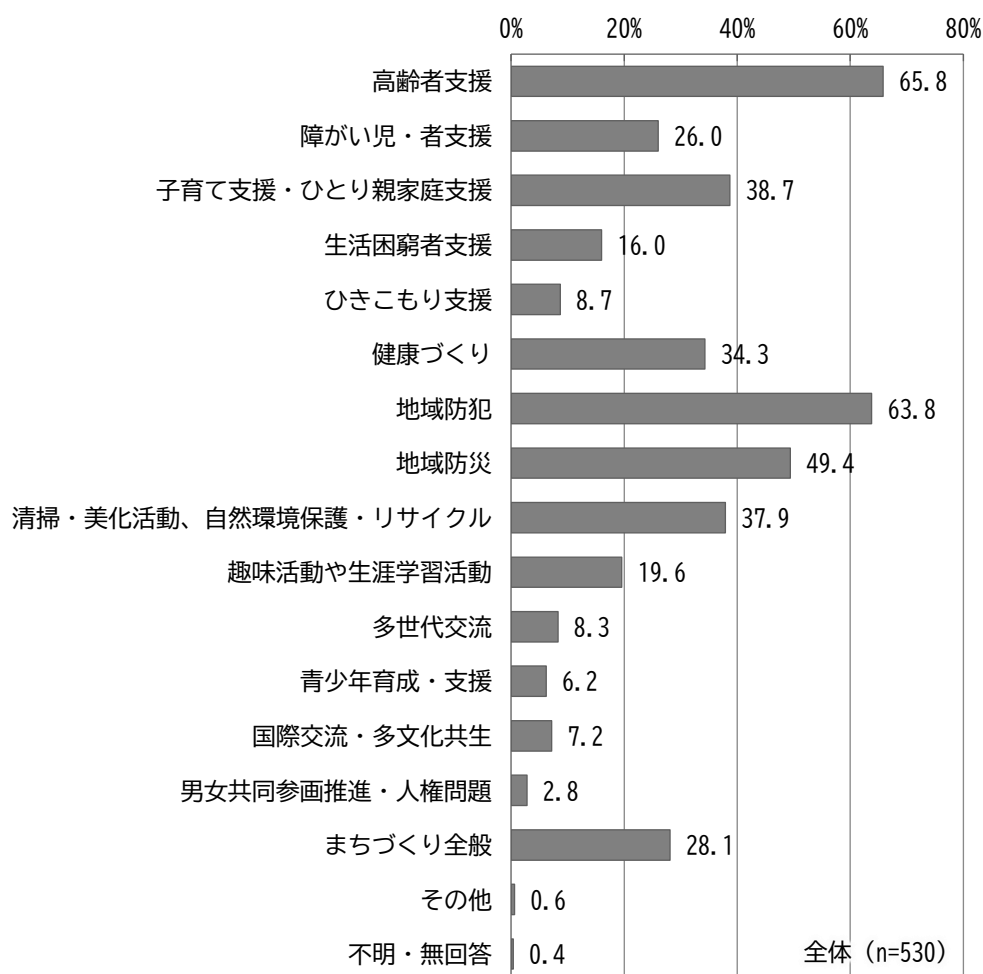
問8－1 特に関心のある内容は、次のうちどれですか。（複数回答）

「高齢者支援」が65.8%と最も高く、次いで「地域防犯」が63.8%、「地域防災」が49.4%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「高齢者支援」「地域防犯」がそれぞれ6割台と高くなっています。

年齢別でみると、20代、30代で「子育て支援・ひとり親家庭支援」が、40代、50代が「地域防犯」が、60代以上で「高齢者支援」がそれぞれ最も高くなっています。

小学校区別でみると、いずれの小学校区においても「高齢者支援」「地域防犯」がそれぞれ6割前後と高くなっています。



■クロス集計

(単位：%)	高齢者支援	障がい児・者支援	子育て支援・ ひとり親家庭支援	生活困窮者支援	ひきこもり支援	健康づくり	地域防犯	地域防災	清掃・美化活動、 自然環境 保護・リサイクル	趣味活動や生涯学習活動
【性別】										
男性(n=212)	65.1	21.7	34.4	13.7	7.5	35.4	67.0	53.8	43.9	17.0
女性(n=302)	66.9	29.1	42.4	17.5	9.6	34.4	61.6	46.4	33.8	21.9
【年齢別】										
10代(n=8)	62.5	37.5	37.5	25.0	12.5	37.5	37.5	62.5	25.0	37.5
20代(n=24)	37.5	29.2	75.0	16.7	8.3	12.5	37.5	33.3	33.3	16.7
30代(n=51)	37.3	25.5	84.3	19.6	2.0	17.6	64.7	51.0	43.1	7.8
40代(n=91)	40.7	25.3	49.5	13.2	15.4	25.3	61.5	47.3	37.4	19.8
50代(n=89)	71.9	28.1	34.8	16.9	10.1	28.1	77.5	51.7	40.4	20.2
60代(n=74)	75.7	27.0	31.1	12.2	6.8	39.2	68.9	50.0	32.4	24.3
70代(n=120)	80.0	25.8	25.0	19.2	8.3	49.2	64.2	57.5	37.5	22.5
80代(n=58)	87.9	20.7	19.0	13.8	3.4	44.8	58.6	34.5	41.4	19.0
90代以上(n=10)	80.0	10.0	0.0	10.0	10.0	50.0	30.0	50.0	30.0	10.0
【小学校区別】										
東郷小学校区(n=92)	65.2	15.2	34.8	8.7	2.2	31.5	68.5	51.1	39.1	15.2
春木台小学校区(n=85)	69.4	27.1	36.5	16.5	8.2	40.0	61.2	40.0	38.8	21.2
諸輪小学校区(n=67)	65.7	28.4	32.8	14.9	9.0	41.8	62.7	44.8	37.3	14.9
音貝小学校区(n=84)	66.7	29.8	46.4	26.2	13.1	31.0	66.7	52.4	34.5	20.2
高嶺小学校区(n=118)	66.9	28.8	36.4	16.1	8.5	32.2	61.0	51.7	35.6	18.6
兵庫小学校区(n=64)	56.3	25.0	48.4	12.5	12.5	34.4	67.2	59.4	43.8	29.7

(単位：%)	多世代交流	青少年育成・支援	国際交流・多文化共生	男女共同参画推進・ 人権問題	まちづくり全般	その他	不明・無回答
【性別】							
男性(n=212)	7.1	7.5	6.1	3.3	31.6	0.0	0.5
女性(n=302)	8.6	5.6	7.6	2.6	25.8	1.0	0.0
【年齢別】							
10代(n=8)	12.5	12.5	0.0	12.5	37.5	0.0	0.0
20代(n=24)	4.2	8.3	8.3	8.3	20.8	0.0	0.0
30代(n=51)	7.8	5.9	5.9	5.9	21.6	2.0	0.0
40代(n=91)	9.9	5.5	9.9	0.0	30.8	1.1	0.0
50代(n=89)	13.5	5.6	3.4	0.0	32.6	0.0	1.1
60代(n=74)	5.4	6.8	6.8	2.7	27.0	1.4	0.0
70代(n=120)	6.7	5.8	9.2	5.0	26.7	0.0	0.0
80代(n=58)	6.9	6.9	6.9	0.0	29.3	0.0	1.7
90代以上(n=10)	0.0	10.0	0.0	10.0	40.0	0.0	0.0
【小学校区別】							
東郷小学校区(n=92)	4.3	3.3	4.3	1.1	26.1	0.0	0.0
春木台小学校区(n=85)	8.2	4.7	5.9	2.4	24.7	1.2	0.0
諸輪小学校区(n=67)	9.0	10.4	10.4	3.0	25.4	0.0	0.0
音貝小学校区(n=84)	8.3	7.1	8.3	1.2	28.6	1.2	0.0
高嶺小学校区(n=118)	10.2	8.5	5.9	4.2	30.5	0.8	0.8
兵庫小学校区(n=64)	10.9	4.7	7.8	4.7	35.9	0.0	1.6

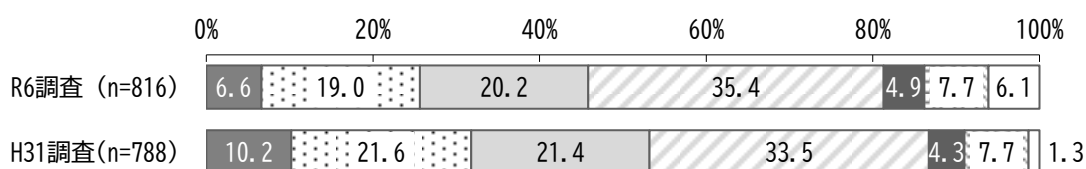
問9 あなたは、現在、どの程度「ご近所づきあい」をしていますか。(単数回答)

「世間話などはしないが、あいさつをする」が35.4%と最も高く、次いで「助け合いや相談はしないが、世間話をする」が20.2%、「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える」が19.0%となっています。前回調査と比較すると、「何かで困ったときには、相談し、助け合える」が3.6ポイント低くなっています。

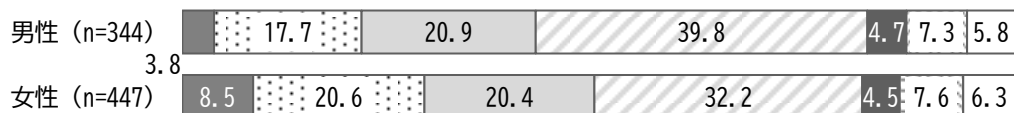
性別でみると、女性で「何かで困ったときには、相談し、助け合える」と「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える」の合計が29.1%と、男性と比べて7.6ポイント高くなっています。

年齢別でみると、20代、40代、90代以上で「ほとんど近所づきあいはない」がそれぞれ1割台と、他の年代と比べて高くなっています。

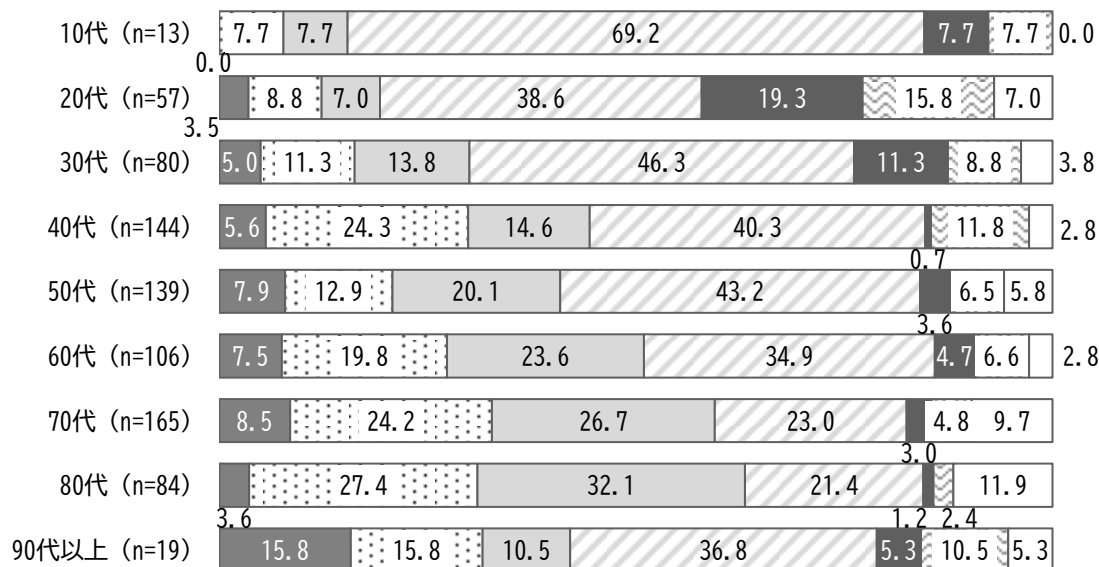
小学校区別でみると、東郷小学校区、春木台小学校区で「ほとんど近所づきあいはない」がそれぞれ1割台と、他の小学校区と比べて高くなっています。



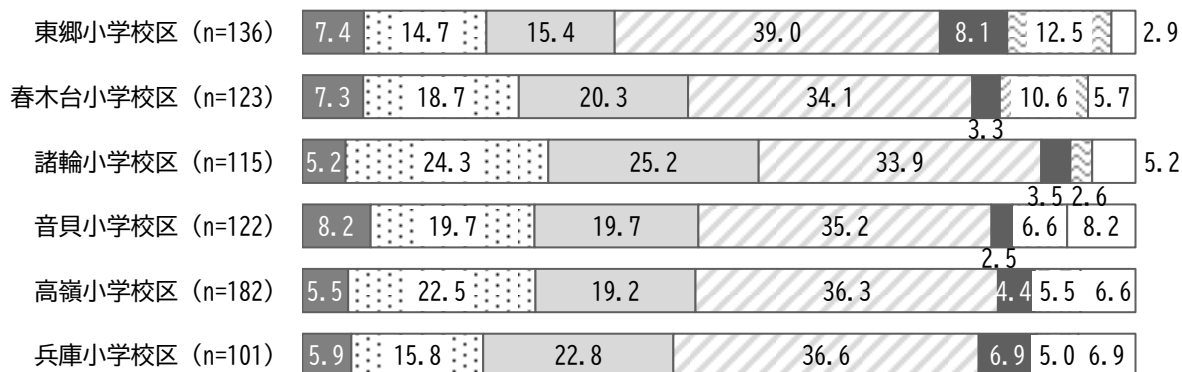
【性別】



【年齢別】



【小学校区別】



- 何かで困ったときには、相談し、助け合える
- ▨ 簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える
- ▩ 助け合いや相談はしないが、世間話をする
- 世間話などはしないが、あいさつをする
- 顔は知っているが、言葉を交わすほどではない
- ▨ ほとんど近所づきあいはない
- 不明・無回答

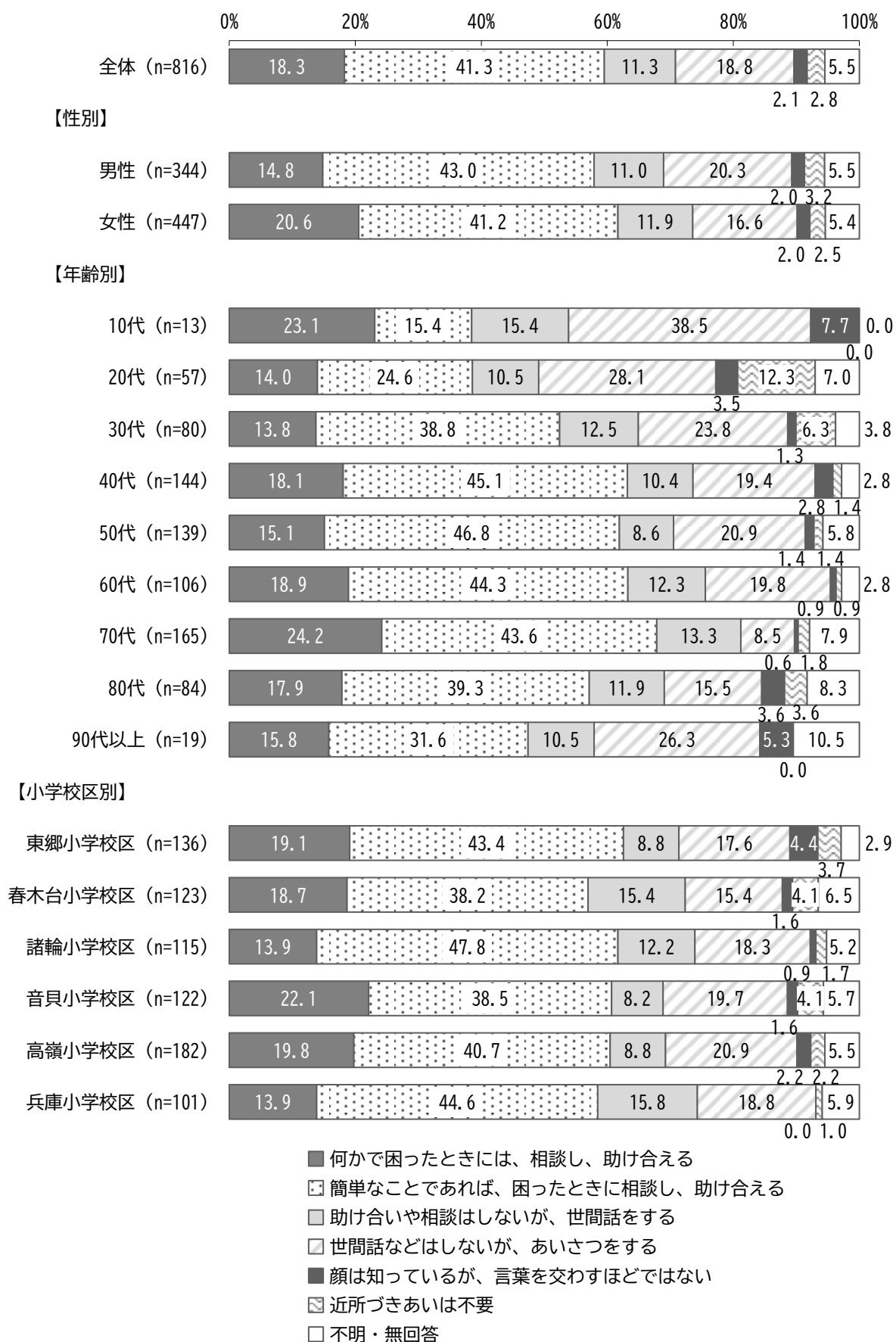
問 10 あなたは今後、どの程度の「ご近所づきあい」を理想としますか。(単数回答)

「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える」が 41.3%と最も高く、次いで「世間話などはしないが、あいさつをする」が 18.8%、「何かで困ったときには、相談し、助け合える」が 18.3%となっています。

性別でみると、女性で「何かで困ったときには、相談し、助け合える」が 20.6%と、男性と比べて 5.8 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、20 代で「近所づきあいは不要」が 12.3%と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、いずれの小学校区においても「簡単なことであれば、困ったときに相談し、助け合える」がそれぞれ 4 割前後となっています。



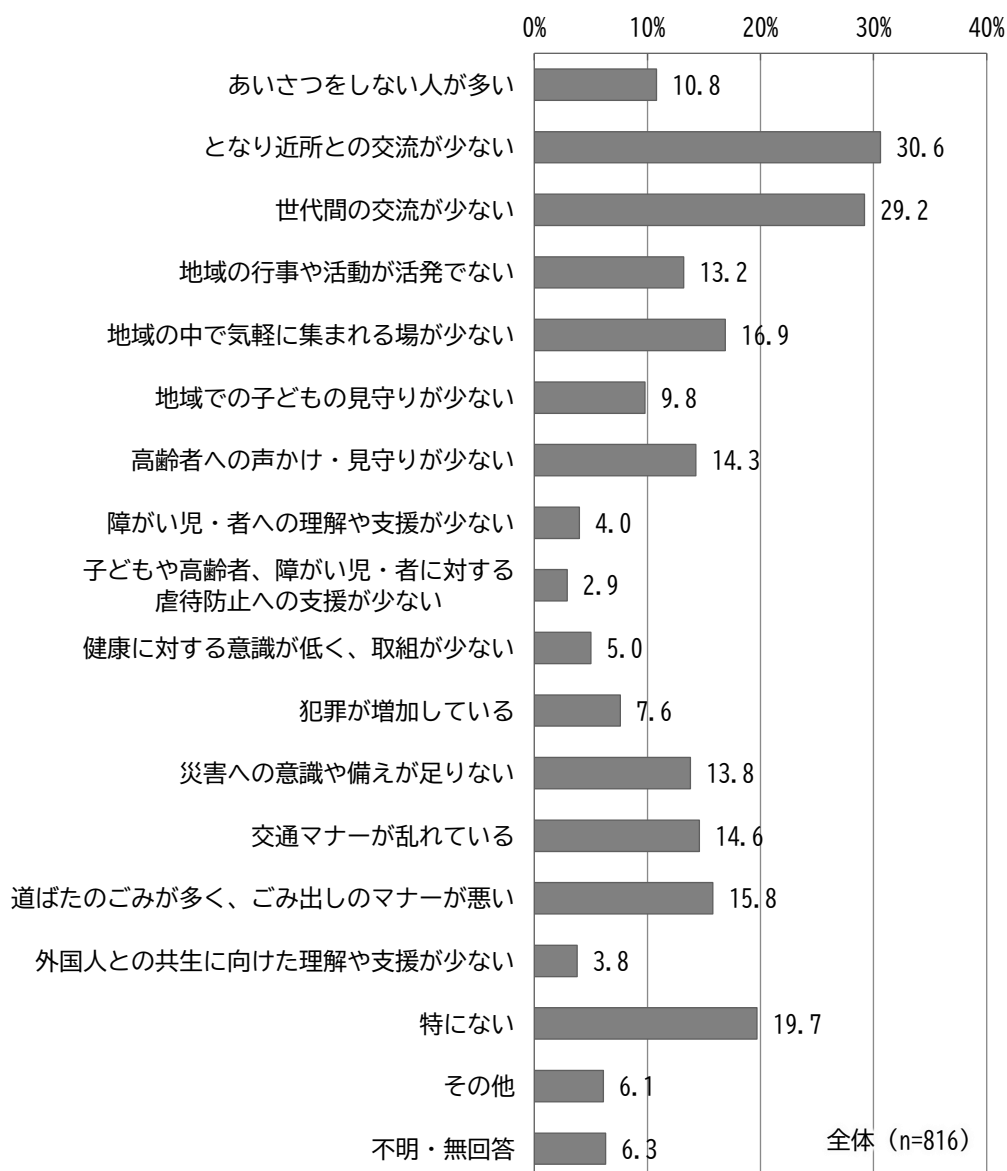
問 11 あなたの住む地域の状況や課題は、次のうちどれですか。（複数回答）

「となり近所との交流が少ない」が 30.6%と最も高く、次いで「世代間の交流が少ない」が 29.2%、「特にない」が 19.7%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「となり近所との交流が少ない」「世代間の交流が少ない」がそれぞれ3割前後と高くなっています。

年齢別でみると、80代以上で「となり近所との交流が少ない」がそれぞれ4割台と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、高嶺小学校区、兵庫小学校区で「世代間の交流が少ない」がそれぞれ3割台と高くなっています。



■クロス集計

(単位：%)	あいさつをしない人が多い	となり近所との交流が少ない	世代間の交流が少ない	地域の行事や活動が活発でない	地域の中で気軽に集まれる場が少ない	地域での子どもの見守りが少ない	高齢者への声かけ・見守りが少ない	障がい児・者への理解や支援が少ない	子どもや高齢者、障がい児・者に対する虐待防止への支援が少ない	健康に対する意識が低く、取組が少ない
【性別】										
男性(n=344)	12.5	28.8	29.9	15.4	18.3	10.2	17.4	5.2	3.8	7.3
女性(n=447)	8.9	32.4	28.4	11.4	15.7	9.6	12.3	2.9	2.0	3.1
【年齢別】										
10代(n=13)	23.1	0.0	23.1	30.8	23.1	7.7	23.1	7.7	0.0	0.0
20代(n=57)	8.8	26.3	26.3	1.8	19.3	7.0	5.3	3.5	1.8	3.5
30代(n=80)	3.8	32.5	27.5	13.8	27.5	20.0	13.8	2.5	3.8	2.5
40代(n=144)	6.9	18.1	22.9	11.1	13.2	10.4	6.3	2.1	4.9	4.9
50代(n=139)	12.2	30.9	30.2	10.1	15.1	10.1	14.4	6.5	2.9	2.9
60代(n=106)	8.5	34.0	34.9	17.9	17.0	9.4	13.2	4.7	1.9	7.5
70代(n=165)	16.4	34.5	30.3	18.2	16.4	7.3	17.0	4.8	3.6	7.3
80代(n=84)	14.3	45.2	31.0	10.7	14.3	9.5	28.6	2.4	1.2	6.0
90代以上(n=19)	10.5	42.1	36.8	10.5	21.1	0.0	26.3	0.0	0.0	0.0
【小学校区別】										
東郷小学校区(n=136)	9.6	34.6	27.2	11.8	19.1	10.3	16.2	2.9	2.2	5.1
春木台小学校区(n=123)	18.7	26.8	27.6	19.5	17.9	8.1	11.4	4.9	3.3	5.7
諸輪小学校区(n=115)	7.0	28.7	28.7	12.2	17.4	15.7	18.3	6.1	1.7	7.0
音貝小学校区(n=122)	9.8	32.0	25.4	9.0	15.6	7.4	13.9	1.6	3.3	2.5
高嶺小学校区(n=182)	11.0	30.2	35.7	14.3	17.6	7.1	15.9	5.5	3.3	5.5
兵庫小学校区(n=101)	11.9	31.7	31.7	12.9	13.9	13.9	11.9	3.0	5.0	5.0

(単位：％)	犯罪が増加している	災害への意識や備えが 足りない	交通マナーが乱れている	道ばたのごみが多く、 ごみ出しのマナーが悪い	外国人との共生に向けた 理解や支援が少ない	特 に ない	その他	不明・無回答
【性別】								
男性(n=344)	7.6	16.6	16.9	17.2	4.7	19.2	6.7	5.5
女性(n=447)	7.6	11.4	12.8	14.8	2.9	19.7	5.6	6.7
【年齢別】								
10代(n=13)	7.7	15.4	7.7	7.7	7.7	30.8	7.7	0.0
20代(n=57)	10.5	17.5	12.3	17.5	7.0	15.8	12.3	7.0
30代(n=80)	5.0	8.8	20.0	15.0	2.5	22.5	5.0	3.8
40代(n=144)	12.5	13.9	25.7	22.2	4.2	22.2	8.3	3.5
50代(n=139)	10.1	14.4	18.0	20.1	2.9	23.7	5.8	5.0
60代(n=106)	6.6	13.2	11.3	13.2	3.8	20.8	5.7	2.8
70代(n=165)	7.3	15.8	9.7	12.7	3.6	12.7	4.2	10.9
80代(n=84)	0.0	13.1	4.8	13.1	2.4	17.9	4.8	9.5
90代以上(n=19)	0.0	15.8	0.0	0.0	10.5	26.3	0.0	10.5
【小学校区別】								
東郷小学校区(n=136)	8.8	16.9	19.1	19.1	2.2	16.2	8.8	2.9
春木台小学校区(n=123)	7.3	12.2	17.1	23.6	1.6	13.8	3.3	7.3
諸輪小学校区(n=115)	12.2	12.2	15.7	13.9	6.1	20.0	6.1	6.1
音貝小学校区(n=122)	9.8	12.3	14.8	13.9	3.3	25.4	4.9	4.9
高嶺小学校区(n=182)	3.8	18.1	9.9	8.8	7.1	22.0	4.9	7.1
兵庫小学校区(n=101)	5.9	10.9	12.9	21.8	1.0	21.8	7.9	6.9

3. 地域での助け合いについて

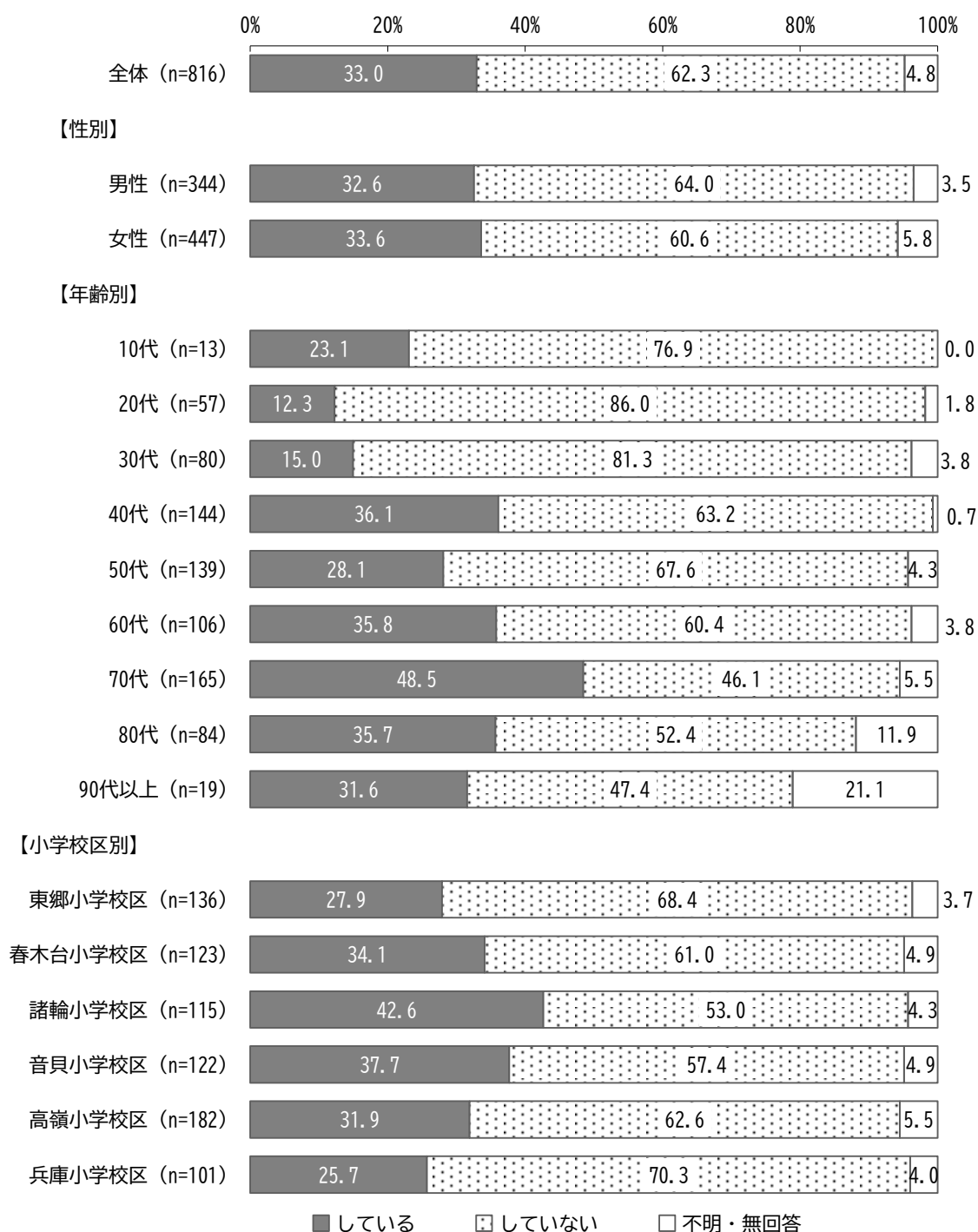
問 12 あなたは、日頃、お住まいの地域で、となり近所の人と生活上のちょっとした手助けや協力などの助け合いをしていますか。（単数回答）

「している」が 33.0%、「していない」が 62.3%となっています。

性別でみると、「している」が男性で 32.6%、女性で 33.6%となっています。

年齢別でみると、70代で「している」が 48.5%と、他の年代と比べて高くなっています。一方で、20代、30代で「していない」がそれぞれ8割台と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、諸輪小学校区で「している」が 42.6%と、他の小学校区と比べて高くなっています。



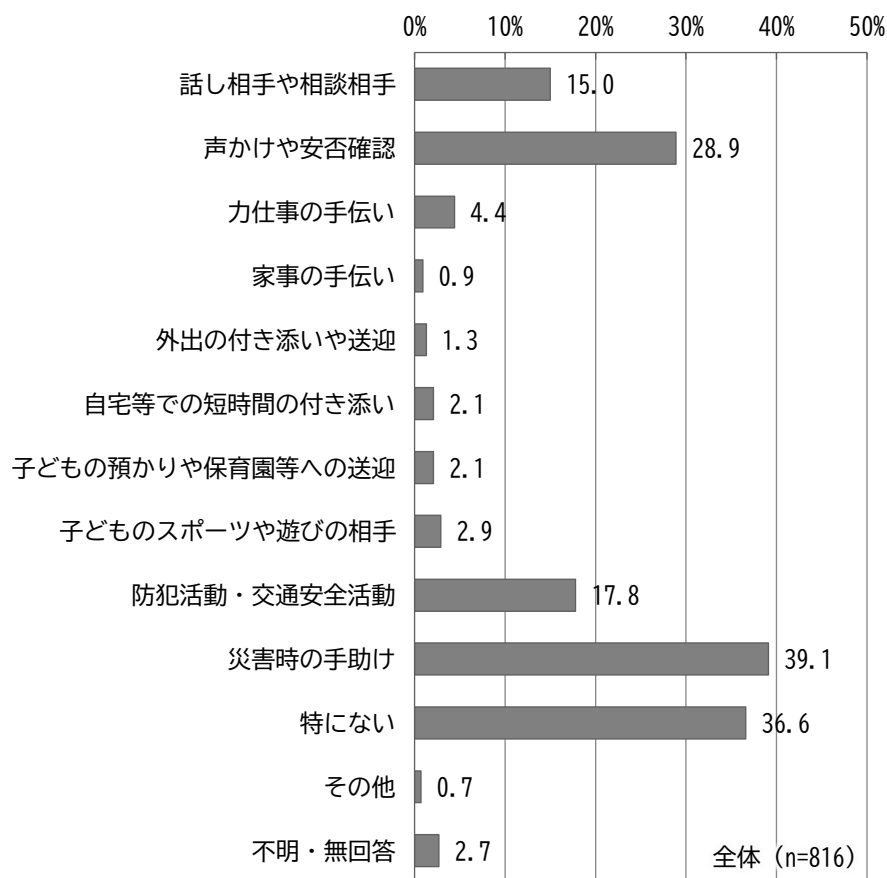
問 13 あなたは、生活の中で、となり近所の人にどのような手助けや協力をしてほしいと思いますか。(複数回答)

「災害時の手助け」が 39.1%と最も高く、次いで「特にない」が 36.6%、「声かけや安否確認」が 28.9%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「災害時の手助け」が最も高く、それぞれ 39.2%、38.3%となっています。

年齢別でみると、10～50 代で「災害時の手助け」が、60 代以上で「特にない」がそれぞれ最も高くなっています。

小学校区別でみると、春木台小学校区、諸輪小学校区、音貝小学校区、兵庫小学校区で「災害時の手助け」がそれぞれ最も高くなっています。



■クロス集計

(単位：％)	話し相手や相談相手	声かけや安否確認	力仕事の手伝い	家事の手伝い	外出の付き添いや送迎	自宅等での短時間の付き添い	子どもの預かりや保育園等への送迎	子どものスポーツや遊びの相手	防犯活動・交通安全活動	災害時の手助け
【性別】										
男性(n=344)	12.8	27.0	2.6	1.2	0.9	2.3	2.3	4.1	21.2	39.2
女性(n=447)	16.8	29.8	5.8	0.7	1.8	2.0	2.0	2.2	14.8	38.3
【年齢別】										
10代(n=13)	15.4	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4	69.2
20代(n=57)	10.5	21.1	5.3	1.8	0.0	5.3	1.8	3.5	15.8	42.1
30代(n=80)	18.8	28.8	0.0	0.0	0.0	5.0	7.5	10.0	23.8	41.3
40代(n=144)	16.0	29.2	4.2	0.7	0.7	1.4	4.2	7.6	19.4	43.1
50代(n=139)	12.9	29.5	3.6	0.7	2.2	0.7	0.7	0.0	20.9	54.7
60代(n=106)	10.4	30.2	1.9	0.0	0.0	1.9	0.9	0.9	16.0	33.0
70代(n=165)	15.8	31.5	9.1	0.6	1.2	1.2	0.6	0.0	16.4	33.9
80代(n=84)	19.0	27.4	6.0	3.6	6.0	2.4	1.2	1.2	9.5	19.0
90代以上(n=19)	21.1	36.8	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	21.1	26.3
【小学校区別】										
東郷小学校区(n=136)	14.7	24.3	4.4	0.7	0.7	3.7	2.2	4.4	20.6	37.5
春木台小学校区(n=123)	15.4	27.6	4.1	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	23.6	44.7
諸輪小学校区(n=115)	13.0	32.2	1.7	0.9	0.9	0.0	2.6	2.6	12.2	38.3
音貝小学校区(n=122)	20.5	32.8	5.7	2.5	4.1	5.7	3.3	4.9	16.4	41.8
高嶺小学校区(n=182)	13.7	30.2	6.0	1.1	1.1	1.1	2.2	3.3	18.7	33.5
兵庫小学校区(n=101)	13.9	28.7	5.0	0.0	1.0	2.0	1.0	2.0	17.8	44.6

(単位：％)	特 に ない	そ の 他	不 明・無 回 答
【性別】			
男性(n=344)	37.8	0.0	1.7
女性(n=447)	36.5	1.3	3.4
【年齢別】			
10代(n=13)	23.1	0.0	0.0
20代(n=57)	40.4	0.0	1.8
30代(n=80)	33.8	1.3	2.5
40代(n=144)	33.3	0.0	0.0
50代(n=139)	29.5	0.0	2.2
60代(n=106)	44.3	1.9	2.8
70代(n=165)	36.4	1.2	2.4
80代(n=84)	44.0	1.2	7.1
90代以上(n=19)	42.1	0.0	10.5
【小学校区別】			
東郷小学校区(n=136)	39.0	0.7	2.9
春木台小学校区(n=123)	35.8	1.6	1.6
諸輪小学校区(n=115)	33.9	0.0	2.6
音貝小学校区(n=122)	32.0	0.0	4.1
高嶺小学校区(n=182)	42.3	0.0	2.2
兵庫小学校区(n=101)	31.7	2.0	2.0

問 13 で「11 特にない」と回答した方

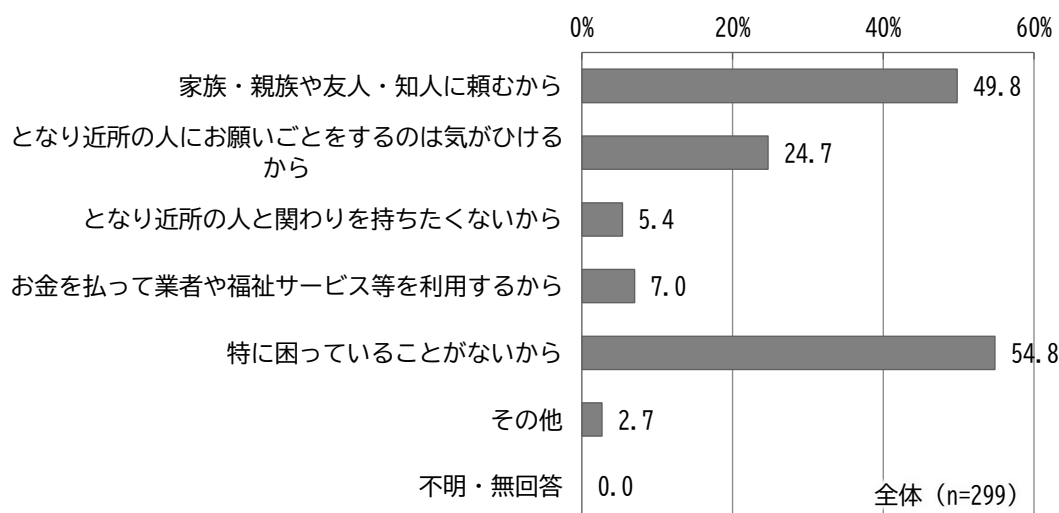
問 13－ 1 となり近所の人に手助けや協力してほしいことがない理由は何ですか。 (複数回答)

「特に困っていることがないから」が 54.8%と最も高く、次いで「家族・親族や友人・知人に頼むから」が 49.8%、「となり近所の人をお願いごとをするのは気がひけるから」が 24.7%となっています。

性別でみると、女性で「家族・親族や友人・知人に頼むから」が 56.4%と、男性と比べて 13.3 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、40 代で「となり近所の人をお願いごとをするのは気がひけるから」が 39.7%と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、音貝小学校区で「となり近所の人をお願いごとをするのは気がひけるから」が 33.3%と、他の小学校区と比べて高くなっています。



■クロス集計

(単位：%)	家族・親族や友人・知人に頼むから	となり近所の人にお願ひごとをするのは気がひけるから	となり近所の人と関わりを持ちたくないから	お金を払って業者や福祉サービス等を利用するから	特に困っていることがないから	その他	不明・無回答
【性別】							
男性(n=130)	43.1	25.4	6.2	7.7	56.2	2.3	0.0
女性(n=163)	56.4	25.2	4.9	6.7	52.1	3.1	0.0
【年齢別】							
10代(n=3)	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
20代(n=23)	47.8	26.1	13.0	0.0	60.9	4.3	0.0
30代(n=27)	44.4	37.0	14.8	7.4	48.1	3.7	0.0
40代(n=48)	47.9	39.6	6.3	6.3	47.9	2.1	0.0
50代(n=41)	51.2	24.4	4.9	9.8	48.8	2.4	0.0
60代(n=47)	44.7	23.4	4.3	12.8	61.7	0.0	0.0
70代(n=60)	48.3	21.7	1.7	6.7	56.7	3.3	0.0
80代(n=37)	62.2	8.1	2.7	5.4	62.2	5.4	0.0
90代以上(n=8)	75.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
【小学校区別】							
東郷小学校区(n=53)	54.7	20.8	7.5	3.8	52.8	3.8	0.0
春木台小学校区(n=44)	54.5	29.5	6.8	4.5	52.3	2.3	0.0
諸輪小学校区(n=39)	38.5	17.9	7.7	7.7	61.5	2.6	0.0
音貝小学校区(n=39)	48.7	33.3	7.7	17.9	41.0	0.0	0.0
高嶺小学校区(n=77)	51.9	23.4	1.3	6.5	59.7	2.6	0.0
兵庫小学校区(n=32)	46.9	25.0	6.3	0.0	50.0	6.3	0.0

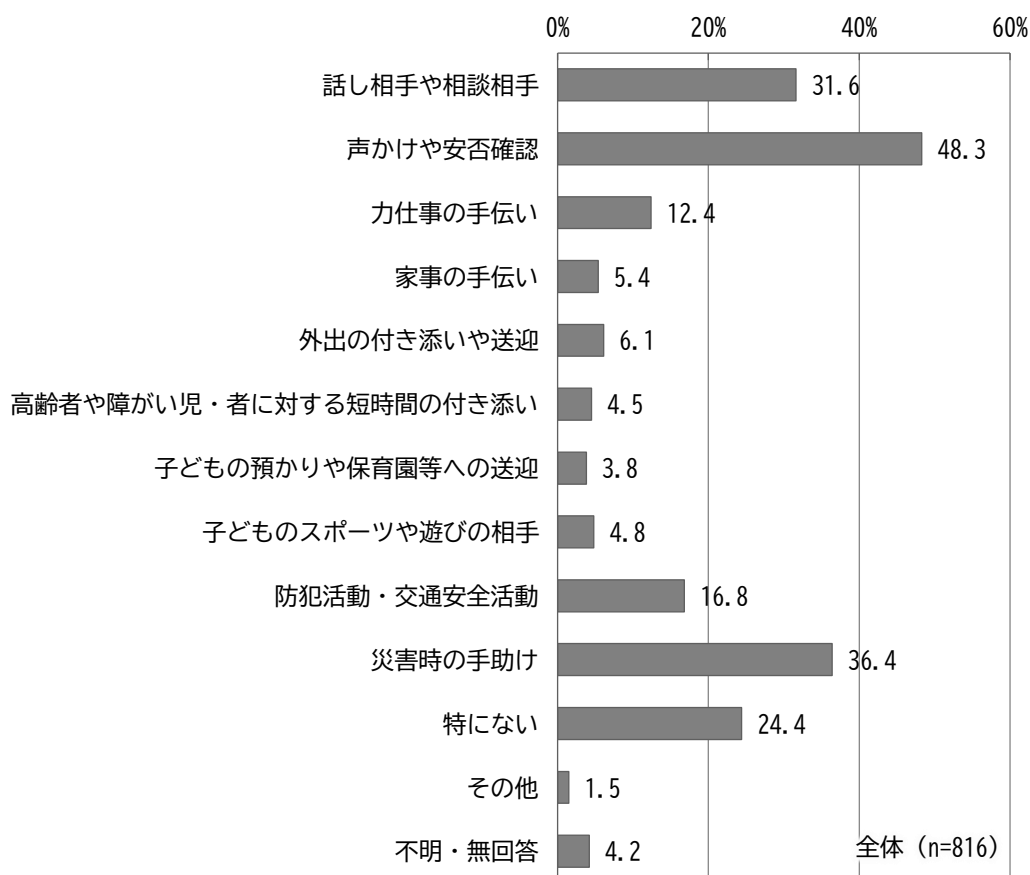
問 14 あなた自身が、となり近所の人に対して手助けしたり、協力したりできることはありますか。(複数回答)

「声かけや安否確認」が 48.3%と最も高く、次いで「災害時の手助け」が 36.4%、「話し相手や相談相手」が 31.6%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「声かけや安否確認」が最も高く、それぞれ 43.3%、52.3%となっています。

年齢別でみると、20～80 代で「声かけや安否確認」が、10～60 代で「災害時の手助け」がそれぞれ 4 割以上となっています。

小学校区別でみると、いずれの小学校区においても「声かけや安否確認」がそれぞれ 4 割以上となっています。



■クロス集計

(単位：％)	話し相手や相談相手	声かけや安否確認	力仕事の手伝い	家事の手伝い	外出の付き添いや送迎	高齢者や障がい児・者に対する短時間の付き添い	子どもの預かりや保育園等への送迎	子どものスポーツや遊びの相手	防犯活動・交通安全活動	災害時の手助け
【性別】										
男性(n=344)	22.7	43.3	18.6	4.1	4.9	3.5	3.5	7.0	21.2	39.8
女性(n=447)	38.7	52.3	8.3	6.3	6.9	5.4	4.3	3.1	13.6	33.8
【年齢別】										
10代(n=13)	30.8	15.4	30.8	7.7	0.0	7.7	7.7	23.1	0.0	46.2
20代(n=57)	29.8	40.4	12.3	3.5	1.8	1.8	0.0	5.3	12.3	43.9
30代(n=80)	31.3	46.3	17.5	5.0	7.5	5.0	8.8	11.3	26.3	45.0
40代(n=144)	35.4	46.5	20.1	6.3	6.3	4.2	9.7	9.7	20.8	47.2
50代(n=139)	28.1	56.8	13.7	4.3	6.5	3.6	2.9	3.6	19.4	42.4
60代(n=106)	33.0	53.8	9.4	7.5	6.6	5.7	2.8	2.8	19.8	45.3
70代(n=165)	32.1	52.1	9.1	6.1	7.3	6.7	1.2	0.6	12.7	24.2
80代(n=84)	31.0	40.5	3.6	2.4	3.6	1.2	0.0	0.0	8.3	9.5
90代以上(n=19)	31.6	36.8	0.0	5.3	5.3	5.3	0.0	0.0	10.5	26.3
【小学校区別】										
東郷小学校区(n=136)	27.9	47.8	17.6	5.9	5.1	5.1	6.6	8.8	16.9	38.2
春木台小学校区(n=123)	32.5	48.8	8.1	4.9	8.1	5.7	1.6	3.3	19.5	35.0
諸輪小学校区(n=115)	30.4	52.2	7.8	3.5	4.3	4.3	4.3	5.2	17.4	38.3
音貝小学校区(n=122)	34.4	46.7	18.0	10.7	6.6	4.9	3.3	4.9	21.3	36.1
高嶺小学校区(n=182)	29.1	45.1	10.4	3.3	6.6	4.4	1.6	3.8	12.1	29.7
兵庫小学校区(n=101)	39.6	57.4	12.9	5.9	5.9	3.0	7.9	3.0	18.8	48.5

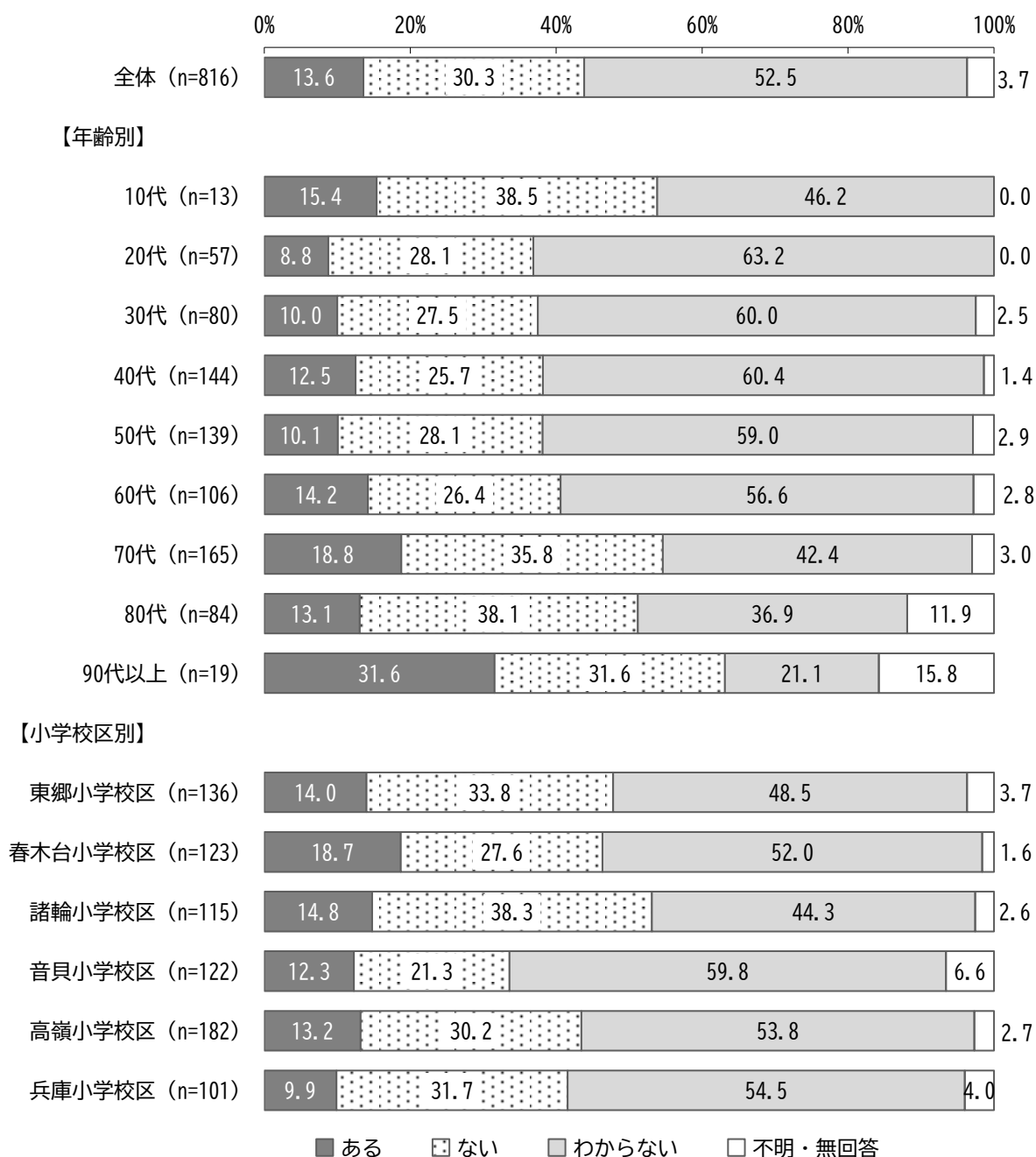
(単位：％)	特 に ない	そ の 他	不 明・無 回 答
【性別】			
男性(n=344)	27.9	1.5	2.9
女性(n=447)	21.5	1.6	5.1
【年齢別】			
10代(n=13)	38.5	0.0	0.0
20代(n=57)	29.8	3.5	0.0
30代(n=80)	23.8	1.3	2.5
40代(n=144)	25.7	0.7	0.0
50代(n=139)	18.7	0.0	2.9
60代(n=106)	18.9	0.9	2.8
70代(n=165)	23.0	2.4	5.5
80代(n=84)	29.8	3.6	15.5
90代以上(n=19)	42.1	0.0	10.5
【小学校区別】			
東郷小学校区(n=136)	22.1	0.7	4.4
春木台小学校区(n=123)	26.0	1.6	2.4
諸輪小学校区(n=115)	20.9	1.7	4.3
音貝小学校区(n=122)	25.4	0.0	4.1
高嶺小学校区(n=182)	29.1	2.2	5.5
兵庫小学校区(n=101)	17.8	1.0	2.0

問 15 とおり近所に、周囲の人の手助けや協力・支援が必要だと思われるご家庭がありますか。(単数回答)

「ある」が13.6%、「ない」が30.3%、「わからない」が52.5%となっています。

年齢別でみると、90代以上で「ある」が31.6%と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、兵庫小学校区を除いて「ある」がそれぞれ1割台となっています。

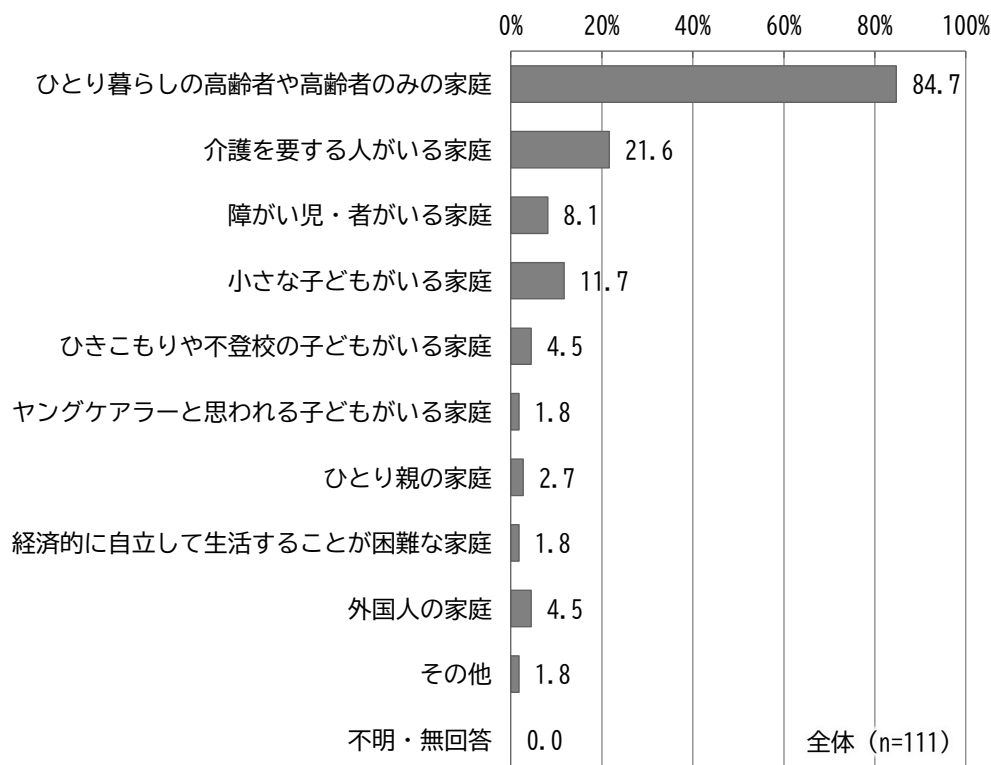


問 15 で「1 ある」と回答した方

問 15- 1 それはどのようなご家庭ですか。(複数回答)

「ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの家庭」が 84.7%と最も高く、次いで「介護を要する人がいる家庭」が 21.6%、「小さな子どもがいる家庭」が 11.7%となっています。

小学校区別でみると、いずれの小学校区においても「ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの家庭」がそれぞれ最も高くなっています。



■クロス集計

(単位: %)	ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの家庭	介護を要する人がいる家庭	障がい児・者がいる家庭	小さな子どもがいる家庭	ひきこもりや不登校の子どもがいる家庭	ヤングケアラーと思われる子どもがいる家庭	ひとり親の家庭	経済的に自立して生活することが困難な家庭	外国人の家庭	その他	不明・無回答
【小学校区別】											
東郷小学校区 (n=19)	63.2	26.3	15.8	15.8	5.3	0.0	0.0	5.3	10.5	5.3	0.0
春木台小学校区 (n=23)	87.0	21.7	8.7	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0
諸輪小学校区 (n=17)	94.1	23.5	0.0	5.9	0.0	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0
音貝小学校区 (n=15)	86.7	33.3	26.7	20.0	13.3	13.3	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0
高嶺小学校区 (n=24)	91.7	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	4.2	0.0	8.3	0.0	0.0
兵庫小学校区 (n=10)	80.0	20.0	0.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

4. 日常生活や地域活動について

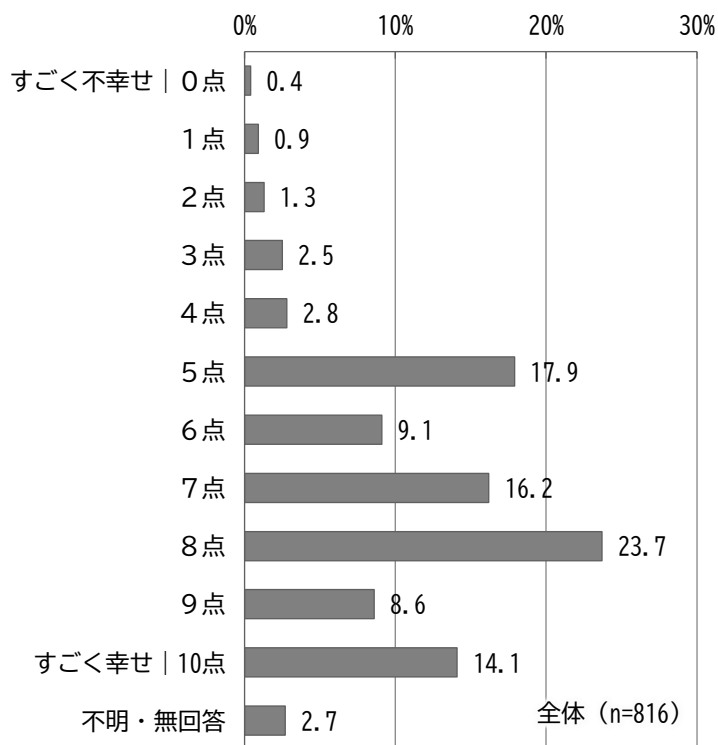
問 16 現在、あなたはどの程度幸せですか。「すごく不幸せ（0点）」から「すごく幸せ（10点）」の間で表すと、何点だと思いますか。数字に○を付けてください。（単数回答）

「8点」が23.7%と最も高く、次いで「5点」が17.9%、「7点」が16.2%となっています。なお、本設問に回答した方（n=794）の平均点は7.06点となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「8点」が最も高く、それぞれ24.7%、22.4%となっています。なお、平均点は男性で6.94点、女性で7.17点となっています。

年齢別でみると、20～80代で「8点」がそれぞれ最も高くなっています。なお、平均点は10代で7.77点と、他の年代と比べて高くなっている一方で、20代で6.61点と、他の年代と比べて低くなっています。

小学校区別でみると、いずれの小学校区においても「8点」がそれぞれ最も高くなっています。なお、平均点は音貝小学校区で7.17点と、他の小学校区と比べて高くなっている一方で、春木台小学校区で6.87点と、他の小学校区と比べて低くなっています。



■クロス集計

(単位：%)	すこく不幸せ ー 0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点
【性別】										
男性(n=344)	0.6	0.6	0.9	2.0	3.8	18.6	11.0	16.0	24.7	7.3
女性(n=447)	0.2	1.1	1.8	2.7	2.0	16.1	8.1	16.8	22.4	9.8
【年齢別】										
10代(n=13)	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	15.4	15.4	0.0	15.4
20代(n=57)	3.5	1.8	3.5	3.5	3.5	21.1	3.5	12.3	28.1	1.8
30代(n=80)	0.0	2.5	1.3	1.3	2.5	17.5	10.0	15.0	30.0	5.0
40代(n=144)	0.0	0.0	1.4	1.4	3.5	18.8	4.2	16.0	23.6	13.2
50代(n=139)	0.0	0.7	2.9	2.2	3.6	20.1	11.5	15.1	23.7	4.3
60代(n=106)	0.9	0.9	0.0	2.8	1.9	22.6	11.3	12.3	25.5	5.7
70代(n=165)	0.0	0.0	0.0	3.0	1.2	15.2	10.9	21.8	21.8	11.5
80代(n=84)	0.0	1.2	2.4	2.4	2.4	11.9	9.5	19.0	19.0	14.3
90代以上(n=19)	0.0	5.3	0.0	5.3	5.3	15.8	10.5	10.5	15.8	5.3
【小学校区別】										
東郷小学校区(n=136)	0.7	0.7	0.7	4.4	2.2	17.6	8.1	18.4	19.9	8.8
春木台小学校区(n=123)	0.8	1.6	0.0	2.4	4.9	17.1	13.0	17.1	22.0	8.9
諸輪小学校区(n=115)	0.0	0.9	2.6	1.7	3.5	16.5	7.0	15.7	23.5	8.7
音貝小学校区(n=122)	0.0	0.8	0.8	2.5	2.5	19.7	9.0	13.1	22.1	9.8
高嶺小学校区(n=182)	0.0	0.5	2.7	1.6	2.2	15.4	10.4	18.7	23.1	7.7
兵庫小学校区(n=101)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	22.8	5.9	14.9	30.7	7.9

(単位：%)	す ご く 幸 せ — 10 点	不 明 ・ 無 回 答	平 均 点
【性別】			
男性(n=344)	11.6	2.9	6.94
女性(n=447)	16.3	2.7	7.17
【年齢別】			
10代(n=13)	38.5	0.0	7.77
20代(n=57)	17.5	0.0	6.61
30代(n=80)	15.0	0.0	7.06
40代(n=144)	15.3	2.8	7.32
50代(n=139)	13.7	2.2	6.83
60代(n=106)	13.2	2.8	6.90
70代(n=165)	12.1	2.4	7.25
80代(n=84)	9.5	8.3	7.08
90代以上(n=19)	21.1	5.3	6.78
【小学校区別】			
東郷小学校区(n=136)	16.2	2.2	7.05
春木台小学校区(n=123)	11.4	0.8	6.87
諸輪小学校区(n=115)	15.7	4.3	7.13
音貝小学校区(n=122)	16.4	3.3	7.17
高嶺小学校区(n=182)	13.7	3.8	7.09
兵庫小学校区(n=101)	10.9	2.0	7.03

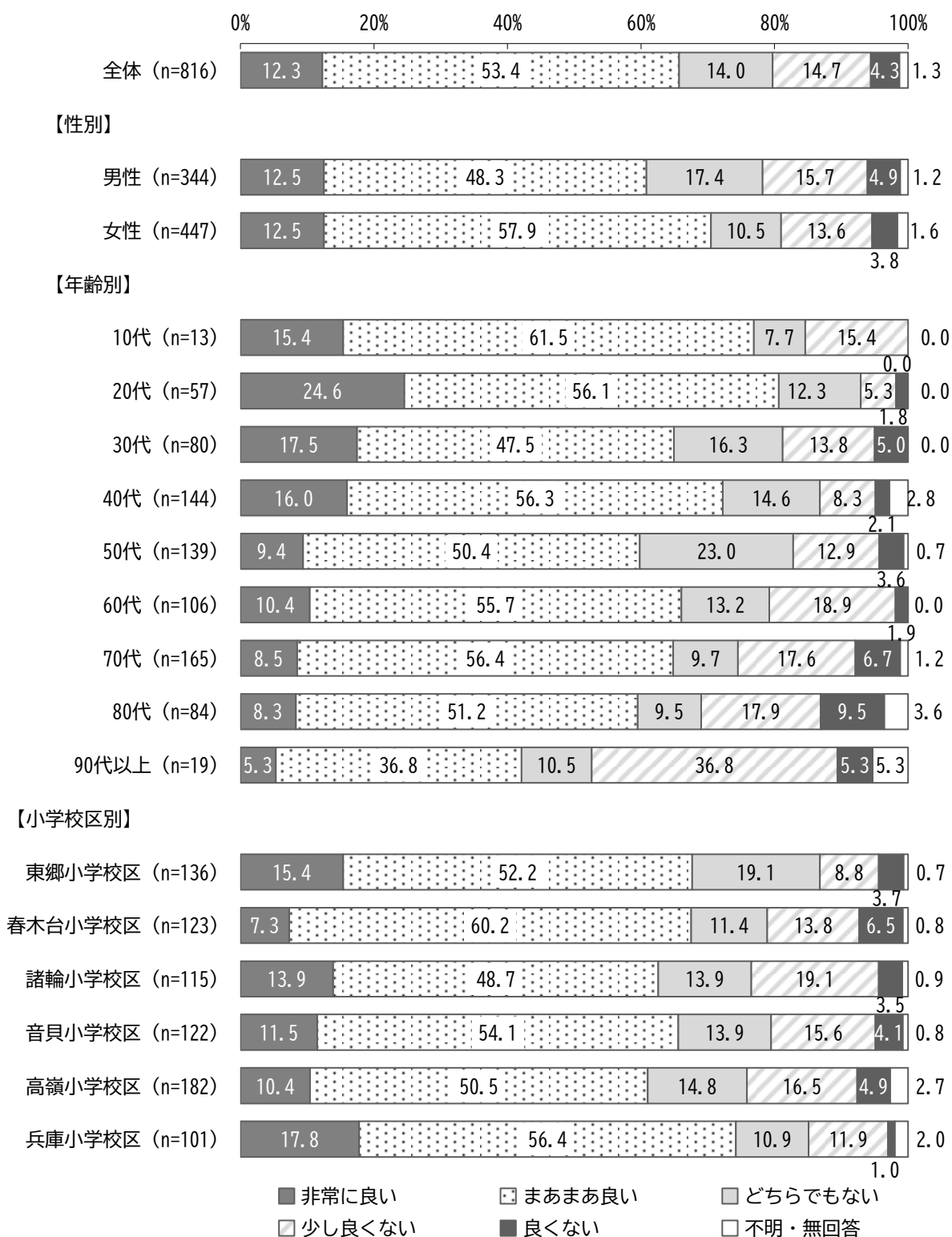
問 17 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（単数回答）

『良い』（「非常に良い」と「まあまあ良い」の合算）が 65.7%、「どちらでもない」が 14.0%、『良くない』（「少し良くない」と「良くない」の合算）が 19.0%となっています。

性別でみると、女性で『良い』が 70.4%と、男性と比べて 9.6 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、90 代以上で『良くない』が 42.1%と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、兵庫小学校区で『良い』が 74.2%と、他の小学校区と比べて高くなっています。

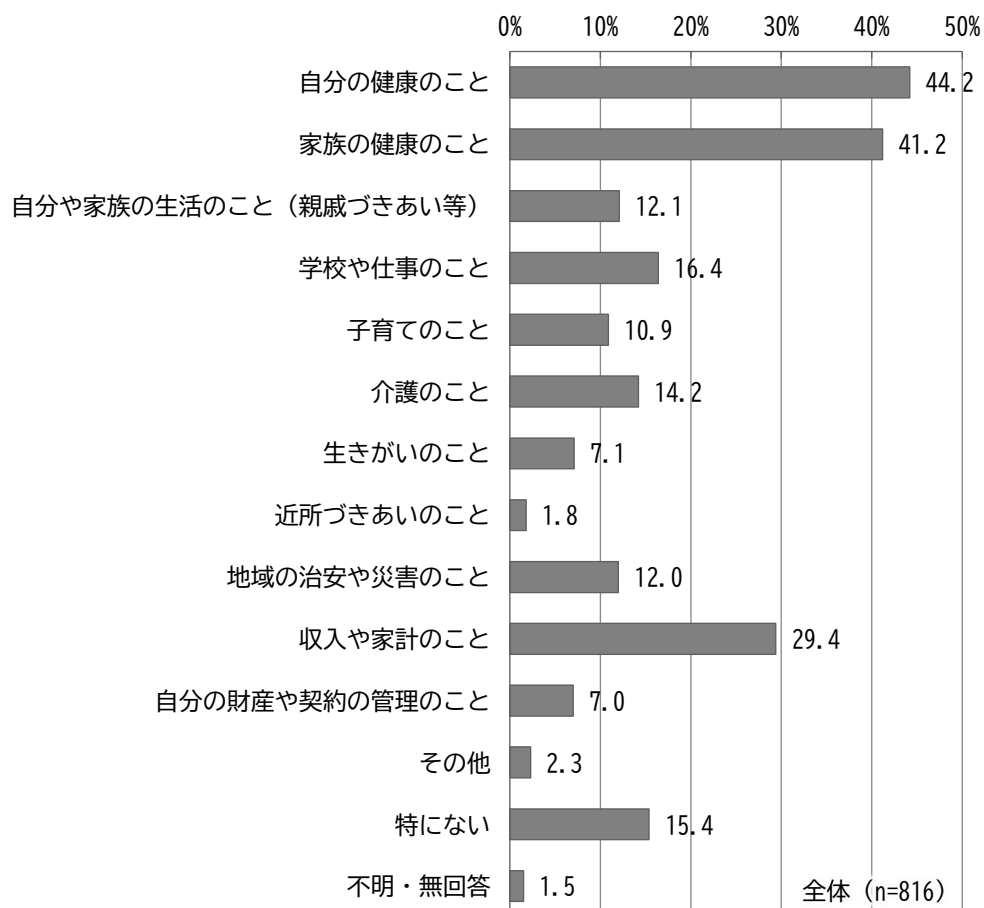


問 18 あなたは、現在、日々の生活の中で、主にどのような悩みや不安がありますか。
(複数回答)

「自分の健康のこと」が 44.2%と最も高く、次いで「家族の健康のこと」が 41.2%、「収入や家計のこと」が 29.4%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「自分の健康のこと」が最も高く、それぞれ 45.6%、43.8%となっています。

年齢別でみると、10 代、20 代で「学校や仕事のこと」が、30 代、40 代で「収入や家計のこと」が、50 代以上で「自分の健康のこと」がそれぞれ最も高くなっています。



■クロス集計

(単位：%)	自分の健康のこと	家族の健康のこと	自分や家族の生活のこと (親戚づきあい等)	学校や仕事のこと	子育てのこと	介護のこと	生きがいのこと	近所づきあいのこと	地域の治安や災害のこと	収入や家計のこと
【性別】										
男性(n=344)	45.6	43.9	11.6	17.4	6.7	16.3	7.6	2.6	12.5	29.9
女性(n=447)	43.8	39.4	11.9	15.9	13.9	13.0	6.7	0.9	11.0	28.9
【年齢別】										
10代(n=13)	23.1	7.7	7.7	69.2	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	7.7
20代(n=57)	28.1	29.8	15.8	43.9	12.3	1.8	12.3	3.5	14.0	31.6
30代(n=80)	26.3	38.8	11.3	30.0	37.5	5.0	8.8	2.5	16.3	51.3
40代(n=144)	26.4	35.4	12.5	25.7	25.0	11.1	5.6	2.8	13.9	43.8
50代(n=139)	46.0	41.0	18.0	20.1	10.1	21.6	7.9	2.9	9.4	33.1
60代(n=106)	50.9	45.3	13.2	7.5	0.9	17.0	7.5	0.9	14.2	29.2
70代(n=165)	57.6	52.7	8.5	0.6	0.0	12.1	7.3	0.6	11.5	15.8
80代(n=84)	66.7	41.7	4.8	0.0	0.0	27.4	2.4	0.0	6.0	14.3
90代以上(n=19)	63.2	31.6	21.1	0.0	0.0	15.8	10.5	5.3	15.8	0.0

(単位：%)	自分の財産や契約の 管理のこと	その他	特 に ない	不明・無回答
【性別】				
男性(n=344)	7.6	1.5	15.7	1.2
女性(n=447)	6.9	3.1	14.8	1.8
【年齢別】				
10代(n=13)	0.0	0.0	23.1	0.0
20代(n=57)	10.5	1.8	21.1	0.0
30代(n=80)	10.0	1.3	11.3	0.0
40代(n=144)	6.3	1.4	15.3	2.8
50代(n=139)	7.2	2.9	12.2	1.4
60代(n=106)	9.4	3.8	17.0	0.0
70代(n=165)	6.7	3.6	13.3	1.2
80代(n=84)	2.4	1.2	19.0	3.6
90代以上(n=19)	5.3	0.0	15.8	5.3

問 19 あなたは、生活上の悩みや不安を、主に誰（どこ）に相談していますか。（複数回答）

「家族や親戚」が 75.7%と最も高く、次いで「友人や知人」が 46.7%、「職場の人」が 14.7%となっています。なお、「相談相手がいない」は 2.2%、「相談はしない」は 9.8%となっています。

性別でみると、女性で「友人や知人」が 55.0%と、男性と比べて 19.5 ポイント高くなっています。一方で、男性で「相談はしない」が 13.7%と、女性と比べて 7.2 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、いずれの年代においても「家族や親戚」がそれぞれ 7 割以上と、最も高くなっています。

小学校区別でみると、いずれの小学校区においても「家族や親戚」がそれぞれ 7 割台と、最も高くなっています。



■クロス集計

(単位：％)	家族や親戚	友人や知人	職場の人	となり近所の人	区・自治会の役員	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	役場等の相談窓口	地域包括支援センター	障がい者相談支援センター
【性別】										
男性(n=344)	72.1	35.5	14.8	2.6	2.0	0.3	1.5	3.8	4.1	0.3
女性(n=447)	79.0	55.0	14.1	3.6	0.9	0.9	0.7	1.3	3.6	0.7
【年齢別】										
10代(n=13)	92.3	69.2	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代(n=57)	73.7	71.9	22.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0
30代(n=80)	81.3	62.5	18.8	3.8	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	1.3
40代(n=144)	76.4	53.5	29.2	2.8	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0	0.7
50代(n=139)	77.0	49.6	25.2	2.9	0.7	0.7	1.4	5.8	3.6	1.4
60代(n=106)	75.5	49.1	8.5	0.9	1.9	0.9	0.9	2.8	0.9	0.0
70代(n=165)	72.1	35.8	1.8	7.3	1.8	0.6	1.2	0.6	5.5	0.0
80代(n=84)	75.0	21.4	0.0	3.6	2.4	2.4	1.2	2.4	14.3	0.0
90代以上(n=19)	73.7	15.8	0.0	0.0	5.3	0.0	10.5	10.5	15.8	0.0
【小学校区別】										
東郷小学校区(n=136)	79.4	50.0	20.6	3.7	2.9	0.0	0.0	1.5	3.7	0.0
春木台小学校区(n=123)	76.4	46.3	14.6	1.6	0.8	0.8	2.4	3.3	4.1	0.8
諸輪小学校区(n=115)	78.3	49.6	8.7	1.7	0.9	0.0	1.7	2.6	2.6	0.9
音貝小学校区(n=122)	74.6	48.4	14.8	4.9	0.0	1.6	0.8	1.6	3.3	0.8
高嶺小学校区(n=182)	72.0	41.2	10.4	3.3	1.1	0.5	1.6	2.7	5.5	0.5
兵庫小学校区(n=101)	78.2	51.5	21.8	4.0	2.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0

(単位：%)	子育て支援センター	病院や診療所	福祉施設や福祉サービス事業者	保育園・幼稚園・学校・児童館	ボランティアやNPO等	趣味の会・サークル	その他	相談相手がない	相談はしない	不明・無回答
【性別】										
男性(n=344)	0.6	8.7	1.5	1.7	0.0	0.6	0.9	2.9	13.7	1.5
女性(n=447)	1.1	8.9	1.6	1.3	0.2	0.9	1.8	1.6	6.5	2.0
【年齢別】										
10代(n=13)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0
20代(n=57)	7.0	3.5	0.0	1.8	0.0	0.0	1.8	1.8	12.3	0.0
30代(n=80)	2.5	3.8	1.3	8.8	0.0	0.0	1.3	1.3	11.3	0.0
40代(n=144)	0.7	4.9	0.0	2.8	0.0	0.0	1.4	1.4	9.7	2.8
50代(n=139)	0.0	8.6	0.0	0.0	0.0	0.7	0.7	5.8	6.5	0.7
60代(n=106)	0.0	8.5	1.9	0.0	0.9	2.8	0.0	0.9	10.4	0.0
70代(n=165)	0.0	17.0	1.2	0.0	0.0	0.6	1.2	1.2	10.9	2.4
80代(n=84)	0.0	10.7	3.6	0.0	0.0	1.2	3.6	1.2	9.5	4.8
90代以上(n=19)	0.0	15.8	21.1	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	10.5	5.3
【小学校区別】										
東郷小学校区(n=136)	1.5	11.8	0.7	1.5	0.0	0.0	1.5	1.5	11.0	1.5
春木台小学校区(n=123)	0.8	8.9	2.4	0.8	0.8	3.3	2.4	4.9	6.5	1.6
諸輪小学校区(n=115)	1.7	10.4	1.7	1.7	0.0	0.0	0.0	2.6	7.8	1.7
音貝小学校区(n=122)	0.8	4.9	0.8	2.5	0.0	0.0	2.5	2.5	10.7	0.8
高嶺小学校区(n=182)	0.0	13.2	2.2	1.6	0.0	0.0	1.1	1.1	11.0	2.7
兵庫小学校区(n=101)	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	2.0	1.0	1.0	8.9	2.0

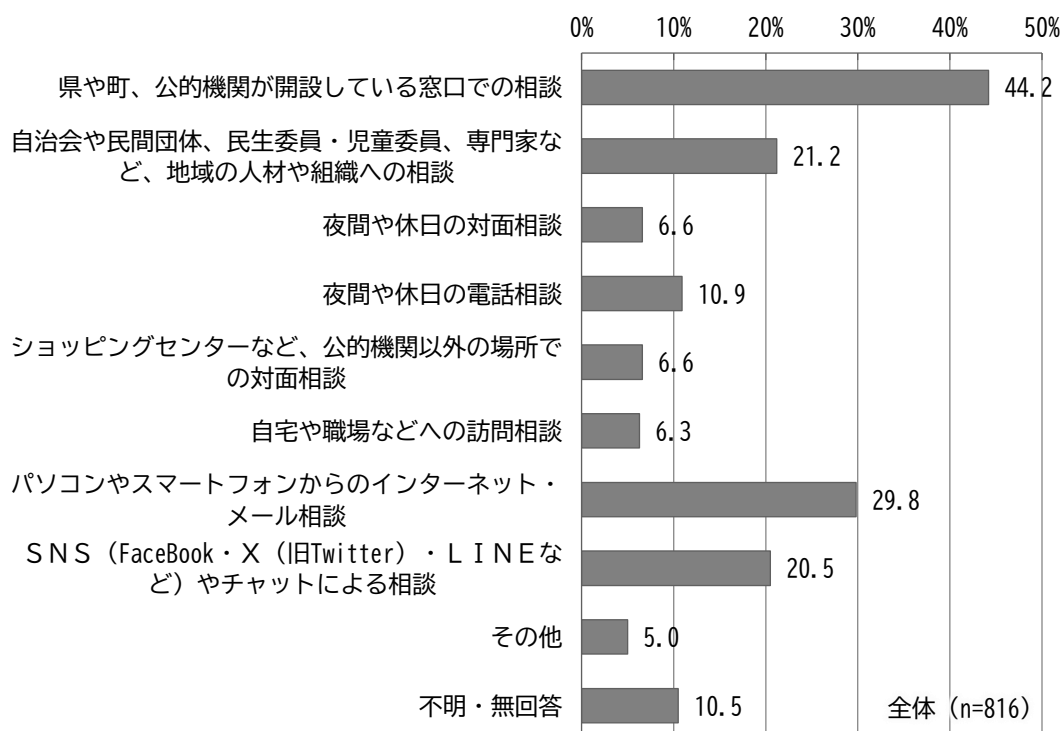
問 20 あなたは悩みや不安について、どのような方法で相談できるとよいと思いますか。
(複数回答)

「県や町、公的機関が開設している窓口での相談」が 44.2%と最も高く、次いで「パソコンやスマートフォンからのインターネット・メール相談」が 29.8%、「自治会や民間団体、民生委員・児童委員、専門家など、地域の人材や組織への相談」が 21.2%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「県や町、公的機関が開設している窓口での相談」が最も高く、それぞれ 44.2%、43.8%となっています。

年齢別でみると、10代で「SNS (FaceBook・X (旧 Twitter)・LINE など) やチャットによる相談」が、20～40代で「パソコンやスマートフォンからのインターネット・メール相談」が、50～80代で「県や町、公的機関が開設している窓口での相談」が、90代以上で「自治会や民間団体、民生委員・児童委員、専門家など、地域の人材や組織への相談」がそれぞれ最も高くなっています。

小学校区別でみると、兵庫小学校区を除いて「県や町、公的機関が開設している窓口での相談」がそれぞれ4割台と、最も高くなっています。



■クロス集計

(単位：%)	県や町、公的機関が開設している窓口での相談	自治会や民間団体、民生委員・児童委員、専門家など、地域の人材や組織への相談	夜間や休日の対面相談	夜間や休日の電話相談	ショッピングセンターなど、公的機関以外の場所での対面相談	自宅や職場などへの訪問相談	パソコンやスマートフォンからのインターネット・メール相談	SNS (Facebook・X (旧Twitter)・LINEなど) やチャットによる相談	その他	不明・無回答
【性別】										
男性(n=344)	44.2	23.5	10.2	12.2	6.4	5.5	32.0	20.1	4.4	6.7
女性(n=447)	43.8	19.5	4.0	9.4	6.9	6.7	27.7	20.6	5.6	13.6
【年齢別】										
10代(n=13)	15.4	0.0	15.4	7.7	23.1	7.7	38.5	84.6	7.7	0.0
20代(n=57)	31.6	14.0	7.0	10.5	10.5	7.0	47.4	38.6	5.3	7.0
30代(n=80)	38.8	18.8	6.3	16.3	5.0	5.0	47.5	40.0	1.3	6.3
40代(n=144)	32.6	15.3	7.6	10.4	7.6	4.2	43.1	36.1	6.3	4.2
50代(n=139)	43.2	21.6	10.8	15.1	13.7	6.5	39.6	24.5	3.6	7.9
60代(n=106)	56.6	21.7	6.6	12.3	3.8	2.8	32.1	10.4	7.5	2.8
70代(n=165)	57.6	27.3	3.6	6.1	4.2	6.1	11.5	1.8	6.7	13.3
80代(n=84)	44.0	25.0	2.4	9.5	0.0	9.5	1.2	1.2	2.4	34.5
90代以上(n=19)	31.6	36.8	5.3	0.0	0.0	31.6	0.0	0.0	5.3	21.1
【小学校区別】										
東郷小学校区(n=136)	48.5	22.1	8.1	15.4	7.4	5.9	27.2	19.9	3.7	8.1
春木台小学校区(n=123)	41.5	24.4	4.9	8.9	7.3	6.5	26.8	20.3	6.5	7.3
諸輪小学校区(n=115)	47.0	23.5	9.6	13.0	4.3	6.1	33.0	18.3	5.2	7.0
音貝小学校区(n=122)	48.4	15.6	8.2	13.9	6.6	6.6	36.9	23.0	3.3	11.5
高嶺小学校区(n=182)	43.4	19.8	2.2	4.4	6.0	6.0	23.6	15.4	8.2	15.4
兵庫小学校区(n=101)	34.7	22.8	7.9	12.9	10.9	8.9	37.6	30.7	2.0	9.9

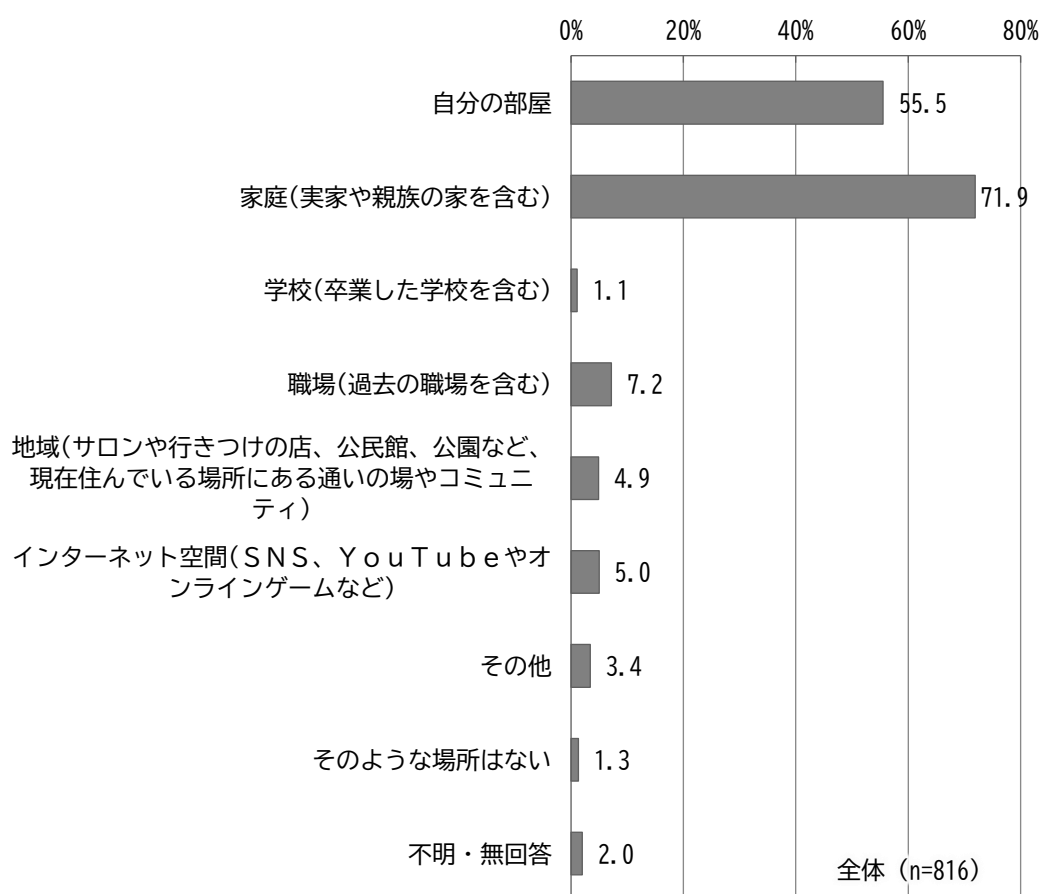
問 21 あなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地のいい場所など）と思えるところはどこですか。（複数回答）

「家庭(実家や親族の家を含む)」が 71.9%と最も高く、次いで「自分の部屋」が 55.5%、「職場(過去の職場を含む)」が 7.2%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「家庭(実家や親族の家を含む)」が最も高く、それぞれ 70.1%、73.6%となっています。

年齢別でみると、10～70 代で「家庭(実家や親族の家を含む)」がそれぞれ最も高くなっています。なお、10 代で「学校(卒業した学校を含む)」「インターネット空間(SNS、YouTube やオンラインゲームなど)」がそれぞれ 2 割台となっています。

小学校区別でみると、いずれの小学校区においても「家庭(実家や親族の家を含む)」が最も高くなっています。



■クロス集計

(単位：%)	自分の部屋	家庭(実家や親族の家を含む)	学校(卒業した学校を含む)	職場(過去の職場を含む)	地域(サロンや行きつけの店、公民館、公園など、現在住んでいる場所にある通いの場やコミュニティ)	インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)	その他	そのような場所はない	不明・無回答
【性別】									
男性(n=344)	58.1	70.1	0.9	7.3	4.7	5.8	3.8	1.2	1.7
女性(n=447)	53.5	73.6	1.3	7.2	5.1	4.0	2.7	1.3	2.2
【年齢別】									
10代(n=13)	76.9	84.6	23.1	0.0	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0
20代(n=57)	66.7	70.2	1.8	5.3	5.3	12.3	8.8	3.5	0.0
30代(n=80)	50.0	81.3	1.3	13.8	2.5	10.0	1.3	1.3	0.0
40代(n=144)	45.8	73.6	0.7	13.2	2.8	4.9	2.1	0.7	2.8
50代(n=139)	52.5	72.7	0.7	9.4	4.3	2.9	2.9	2.9	2.2
60代(n=106)	52.8	74.5	0.9	6.6	3.8	4.7	1.9	0.0	0.0
70代(n=165)	61.2	73.3	0.0	1.8	8.5	3.0	3.6	0.0	2.4
80代(n=84)	64.3	57.1	1.2	0.0	4.8	2.4	6.0	2.4	4.8
90代以上(n=19)	52.6	52.6	0.0	5.3	10.5	0.0	0.0	5.3	5.3
【小学校区別】									
東郷小学校区(n=136)	54.4	81.6	1.5	9.6	5.9	7.4	4.4	0.7	1.5
春木台小学校区(n=123)	53.7	69.9	1.6	7.3	4.1	6.5	3.3	2.4	1.6
諸輪小学校区(n=115)	53.9	72.2	0.9	3.5	2.6	5.2	5.2	1.7	1.7
音貝小学校区(n=122)	59.8	73.0	2.5	8.2	3.3	4.1	2.5	0.8	0.8
高嶺小学校区(n=182)	58.2	68.7	0.0	4.9	7.1	2.7	2.7	1.1	3.8
兵庫小学校区(n=101)	45.5	71.3	1.0	9.9	5.0	5.0	2.0	2.0	2.0

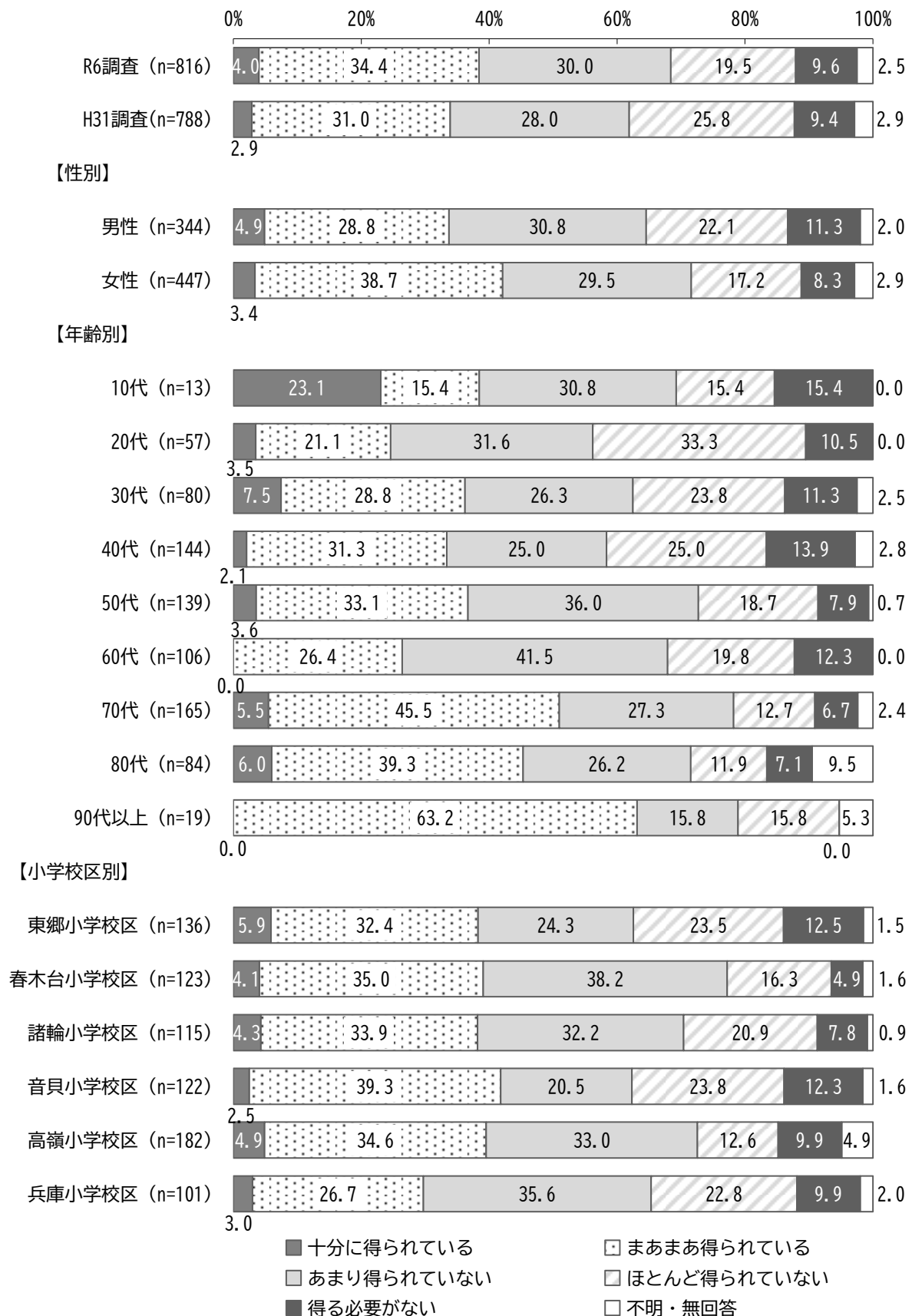
問 22 あなたは、日々の生活に必要な福祉の情報が得られていますか。(単数回答)

『得られている』(「十分に得られている」と「まあまあ得られている」の合算)が38.4%、『得られていない』(「あまり得られていない」と「ほとんど得られていない」の合算)が49.5%、「得る必要がない」が9.6%となっています。前回調査と比較すると、『得られている』が4.5ポイント高くなっています。

性別でみると、男性で『得られていない』が52.9%と、女性と比べて6.2ポイント高くなっています。

年齢別でみると、20代、60代で『得られていない』がそれぞれ6割台と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、兵庫小学校区で『得られている』が29.7%と、他の小学校区と比べて低くなっています。



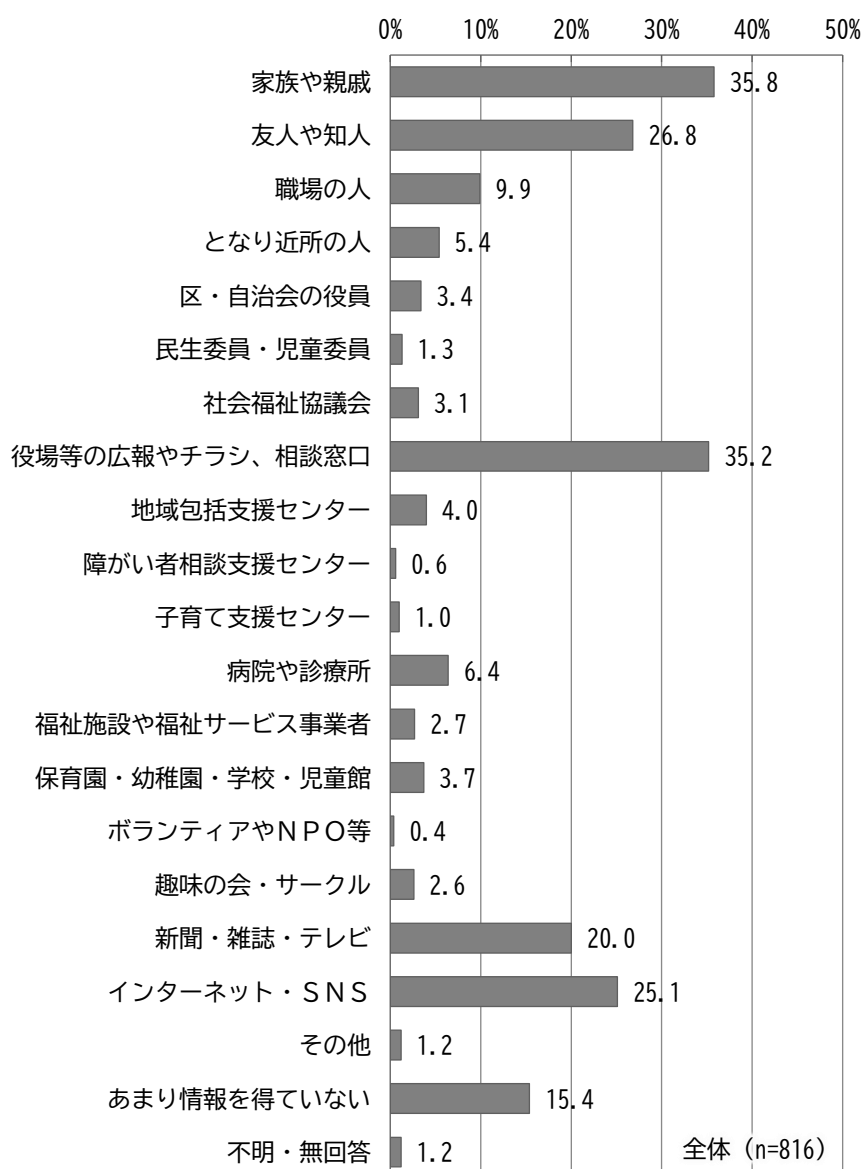
問 23 あなたは、日々の生活に必要な福祉の情報を誰（どこ）から入手していますか。
（複数回答）

「家族や親戚」が 35.8%と最も高く、次いで「役場等の広報やチラシ、相談窓口」が 35.2%、「友人や知人」が 26.8%となっています。なお、「あまり情報を得ていない」は 15.4%となっています。

性別でみると、女性で「友人や知人」が 34.2%と、男性と比べて 17.3 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、10～50 代で「インターネット・SNS」がそれぞれ 3 割台と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、春木台小学校区で「役場等の広報やチラシ、相談窓口」が 42.3%と、他の小学校区と比べて高くなっています。



■クロス集計

(単位：％)	家族や親戚	友人や知人	職場の人	となり近所の人	区・自治会の役員	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	役場等の広報やチラシ、相談窓口	地域包括支援センター	障がい者相談支援センター	子育て支援センター
【性別】											
男性(n=344)	39.8	16.9	9.9	3.5	5.2	0.9	3.2	32.0	3.8	0.6	0.3
女性(n=447)	32.7	34.2	9.4	6.7	2.2	1.8	2.9	36.5	4.5	0.4	1.6
【年齢別】											
10代(n=13)	61.5	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0
20代(n=57)	47.4	19.3	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	17.5	0.0	0.0	3.5
30代(n=80)	33.8	30.0	13.8	6.3	0.0	0.0	2.5	28.8	0.0	1.3	3.8
40代(n=144)	31.9	22.9	13.9	4.9	2.8	0.0	1.4	33.3	0.0	0.7	1.4
50代(n=139)	38.1	24.5	16.5	4.3	4.3	0.7	1.4	31.7	3.6	0.7	0.7
60代(n=106)	25.5	23.6	9.4	0.9	2.8	1.9	0.9	39.6	1.9	0.0	0.0
70代(n=165)	37.6	40.6	3.6	10.3	4.8	3.0	8.5	50.3	7.3	0.6	0.0
80代(n=84)	34.5	19.0	0.0	7.1	6.0	2.4	2.4	31.0	11.9	0.0	0.0
90代以上(n=19)	52.6	15.8	0.0	5.3	10.5	5.3	10.5	31.6	21.1	0.0	0.0
【小学校区別】											
東郷小学校区(n=136)	39.7	26.5	14.7	7.4	2.9	3.7	2.2	33.8	5.1	0.7	1.5
春木台小学校区(n=123)	36.6	28.5	7.3	4.9	6.5	1.6	4.9	42.3	3.3	0.8	0.0
諸輪小学校区(n=115)	43.5	32.2	8.7	5.2	0.9	0.0	6.1	29.6	3.5	0.0	0.9
音貝小学校区(n=122)	27.0	26.2	9.0	3.3	4.1	2.5	3.3	34.4	5.7	1.6	1.6
高嶺小学校区(n=182)	36.8	23.1	8.8	6.6	4.4	0.0	2.2	36.3	4.9	0.0	0.0
兵庫小学校区(n=101)	29.7	22.8	8.9	4.0	2.0	1.0	0.0	33.7	1.0	0.0	2.0

(単位：%)	病院や診療所	福祉施設や福祉サービス事業者	保育園・幼稚園・学校・児童館	ボランティアやNPO等	趣味の会・サークル	新聞・雑誌・テレビ	インターネット・SNS	その他	あまり情報を得ていない	不明・無回答
【性別】										
男性(n=344)	8.1	3.5	2.0	0.0	2.0	22.4	26.7	0.6	17.2	2.0
女性(n=447)	5.4	2.0	4.9	0.7	3.1	17.7	23.5	1.8	14.1	0.7
【年齢別】										
10代(n=13)	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	30.8	0.0	7.7	0.0
20代(n=57)	1.8	0.0	1.8	0.0	0.0	14.0	38.6	0.0	24.6	0.0
30代(n=80)	3.8	2.5	12.5	0.0	0.0	7.5	32.5	2.5	21.3	1.3
40代(n=144)	5.6	1.4	8.3	0.0	0.0	13.9	38.2	0.7	19.4	0.0
50代(n=139)	5.8	0.7	2.9	0.0	1.4	18.7	33.8	0.7	18.7	0.7
60代(n=106)	10.4	3.8	0.9	0.9	1.9	17.0	17.9	1.9	17.9	0.0
70代(n=165)	7.9	3.6	0.0	1.2	5.5	33.3	15.2	1.2	6.1	0.6
80代(n=84)	7.1	4.8	0.0	0.0	7.1	28.6	4.8	2.4	9.5	7.1
90代以上(n=19)	10.5	10.5	0.0	0.0	10.5	15.8	0.0	0.0	10.5	5.3
【小学校区別】										
東郷小学校区(n=136)	3.7	0.7	2.9	0.0	1.5	15.4	27.2	0.0	16.9	0.7
春木台小学校区(n=123)	9.8	5.7	4.9	0.8	5.7	21.1	22.8	1.6	8.9	0.8
諸輪小学校区(n=115)	6.1	3.5	1.7	0.9	1.7	21.7	24.3	1.7	14.8	1.7
音貝小学校区(n=122)	6.6	4.1	4.9	0.0	1.6	19.7	27.9	1.6	18.9	0.8
高嶺小学校区(n=182)	7.1	2.2	2.7	0.5	2.2	23.1	20.9	1.1	15.4	2.7
兵庫小学校区(n=101)	5.0	0.0	5.9	0.0	4.0	18.8	28.7	2.0	18.8	0.0

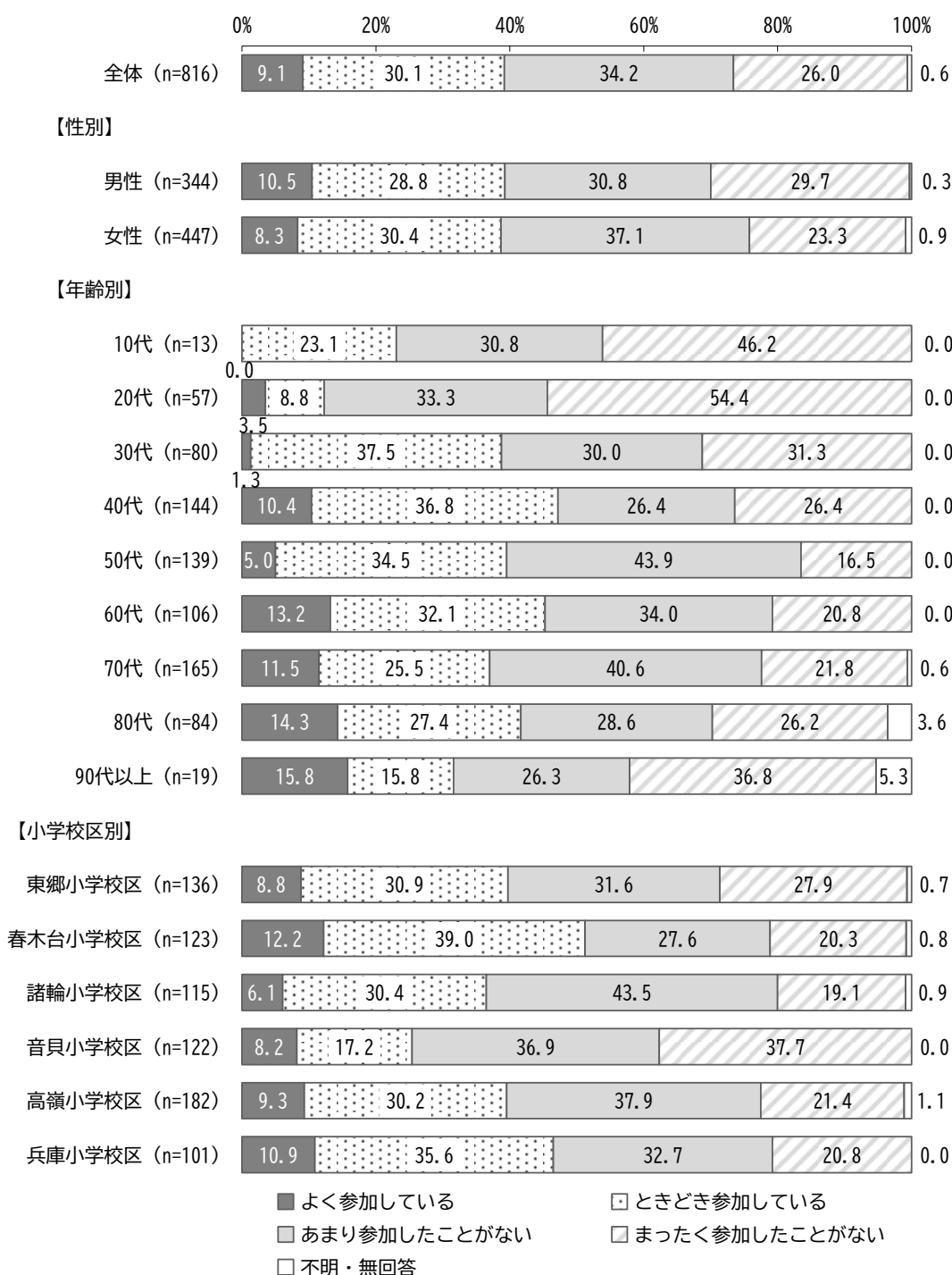
問 24 あなたは、区・自治会などのご近所の地域活動に参加していますか。(単数回答)

『参加している』(「よく参加している」と「ときどき参加している」の合算)が39.2%、『参加したことがない』(「あまり参加したことがない」と「まったく参加したことがない」の合算)が60.2%となっています。

性別でみると、男性で「まったく参加したことがない」が29.7%と、女性と比べて6.4ポイント高くなっています。

年齢別でみると、20代で『参加したことがない』が87.7%と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、音貝小学校区で『参加したことがない』が74.6%と、他の小学校区と比べて高くなっています。



問 24 で「1 よく参加している」または「2 ときどき参加している」と回答した方

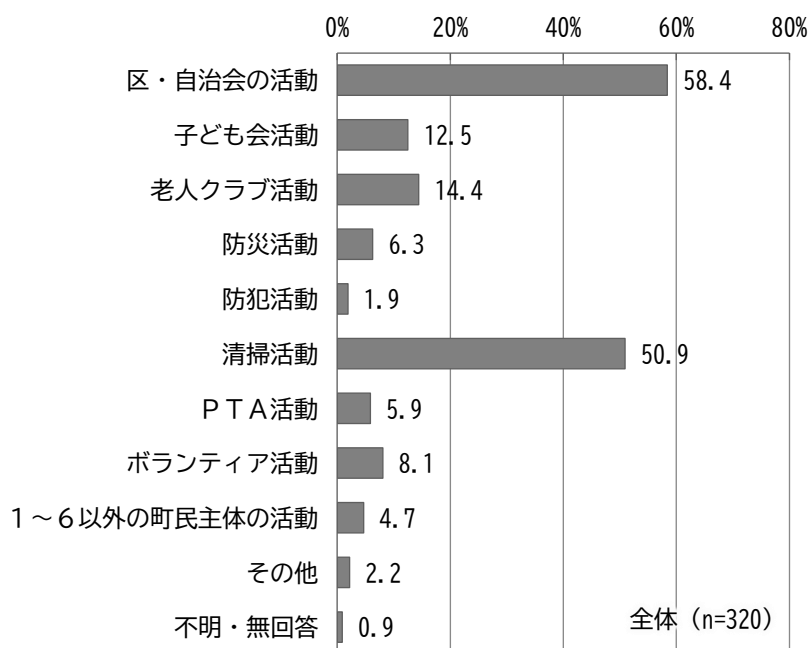
問 24－1 どんな地域活動をしていますか。（複数回答）

「区・自治会の活動」が 58.4%と最も高く、次いで「清掃活動」が 50.9%、「老人クラブ活動」が 14.4%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「区・自治会の活動」が最も高く、それぞれ 56.3%、61.3%となっています。

年齢別でみると、30～80 代で「区・自治会の活動」「清掃活動」がそれぞれ 4 割以上となっています。なお、80 代で「老人クラブ活動」が 51.4%となっています。

小学校区別でみると、音貝小学校区で「区・自治会の活動」が 80.6%と、他の小学校区と比べて高くなっています。



■クロス集計

(単位：%)	区・自治会の活動	子ども会活動	老人クラブ活動	防災活動	防犯活動	清掃活動	P T A活動	ボランティア活動	1 ～ 6 以外の 町 民 主 体 の 活 動	その他	不明・無回答
【性別】											
男性(n=135)	56.3	13.3	10.4	9.6	3.0	54.1	3.0	7.4	1.5	2.2	1.5
女性(n=173)	61.3	12.1	17.9	3.5	0.6	49.1	8.7	9.2	5.8	2.3	0.6
【年齢別】											
10代(n=3)	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
20代(n=7)	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代(n=31)	54.8	25.8	0.0	16.1	3.2	58.1	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0
40代(n=68)	64.7	27.9	0.0	5.9	0.0	50.0	19.1	1.5	5.9	0.0	0.0
50代(n=55)	60.0	10.9	0.0	0.0	3.6	65.5	5.5	5.5	1.8	0.0	0.0
60代(n=48)	66.7	2.1	6.3	8.3	0.0	52.1	0.0	14.6	4.2	4.2	0.0
70代(n=61)	60.7	1.6	34.4	8.2	3.3	47.5	0.0	16.4	6.6	1.6	1.6
80代(n=35)	40.0	2.9	51.4	5.7	2.9	40.0	0.0	8.6	5.7	8.6	5.7
90代以上(n=6)	50.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
【小学校区別】											
東郷小学校区(n=54)	48.1	13.0	14.8	11.1	3.7	68.5	7.4	5.6	3.7	0.0	0.0
春木台小学校区(n=63)	58.7	14.3	14.3	6.3	3.2	55.6	0.0	9.5	3.2	1.6	1.6
諸輪小学校区(n=42)	69.0	7.1	11.9	4.8	0.0	45.2	7.1	7.1	4.8	2.4	2.4
音貝小学校区(n=31)	80.6	22.6	22.6	9.7	6.5	6.5	6.5	9.7	12.9	0.0	0.0
高嶺小学校区(n=72)	61.1	15.3	15.3	5.6	0.0	38.9	9.7	11.1	1.4	2.8	1.4
兵庫小学校区(n=47)	51.1	4.3	8.5	2.1	0.0	78.7	6.4	6.4	4.3	6.4	0.0

問 24 で「3 あまり参加したことがない」または「4 まったく参加したことがない」と回答した方

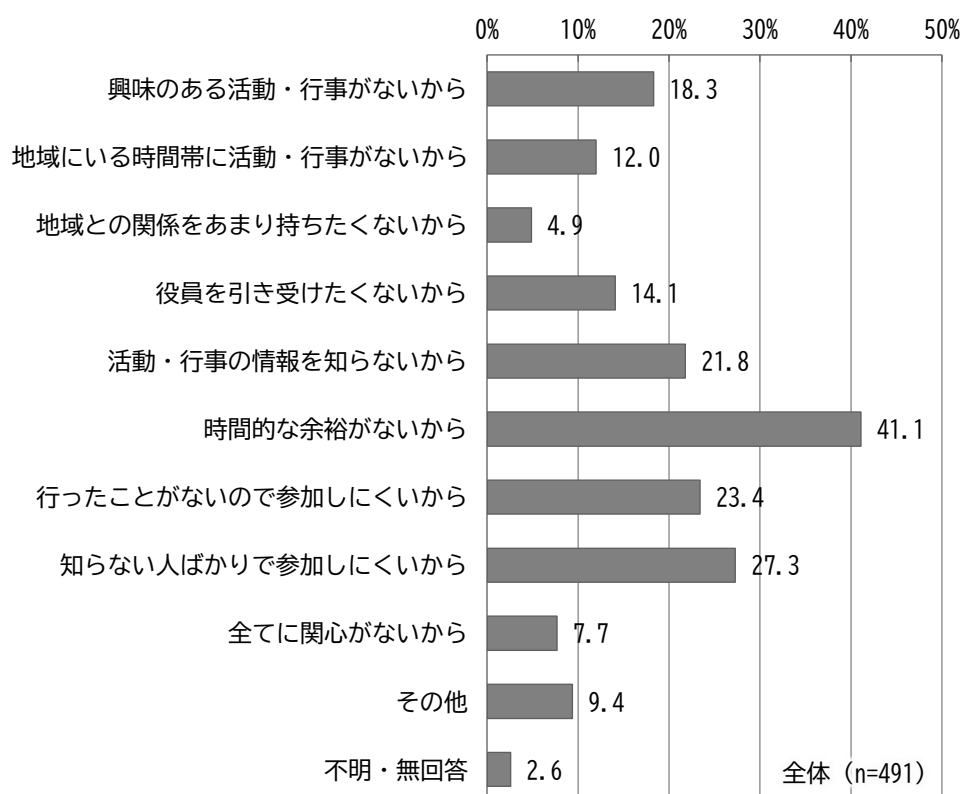
問 24－2 参加しない理由は何ですか。（複数回答）

「時間的な余裕がないから」が 41.1%と最も高く、次いで「知らない人ばかりで参加しにくいから」が 27.3%、「行ったことがないので参加しにくいから」が 23.4%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「時間的な余裕がないから」が最も高く、それぞれ 40.9%、41.1%となっています。

年齢別でみると、10～60 代で「時間的な余裕がないから」がそれぞれ 4 割以上となっています。

小学校区別でみると、いずれの小学校区においても「時間的な余裕がないから」が 4 割前後と、最も高くなっています。



■クロス集計

(単位：%)	興味のある活動・ 行事がないから	地域にいる時間帯に活 動・行事がないから	地域との関係をあまり 持ちたくないから	役員を引き受けたく ないから	活動・行事の情報を 知らないから	時間的な余裕がない から	行ったことがないので 参加しにくいから	知らない人ばかりで 参加しにくいから	全てに関心がないから	その他	不明・無回答
【性別】											
男性(n=208)	16.8	10.6	4.3	13.9	26.0	40.9	18.8	26.0	12.0	9.1	1.9
女性(n=270)	17.8	13.3	4.4	14.1	18.9	41.1	27.4	28.1	4.4	10.0	3.3
【年齢別】											
10代(n=10)	20.0	10.0	0.0	0.0	30.0	50.0	20.0	50.0	10.0	0.0	0.0
20代(n=50)	20.0	8.0	4.0	8.0	38.0	46.0	20.0	28.0	8.0	12.0	4.0
30代(n=49)	20.4	12.2	0.0	20.4	32.7	51.0	22.4	34.7	10.2	4.1	0.0
40代(n=76)	13.2	18.4	6.6	23.7	23.7	56.6	23.7	21.1	10.5	3.9	1.3
50代(n=84)	22.6	20.2	4.8	16.7	13.1	56.0	16.7	32.1	4.8	7.1	3.6
60代(n=58)	19.0	12.1	6.9	12.1	19.0	43.1	22.4	32.8	6.9	1.7	1.7
70代(n=103)	18.4	8.7	4.9	13.6	16.5	26.2	28.2	23.3	5.8	11.7	4.9
80代(n=46)	13.0	2.2	6.5	4.3	19.6	13.0	32.6	17.4	10.9	23.9	2.2
90代以上(n=12)	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	16.7	25.0	8.3	41.7	0.0
【小学校区別】											
東郷小学校区(n=81)	19.8	14.8	6.2	18.5	33.3	42.0	33.3	25.9	4.9	8.6	4.9
春木台小学校区(n=59)	18.6	5.1	6.8	8.5	15.3	33.9	22.0	28.8	6.8	13.6	3.4
諸輪小学校区(n=72)	16.7	9.7	5.6	13.9	19.4	43.1	20.8	30.6	6.9	11.1	0.0
音貝小学校区(n=91)	15.4	13.2	4.4	12.1	18.7	44.0	28.6	33.0	7.7	2.2	1.1
高嶺小学校区(n=108)	20.4	11.1	4.6	13.9	21.3	39.8	23.1	24.1	9.3	13.0	3.7
兵庫小学校区(n=54)	20.4	20.4	1.9	18.5	20.4	48.1	11.1	20.4	11.1	5.6	3.7

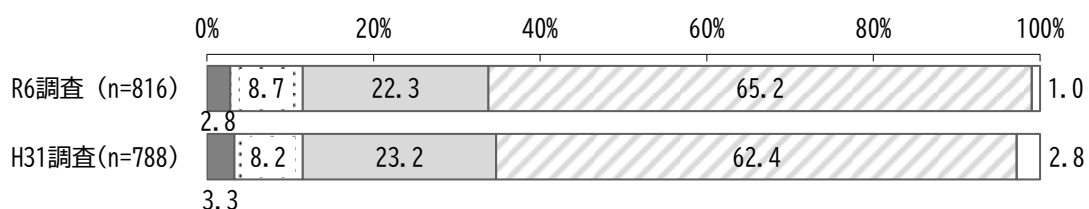
問 25 あなたは、ボランティア・町民主体の活動やNPO活動に参加していますか。
(単数回答)

『参加している』(「よく参加している」と「ときどき参加している」の合算)が11.5%、『参加したことがない』(「あまり参加したことがない」と「まったく参加したことがない」の合算)が87.5%となっています。前回調査と比較すると、大きな差はみられません。

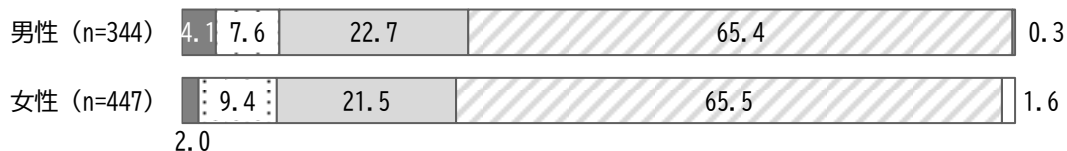
性別でみると、『参加している』が男性で11.7%、女性で11.4%となっています。

年齢別でみると、いずれの年代においても『参加したことがない』がそれぞれ8割以上となっています。

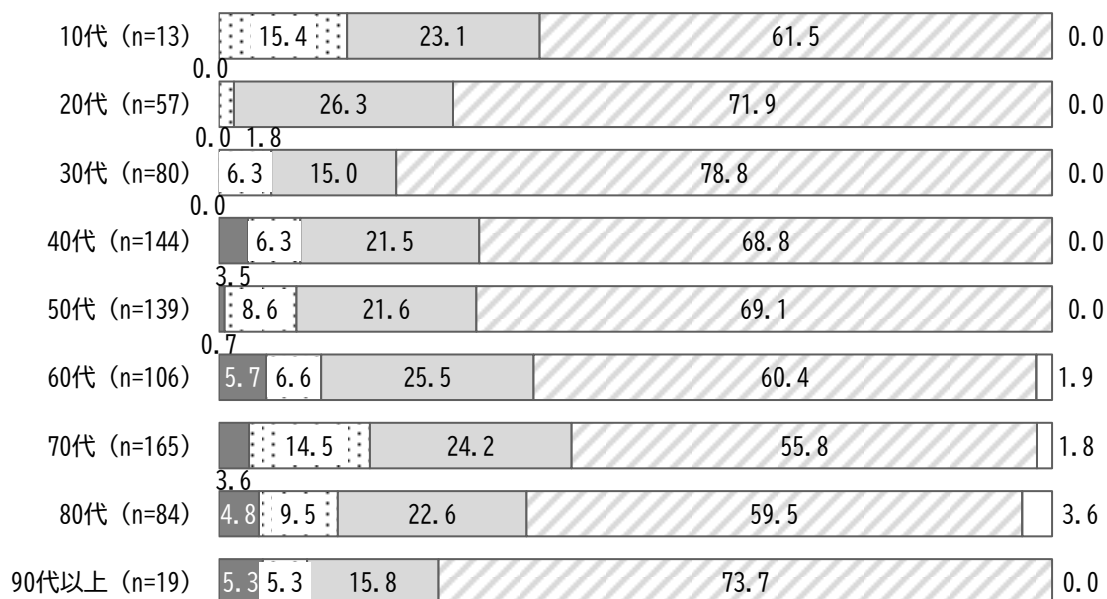
小学校区別でみると、諸輪小学校区で『参加している』が7.8%と、他の小学校区と比べて低くなっています。



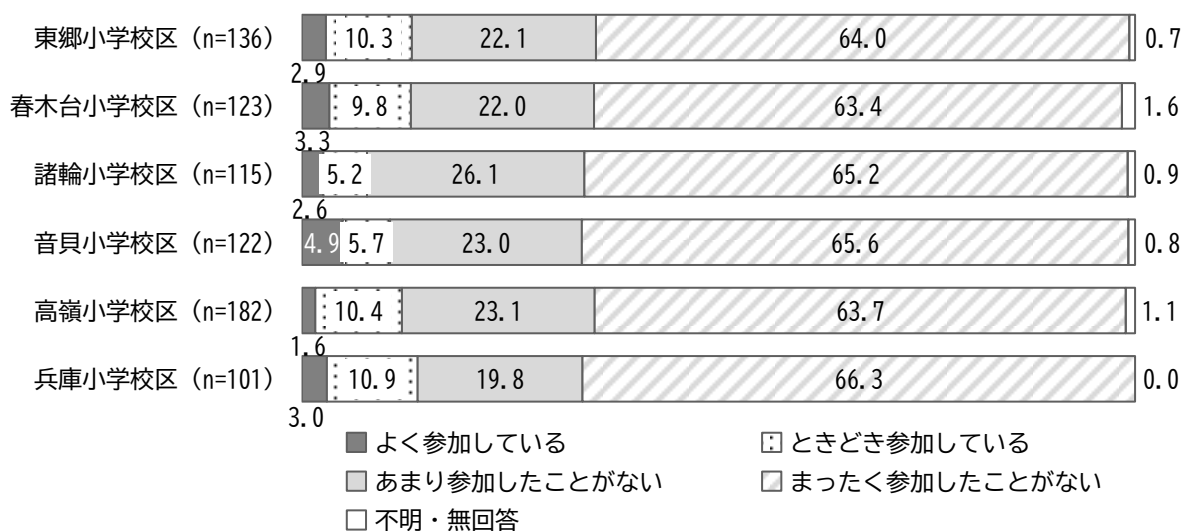
【性別】



【年齢別】



【小学校区別】



問 25 で「1 よく参加している」または「2 ときどき参加している」と回答した方

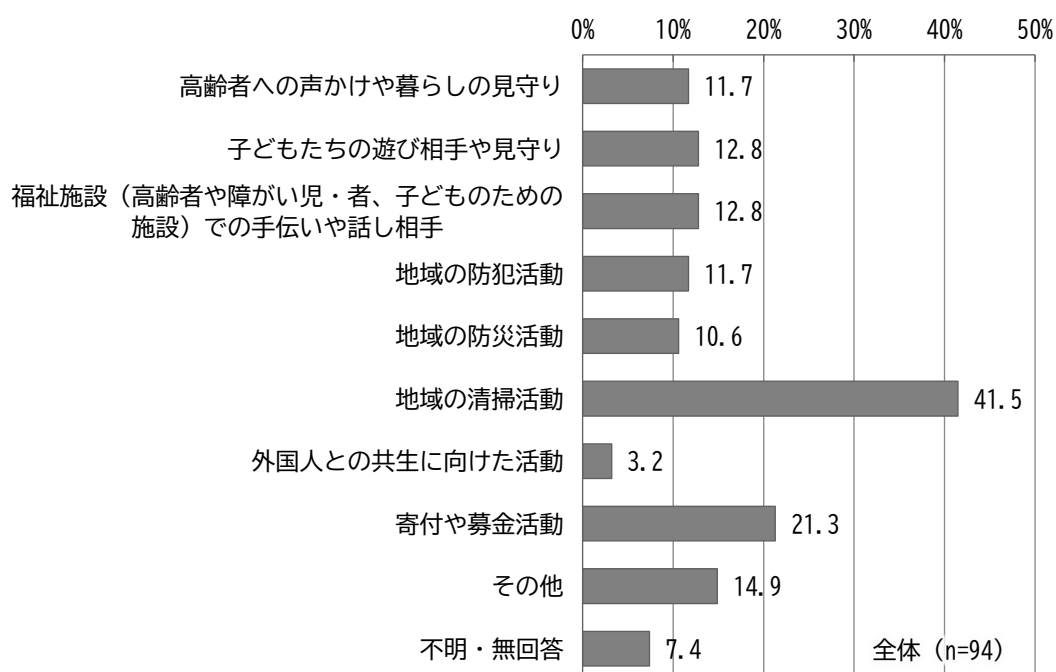
問 25－1 どのようなボランティア・町民主体の活動やNPO活動に参加したことがありますか。（複数回答）

「地域の清掃活動」が 41.5%と最も高く、次いで「寄付や募金活動」が 21.3%、「その他」が 14.9%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「地域の清掃活動」が最も高く、それぞれ 40.0%、45.1%となっています。

年齢別でみると、70 代、80 代で「地域の清掃活動」がそれぞれ 5 割以上と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、兵庫小学校区で「地域の清掃活動」が 64.3%と、他の小学校区と比べて高くなっています。



■クロス集計

(単位：%)	高齢者への声かけや暮らしの見守り	子どもたちの遊び相手や見守り	福祉施設（高齢者や障がい児・者、子どものための施設）での手伝いや話し相手	地域の防犯活動	地域の防災活動	地域の清掃活動	外国人との共生に向けた活動	寄付や募金活動	その他	不明・無回答
【性別】										
男性(n=40)	7.5	10.0	10.0	22.5	15.0	40.0	5.0	17.5	20.0	5.0
女性(n=51)	13.7	15.7	15.7	3.9	7.8	45.1	2.0	23.5	11.8	7.8
【年齢別】										
10代(n=2)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0
30代(n=5)	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	60.0	0.0	0.0
40代(n=14)	0.0	14.3	7.1	14.3	0.0	42.9	14.3	35.7	14.3	0.0
50代(n=13)	7.7	15.4	7.7	7.7	7.7	38.5	0.0	15.4	15.4	7.7
60代(n=13)	7.7	15.4	23.1	23.1	23.1	23.1	7.7	7.7	30.8	7.7
70代(n=30)	20.0	10.0	16.7	6.7	16.7	53.3	0.0	16.7	10.0	10.0
80代(n=12)	25.0	8.3	8.3	8.3	8.3	50.0	0.0	16.7	8.3	8.3
90代以上(n=2)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
【小学校区別】										
東郷小学校区(n=18)	0.0	11.1	5.6	11.1	16.7	50.0	5.6	33.3	16.7	16.7
春木台小学校区(n=16)	6.3	25.0	31.3	12.5	6.3	43.8	6.3	12.5	6.3	0.0
諸輪小学校区(n=9)	11.1	11.1	44.4	0.0	11.1	33.3	11.1	0.0	22.2	0.0
音貝小学校区(n=13)	23.1	7.7	15.4	30.8	7.7	23.1	0.0	15.4	30.8	7.7
高嶺小学校区(n=22)	22.7	13.6	0.0	9.1	18.2	36.4	0.0	27.3	13.6	9.1
兵庫小学校区(n=14)	7.1	7.1	0.0	7.1	0.0	64.3	0.0	21.4	7.1	0.0

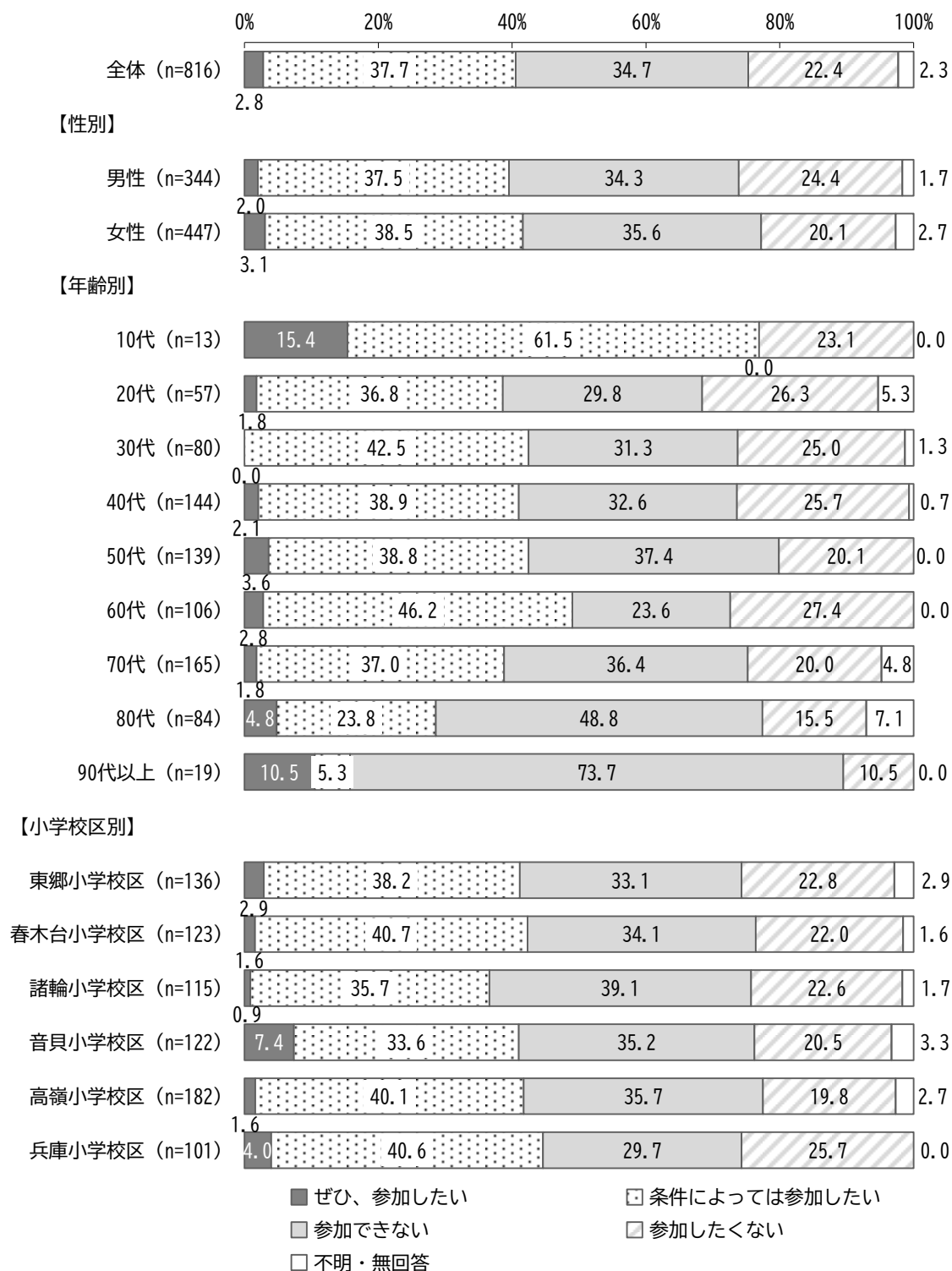
問 26 あなたは、今後、ボランティア・町民主体の活動やNPO活動に参加してみたいと思いますか。(単数回答)

『参加したい』(「ぜひ、参加したい」と「条件によっては参加したい」の合算)が40.5%、「参加できない」が34.7%、「参加したくない」が22.4%となっています。

性別でみると、『参加したい』が男性で39.5%、女性で41.6%となっています。

年齢別でみると、20～70代で『参加したい』がそれぞれ4割前後と、他の年代と比べて低くなっています。

小学校区別でみると、いずれの小学校区においても『参加したい』が4割前後となっています。



問 26 で「1 ぜひ、参加したい」または「2 条件によっては参加したい」と回答した方

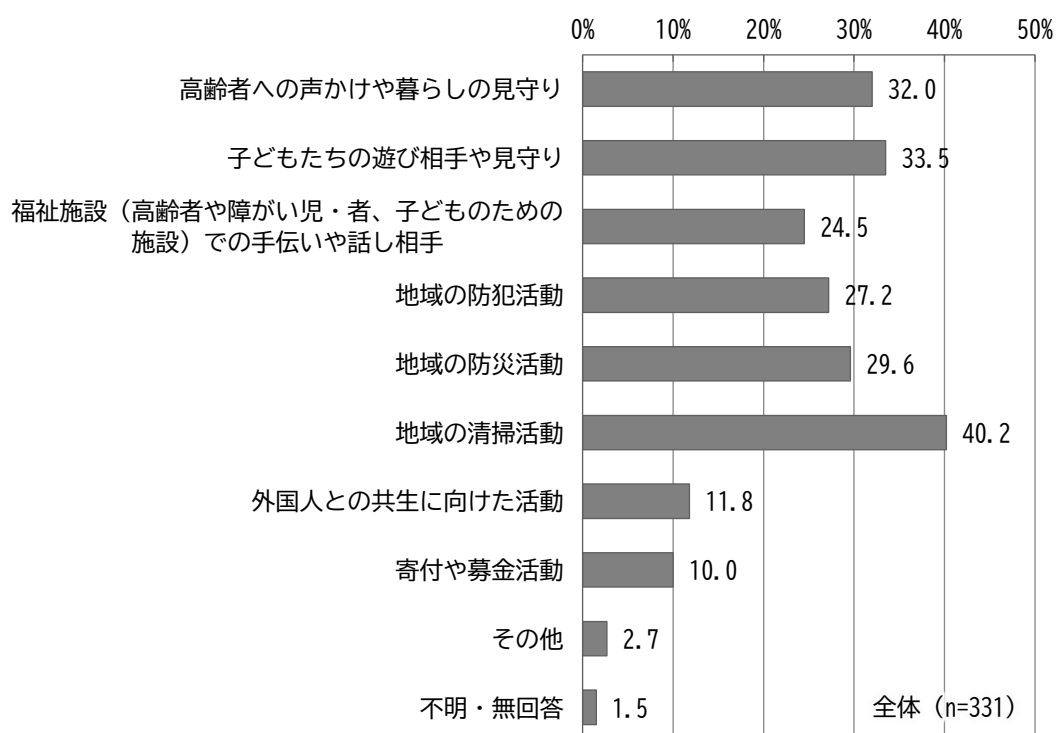
問 26－1 あなたが参加してみたいボランティア・町民主体の活動やNPO活動は、次のうちどれですか。（現在参加しているものを含む。）（複数回答）

「地域の清掃活動」が 40.2%と最も高く、次いで「子どもたちの遊び相手や見守り」が 33.5%、「高齢者への声かけや暮らしの見守り」が 32.0%となっています。

性別でみると、男性で「地域の清掃活動」が 50.0%と最も高く、女性で「高齢者への声かけや暮らしの見守り」「子どもたちの遊び相手や見守り」がそれぞれ 38.7%と最も高くなっています。

年齢別でみると、10～40代で「子どもたちの遊び相手や見守り」が、50～80代で「地域の清掃活動」がそれぞれ最も高くなっています。

小学校区別でみると、いずれの小学校区においても「地域の清掃活動」が4割前後となっています。



■クロス集計

(単位：%)	高齢者への声かけや暮らしの見守り	子どもたちの遊び相手や見守り	福祉施設（高齢者や障がい児・者、子どものための施設）での手伝いや話し相手	地域の防犯活動	地域の防災活動	地域の清掃活動	外国人との共生に向けた活動	寄付や募金活動	その他	不明・無回答
【性別】										
男性(n=136)	23.5	27.9	13.2	44.9	39.7	50.0	10.3	10.3	2.2	1.5
女性(n=186)	38.7	38.7	33.3	14.5	21.0	33.3	12.9	9.7	2.2	1.1
【年齢別】										
10代(n=10)	20.0	60.0	30.0	0.0	30.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0
20代(n=22)	9.1	54.5	36.4	22.7	36.4	45.5	13.6	13.6	0.0	0.0
30代(n=34)	26.5	64.7	23.5	35.3	17.6	35.3	11.8	2.9	0.0	0.0
40代(n=59)	35.6	45.8	32.2	30.5	35.6	40.7	15.3	13.6	0.0	1.7
50代(n=59)	35.6	23.7	15.3	25.4	27.1	37.3	13.6	5.1	5.1	0.0
60代(n=52)	36.5	34.6	23.1	30.8	32.7	48.1	15.4	7.7	1.9	0.0
70代(n=64)	35.9	12.5	23.4	25.0	31.3	43.8	9.4	18.8	1.6	4.7
80代(n=24)	33.3	12.5	25.0	20.8	16.7	37.5	0.0	8.3	8.3	4.2
90代以上(n=3)	33.3	33.3	0.0	66.7	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
【小学校区別】										
東郷小学校区(n=56)	39.3	37.5	23.2	33.9	33.9	48.2	8.9	12.5	0.0	0.0
春木台小学校区(n=52)	26.9	34.6	28.8	26.9	25.0	36.5	11.5	13.5	1.9	3.8
諸輪小学校区(n=42)	23.8	28.6	26.2	35.7	28.6	35.7	16.7	4.8	0.0	4.8
音貝小学校区(n=50)	38.0	40.0	24.0	26.0	28.0	38.0	10.0	10.0	6.0	2.0
高嶺小学校区(n=76)	35.5	28.9	18.4	21.1	27.6	38.2	10.5	10.5	1.3	0.0
兵庫小学校区(n=45)	26.7	35.6	28.9	24.4	33.3	46.7	11.1	8.9	4.4	0.0

問 26 で「3 参加できない」または「4 参加したくない」と回答した方

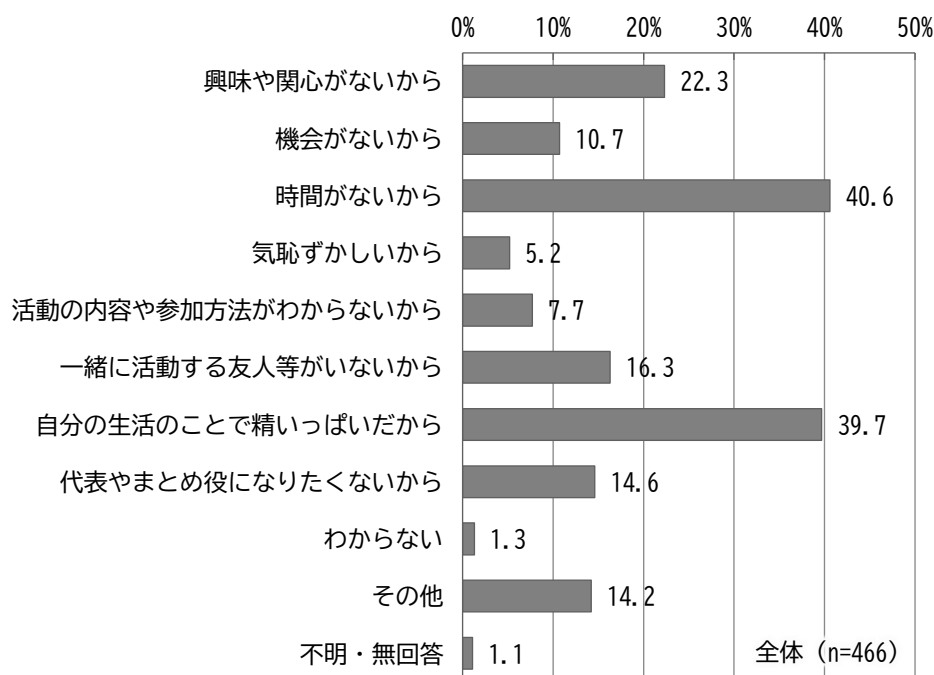
問 26－2 参加できない、または参加したくない理由は何ですか。（複数回答）

「時間がないから」が 40.6%と最も高く、次いで「自分の生活のことで精いっぱいだから」が 39.7%、「興味や関心がないから」が 22.3%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「時間がないから」「自分の生活のことで精いっぱいだから」がそれぞれ 4 割前後と高くなっています。

年齢別でみると、20～50 代で「時間がないから」がそれぞれ 6 割前後と高くなっています。

小学校区別でみると、春木台小学校区、兵庫小学校区で「興味や関心がないから」がそれぞれ 3 割前後と、他の小学校区と比べて高くなっています。



■クロス集計

(単位：％)	興味や関心がないから	機会がないから	時間がないから	気恥ずかしいから	活動の内容や参加方法がわからないから	一緒に活動する友人等がないから	自分の生活のことで精いっぱいだから	代表やまとめ役になりたくないから	わからない	その他	不明・無回答
【性別】											
男性(n=202)	26.2	9.4	43.6	7.9	5.9	15.8	36.6	14.9	2.0	10.9	1.5
女性(n=249)	18.1	12.0	38.2	2.8	9.6	16.9	41.8	14.5	0.8	16.5	0.8
【年齢別】											
10代(n=3)	66.7	0.0	33.3	0.0	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
20代(n=32)	31.3	18.8	56.3	9.4	6.3	18.8	40.6	9.4	0.0	9.4	0.0
30代(n=45)	22.2	11.1	57.8	8.9	13.3	17.8	48.9	24.4	0.0	11.1	0.0
40代(n=84)	26.2	9.5	60.7	9.5	11.9	14.3	41.7	22.6	3.6	1.2	0.0
50代(n=80)	21.3	6.3	61.3	5.0	2.5	12.5	42.5	17.5	1.3	8.8	0.0
60代(n=54)	20.4	14.8	31.5	1.9	7.4	14.8	50.0	14.8	1.9	9.3	0.0
70代(n=93)	19.4	11.8	22.6	3.2	7.5	18.3	36.6	10.8	1.1	18.3	3.2
80代(n=54)	22.2	11.1	7.4	1.9	7.4	18.5	25.9	3.7	0.0	29.6	3.7
90代以上(n=16)	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	18.8	18.8	0.0	0.0	68.8	0.0
【小学校区別】											
東郷小学校区(n=76)	18.4	6.6	48.7	6.6	9.2	22.4	39.5	14.5	1.3	11.8	1.3
春木台小学校区(n=69)	27.5	13.0	30.4	5.8	8.7	20.3	43.5	17.4	1.4	13.0	2.9
諸輪小学校区(n=71)	19.7	16.9	43.7	1.4	5.6	14.1	49.3	5.6	1.4	16.9	0.0
音貝小学校区(n=68)	22.1	10.3	50.0	5.9	7.4	19.1	33.8	17.6	0.0	7.4	0.0
高嶺小学校区(n=101)	17.8	7.9	29.7	5.9	3.0	13.9	36.6	11.9	2.0	23.8	2.0
兵庫小学校区(n=56)	32.1	12.5	48.2	5.4	10.7	8.9	41.1	19.6	1.8	3.6	0.0

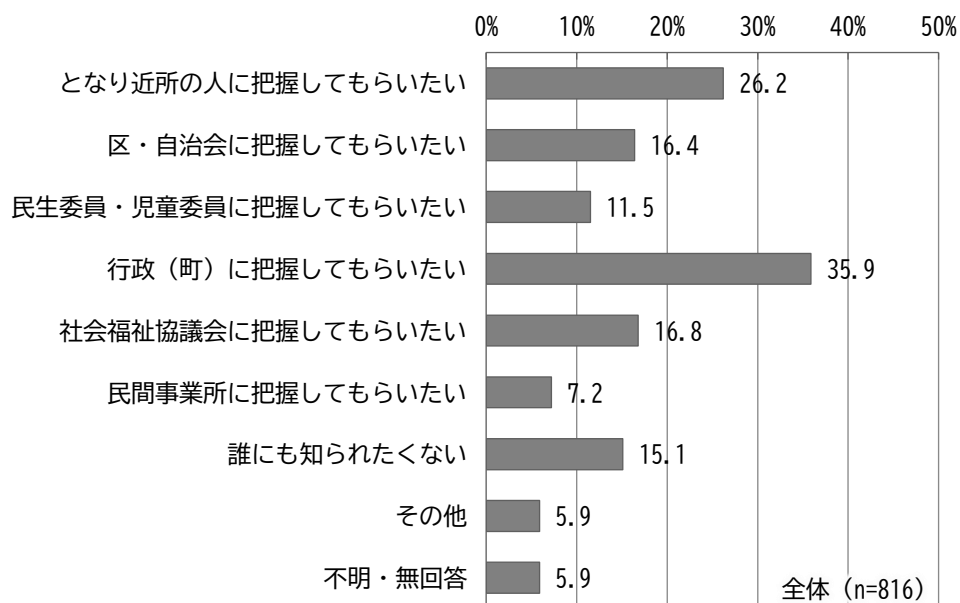
問 27 自分が支援を必要とするとき、家族以外で自分の情報を把握しておいてもらいたい
と考える相手は誰ですか。(複数回答)

「行政（町）に把握してもらいたい」が 35.9%と最も高く、次いで「となり近所の人に把握してもらいたい」が 26.2%、「社会福祉協議会に把握してもらいたい」が 16.8%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「行政（町）に把握してもらいたい」が最も高く、それぞれ 38.4%、32.9%となっています。

年齢別でみると、30 代で「行政（町）に把握してもらいたい」が 51.3%と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、いずれの小学校区においても「行政（町）に把握してもらいたい」が 3 割台と、最も高くなっています。なお、「誰にも知られたくない」がそれぞれ 1 割台となっています。



■クロス集計

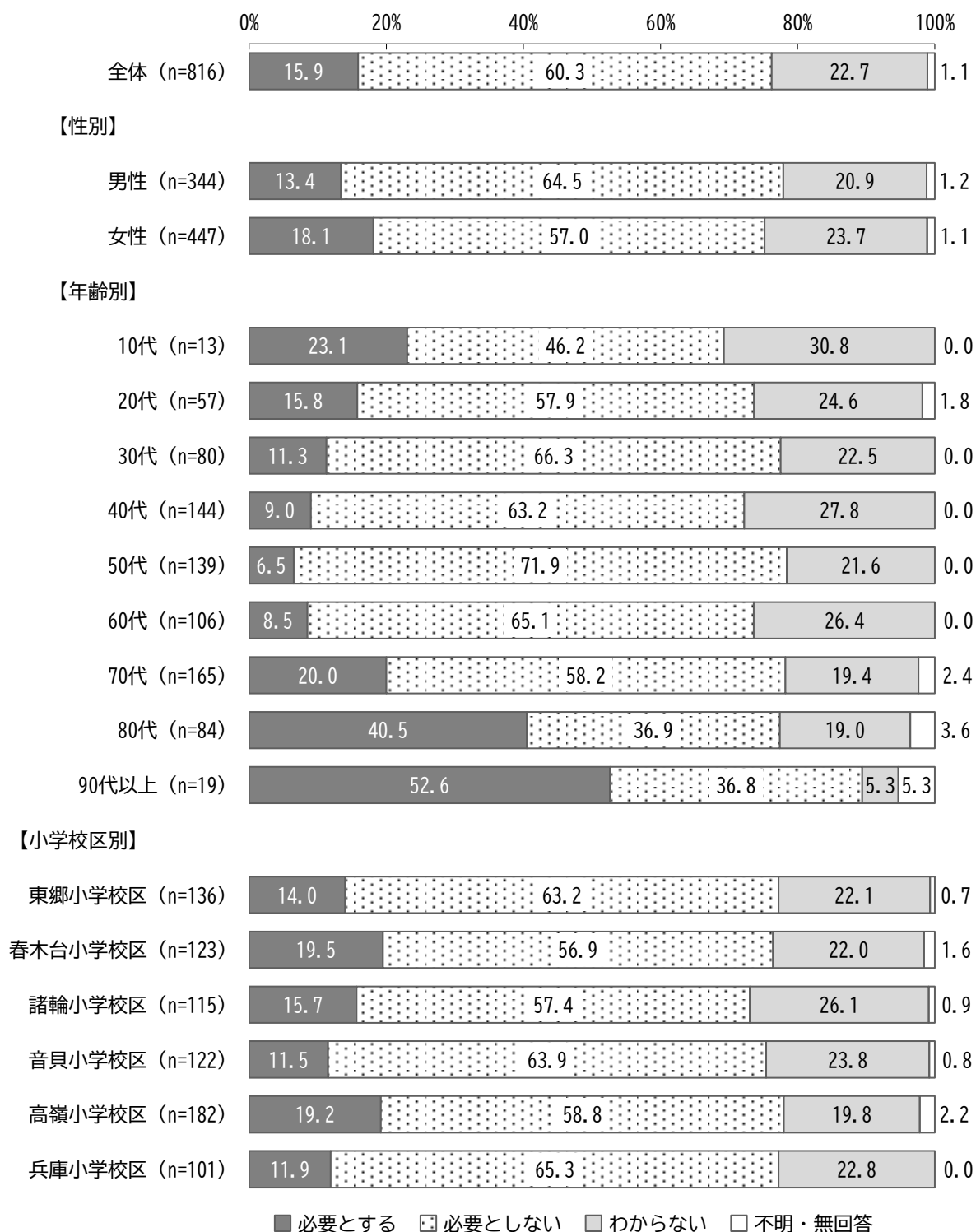
(単位：%)	となり近所の人に 把握してもらいたい	区・自治会に把握して もらいたい	民生委員・児童委員に 把握してもらいたい	行政(町)に把握して もらいたい	社会福祉協議会に把握 してもらいたい	民間事業所に把握して もらいたい	誰にも知られたくない	その他	不明・無回答
【性別】									
男性(n=344)	25.9	19.2	11.9	38.4	15.4	5.8	18.0	3.8	5.5
女性(n=447)	27.3	14.5	11.2	32.9	17.9	7.4	13.0	7.6	6.0
【年齢別】									
10代(n=13)	46.2	23.1	7.7	15.4	15.4	7.7	15.4	0.0	0.0
20代(n=57)	19.3	12.3	10.5	38.6	15.8	8.8	22.8	5.3	5.3
30代(n=80)	25.0	17.5	11.3	51.3	16.3	7.5	18.8	3.8	0.0
40代(n=144)	29.2	15.3	7.6	38.2	11.1	4.9	20.8	5.6	1.4
50代(n=139)	26.6	18.7	14.4	40.3	15.1	8.6	14.4	6.5	3.6
60代(n=106)	22.6	17.0	15.1	40.6	17.9	11.3	14.2	9.4	0.9
70代(n=165)	29.7	16.4	13.3	28.5	22.4	6.1	9.7	6.7	8.5
80代(n=84)	23.8	14.3	7.1	20.2	17.9	3.6	10.7	4.8	23.8
90代以上(n=19)	26.3	21.1	15.8	26.3	21.1	5.3	5.3	0.0	10.5
【小学校区別】									
東郷小学校区(n=136)	27.9	20.6	14.7	39.7	19.9	2.9	16.2	2.2	5.9
春木台小学校区(n=123)	25.2	15.4	13.8	35.0	13.0	10.6	14.6	7.3	7.3
諸輪小学校区(n=115)	30.4	18.3	11.3	36.5	11.3	7.8	16.5	6.1	2.6
音貝小学校区(n=122)	26.2	17.2	9.0	33.6	21.3	9.0	12.3	7.4	5.7
高嶺小学校区(n=182)	24.2	12.6	11.0	33.5	18.1	5.5	13.7	7.1	8.8
兵庫小学校区(n=101)	26.7	18.8	9.9	37.6	16.8	7.9	15.8	5.0	3.0

問 28 あなたは、地震などの災害発生時に、避難場所までの移動や情報入手等について、誰かの手助けを必要としますか。（単数回答）

「必要とする」が 15.9%、「必要としない」が 60.3%、「わからない」が 22.7%となっています。性別でみると、「必要とする」が男性で 13.4%、女性で 18.1%となっています。

年齢別でみると、80 代以上で「必要とする」がそれぞれ 4 割以上と、他の年代と比べて高くなっており、特に 90 代で 52.6%となっています。

小学校区別でみると、いずれの小学校区においても「必要とする」は 1 割台であるものの、「わからない」が 2 割前後となっています。



問 28 で「1 必要とする」と回答した方

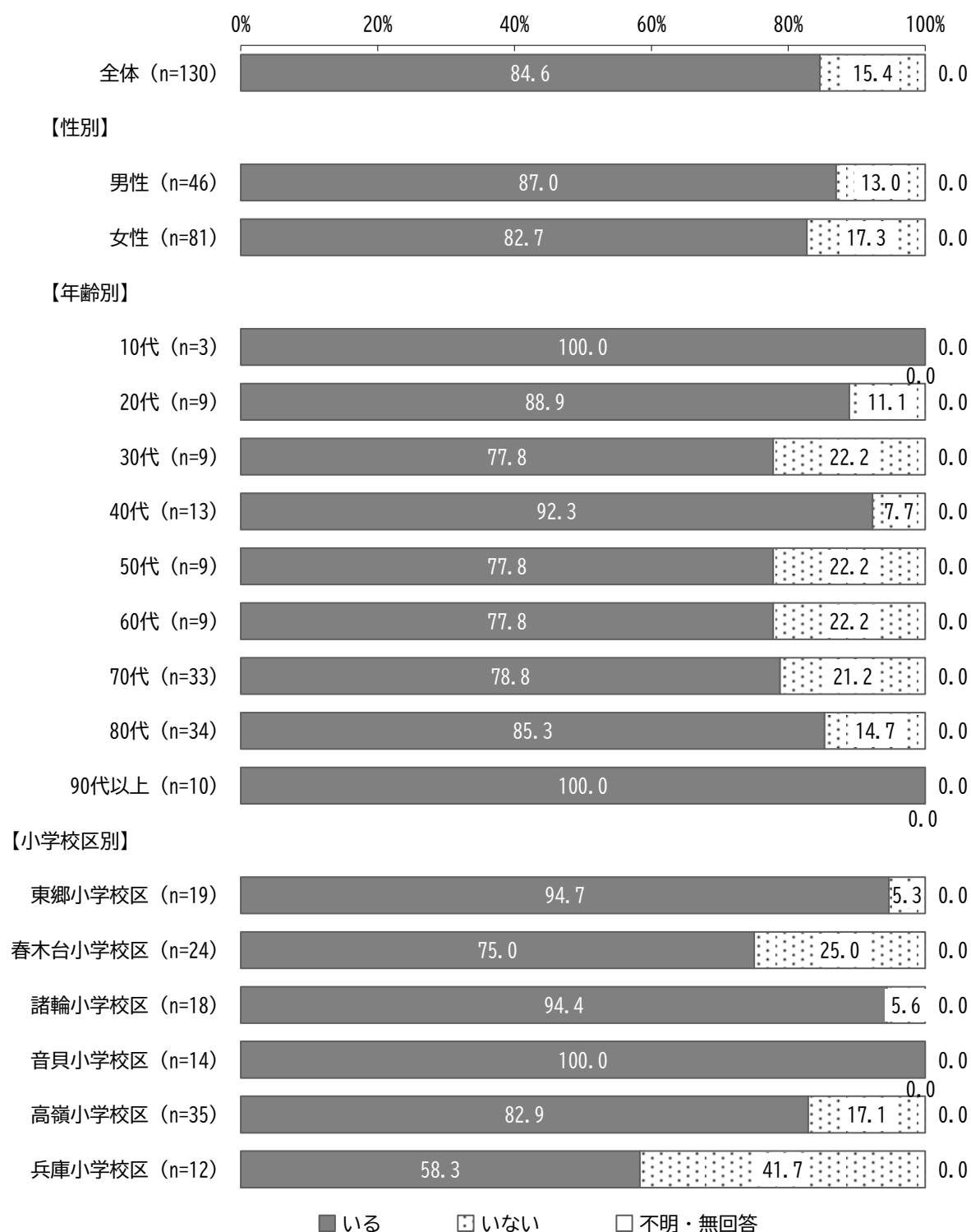
問 28－1 あなたは、災害発生時に助けてもらえる人がいますか。（単数回答）

「いる」が 84.6%、「いない」が 15.4%となっています。

性別でみると、「いない」が男性で 13.0%、女性で 17.3%となっています。

年齢別でみると、70 代、80 代で「いない」がそれぞれ 1 割以上となっています。

小学校区別でみると、兵庫小学校区で「いない」が 41.7%と、他の小学校区と比べて高くなっています。



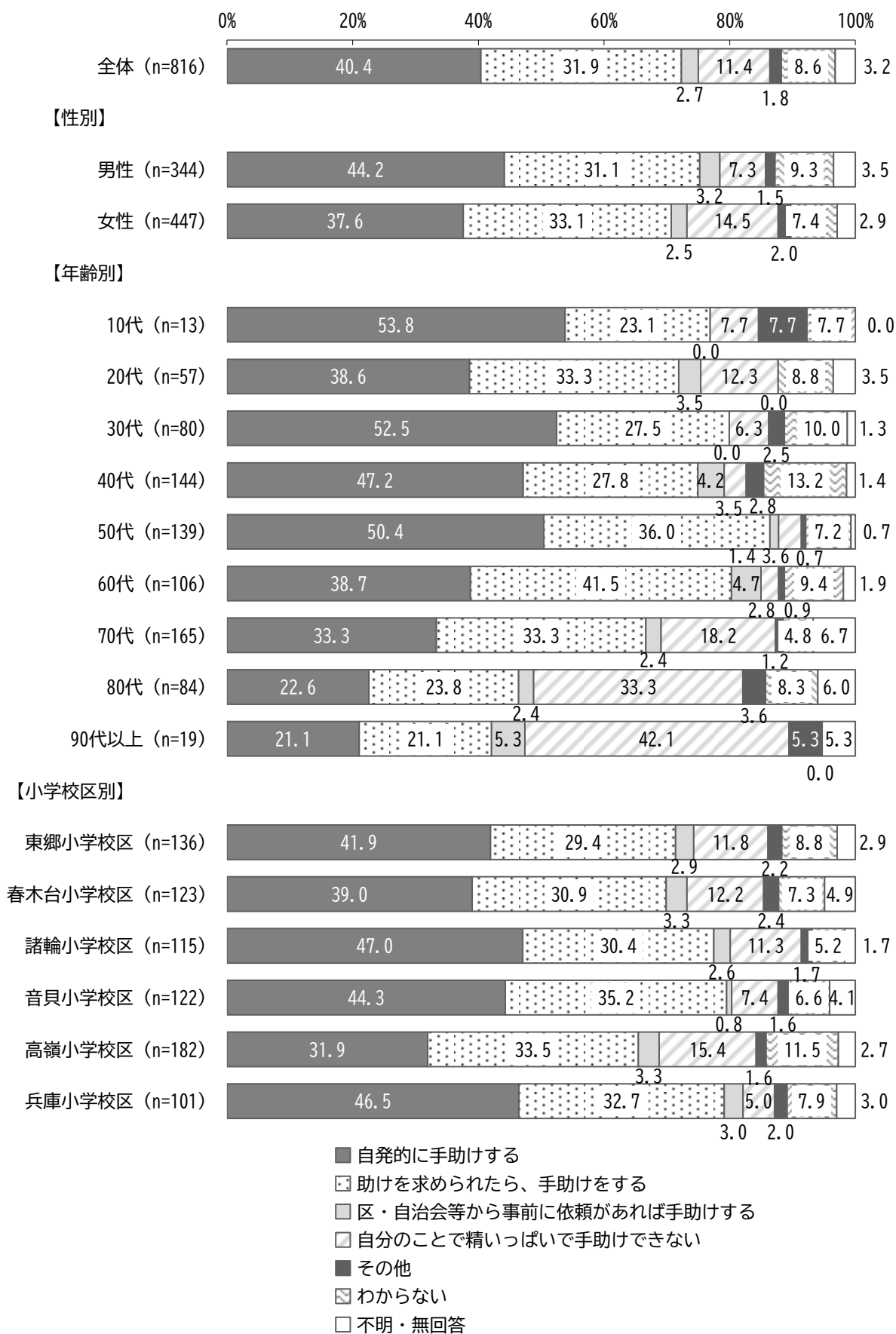
問 29 災害等の緊急事態が発生したときに、となり近所に自力で避難できない人や安否の不明な人がいたら、どう対応しますか。(単数回答)

「自発的に手助けする」が 40.4%と最も高く、次いで「助けを求められたら、手助けをする」が 31.9%、「自分のことで精いっぱい手助けできない」が 11.4%となっています。

性別でみると、女性で「自分のことで精いっぱい手助けできない」が 14.5%と、男性と比べて 7.2 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、80 代以上で「自分のことで精いっぱい手助けできない」がそれぞれ 3 割以上と、他の年代と比べて高くなっており、特に 90 代で 42.1%となっています。

小学校区別でみると、東郷小学校区、諸輪小学校区、音貝小学校区、兵庫小学校区で「自発的に手助けする」がそれぞれ 4 割台と高くなっています。



5. 地域福祉全般について

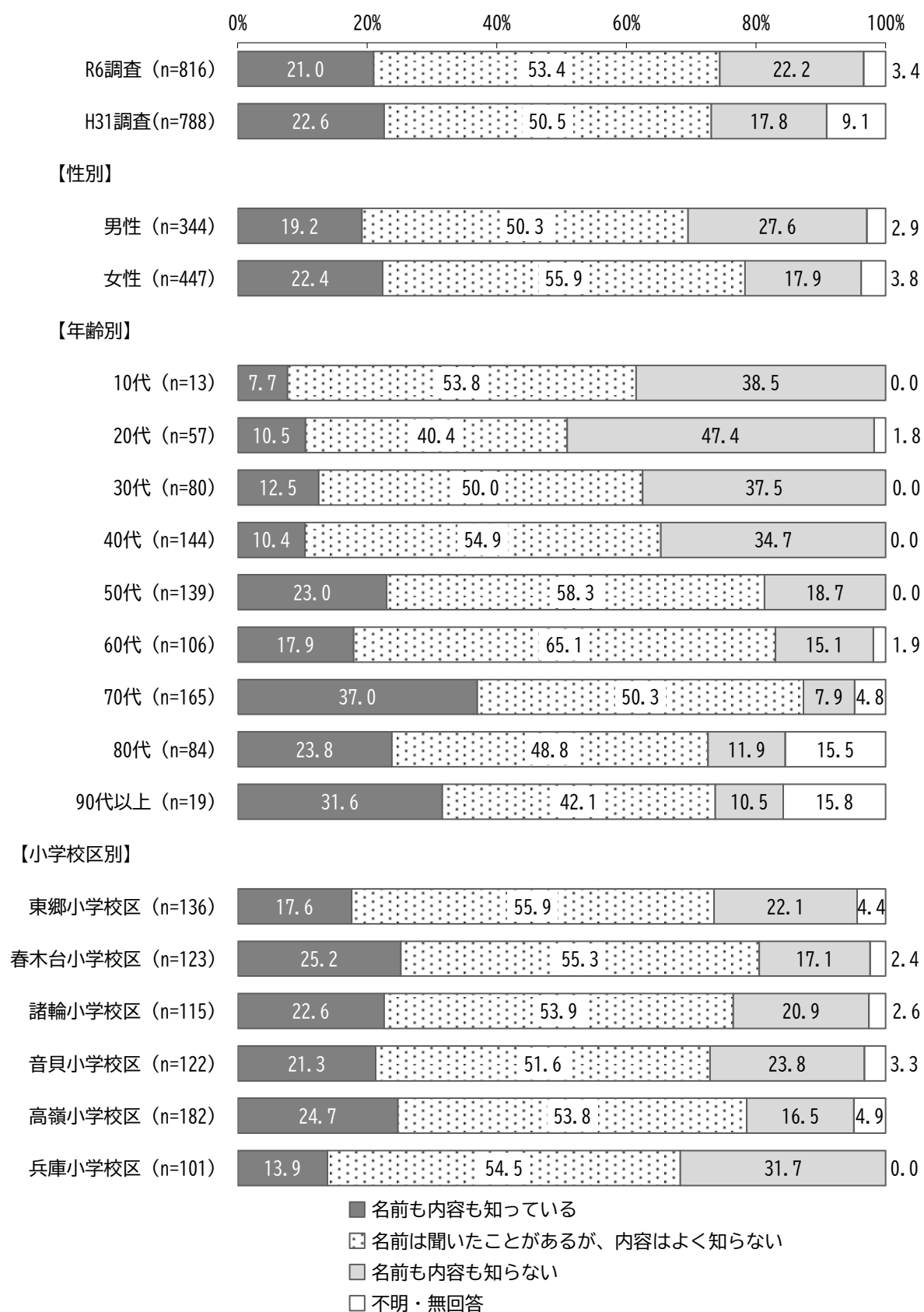
問 30－① あなたは、東郷町社会福祉協議会を知っていますか。(単数回答)

「名前も内容も知っている」が 21.0%、「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が 53.4%、「名前も内容も知らない」が 22.2%となっています。前回調査と比較すると、「名前も内容も知らない」が 4.4 ポイント高くなっています。

性別でみると、男性で「名前も内容も知らない」が 27.6%と、女性と比べて 9.7 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、20 代で「名前も内容も知らない」が 47.4%と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、兵庫小学校区で「名前も内容も知らない」が 31.7%と、他の小学校区と比べて高くなっています。



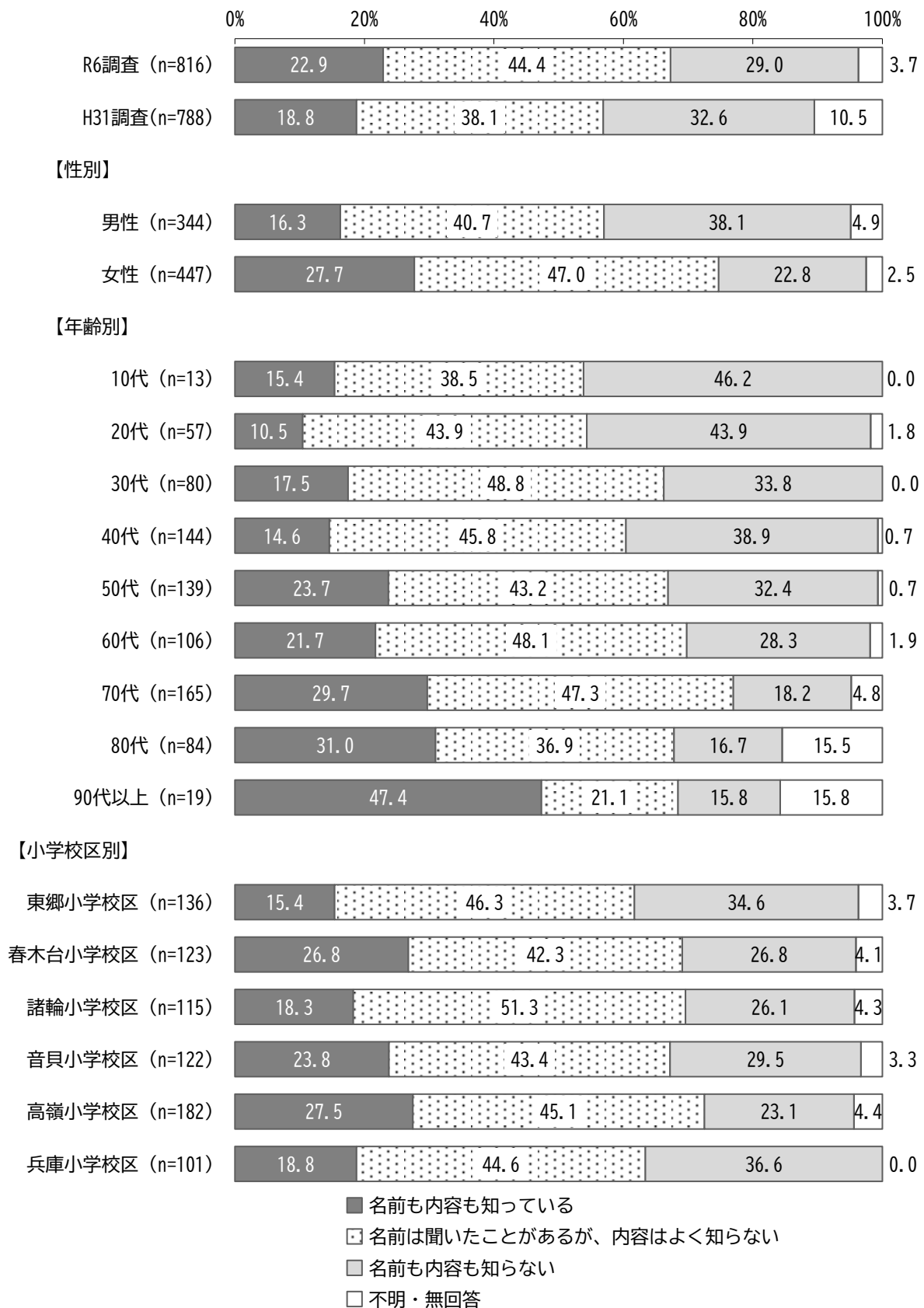
問 30－② あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。(単数回答)

「名前も内容も知っている」が 22.9%、「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が 44.4%、「名前も内容も知らない」が 29.0%となっています。前回調査と比較すると、「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が 6.3 ポイント高くなっています。

性別でみると、男性で「名前も内容も知らない」が 38.1%と、女性と比べて 15.3 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、10 代、20 代で「名前も内容も知らない」がそれぞれ 4 割台と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、東郷小学校区、兵庫小学校区で「名前も内容も知らない」がそれぞれ 3 割台と、他の小学校区と比べて高くなっています。



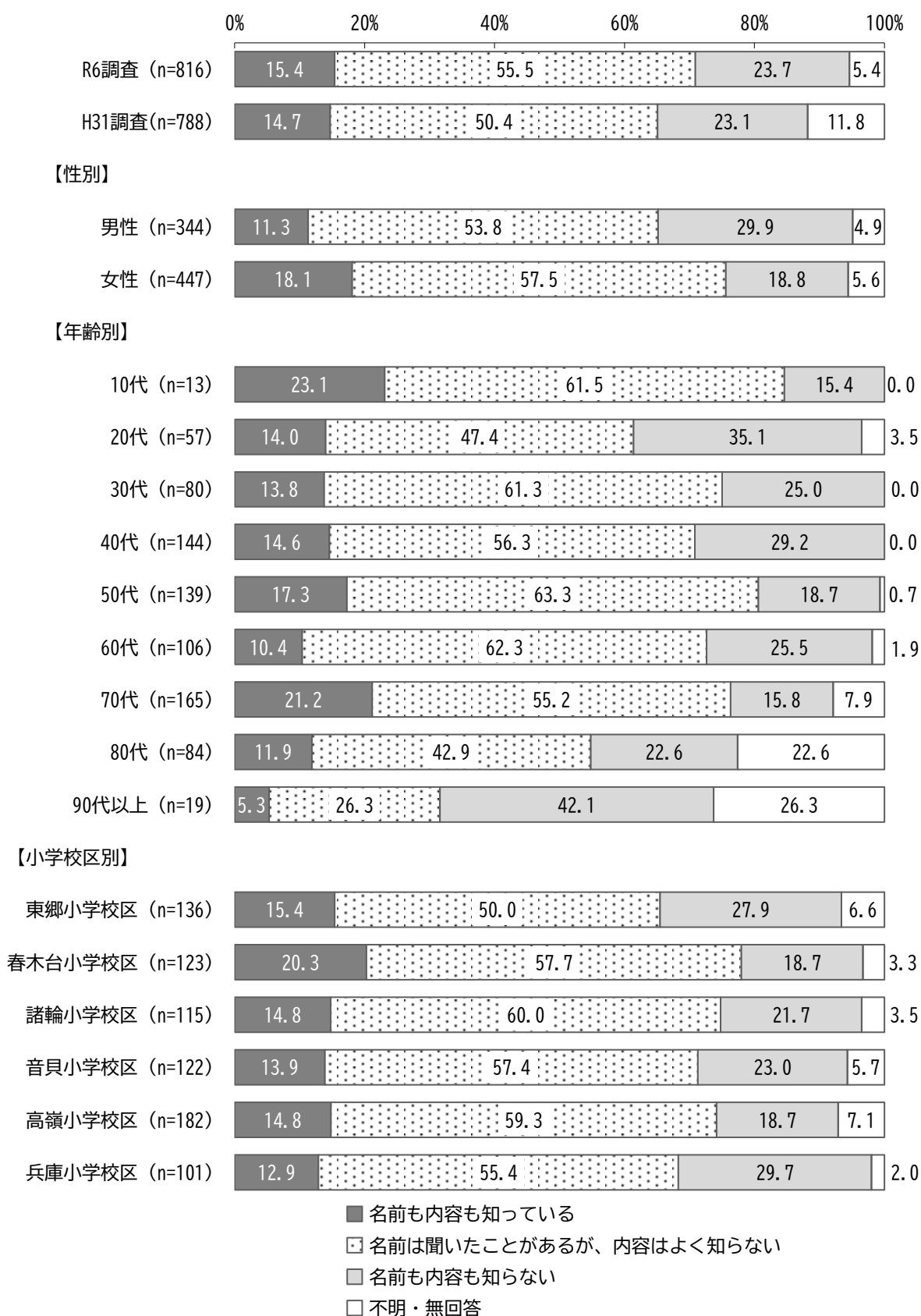
問 30－③ あなたは、障がい者相談支援センターを知っていますか。(単数回答)

「名前も内容も知っている」が 15.4%、「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が 55.5%、「名前も内容も知らない」が 23.7%となっています。前回調査と比較すると、「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が 5.1 ポイント高くなっています。

性別でみると、男性で「名前も内容も知らない」が 29.9%と、女性と比べて 11.1 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、20 代、90 代以上で「名前も内容も知らない」がそれぞれ 4 割前後と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、東郷小学校区、諸輪小学校区、音貝小学校区、兵庫小学校区で「名前も内容も知らない」がそれぞれ 2 割台と、他の小学校区と比べて高くなっています。



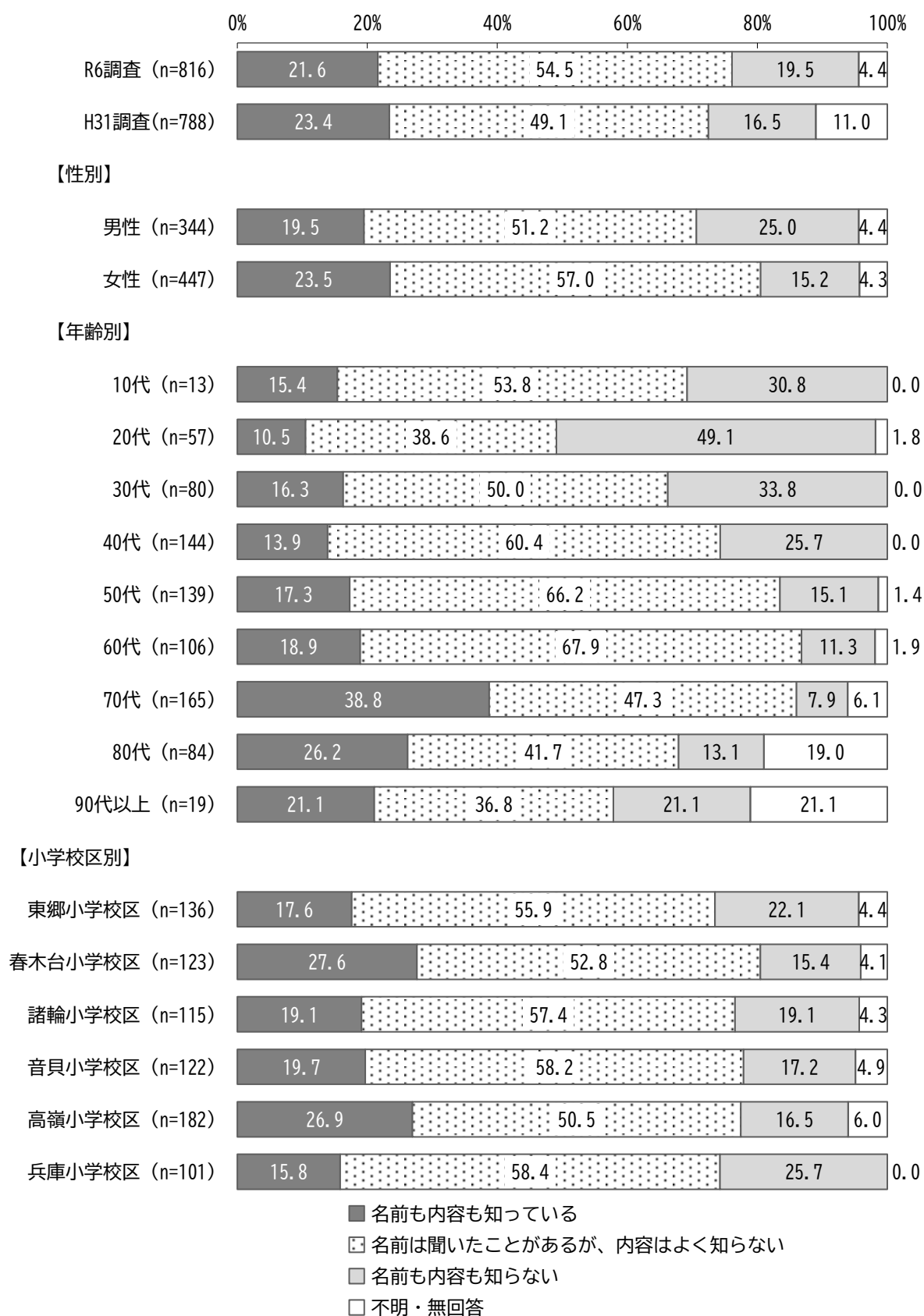
問 30－④ あなたは、民生委員・児童委員制度を知っていますか。(単数回答)

「名前も内容も知っている」が 21.6%、「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が 54.5%、「名前も内容も知らない」が 19.5%となっています。前回調査と比較すると、「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が 5.4 ポイント高くなっています。

性別でみると、男性で「名前も内容も知らない」が 25.0%と、女性と比べて 9.8 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、30 代で「名前も内容も知らない」が 49.1%と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、兵庫小学校区で「名前も内容も知らない」が 25.7%と、他の小学校区と比べて高くなっています。



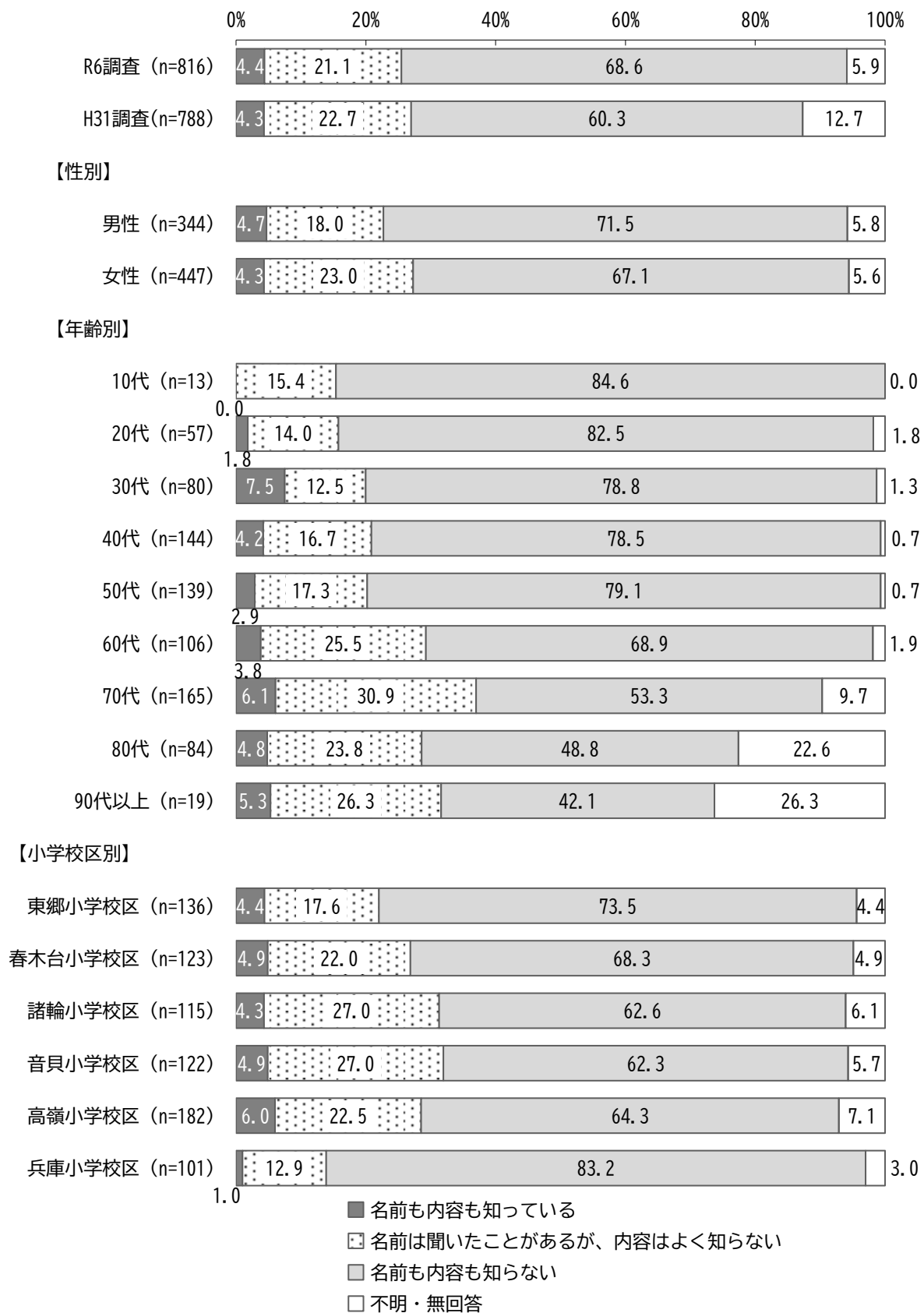
問 30－⑤ あなたは、東郷町避難行動要支援者登録制度を知っていますか。(単数回答)

「名前も内容も知っている」が 4.4%、「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が 21.1%、「名前も内容も知らない」が 68.6%となっています。前回調査と比較すると、「名前も内容も知らない」が 8.3 ポイント高くなっています。

性別でみると、「名前も内容も知らない」が男性で 71.5%、女性で 67.1%と高くなっています。

年齢別でみると、10～50 代で「名前も内容も知らない」がそれぞれ 8 割前後と、60 代以上と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、兵庫小学校区で「名前も内容も知らない」が 83.2%と、他の小学校区と比べて高くなっています。



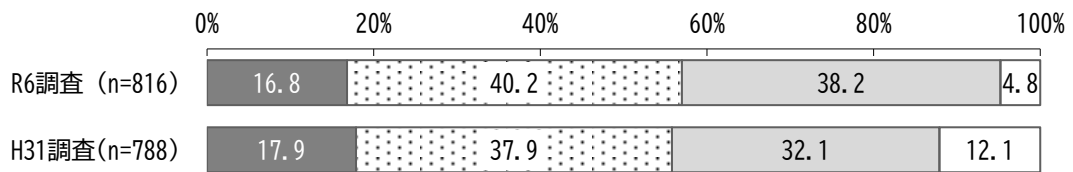
問 30－⑥ あなたは、成年後見制度を知っていますか。(単数回答)

「名前も内容も知っている」が 16.8%、「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が 40.2%、「名前も内容も知らない」が 38.2%となっています。前回調査と比較すると、「名前も内容も知らない」が 6.1 ポイント高くなっています。

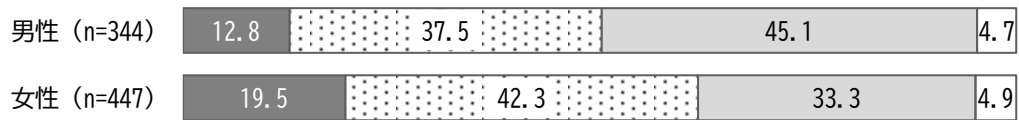
性別でみると、男性で「名前も内容も知らない」が 45.1%と、女性と比べて 11.8 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、10 代、20 代で「名前も内容も知らない」がそれぞれ 6 割台と、他の年代と比べて高くなっています。

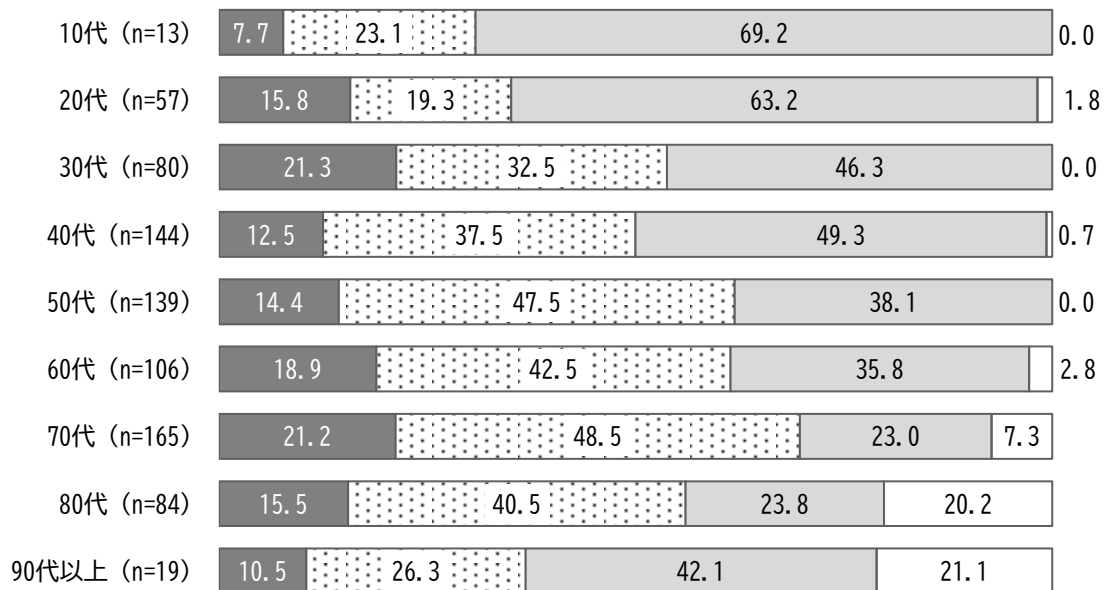
小学校区別でみると、兵庫小学校区で「名前も内容も知らない」が 52.5%と、他の小学校区と比べて高くなっています。



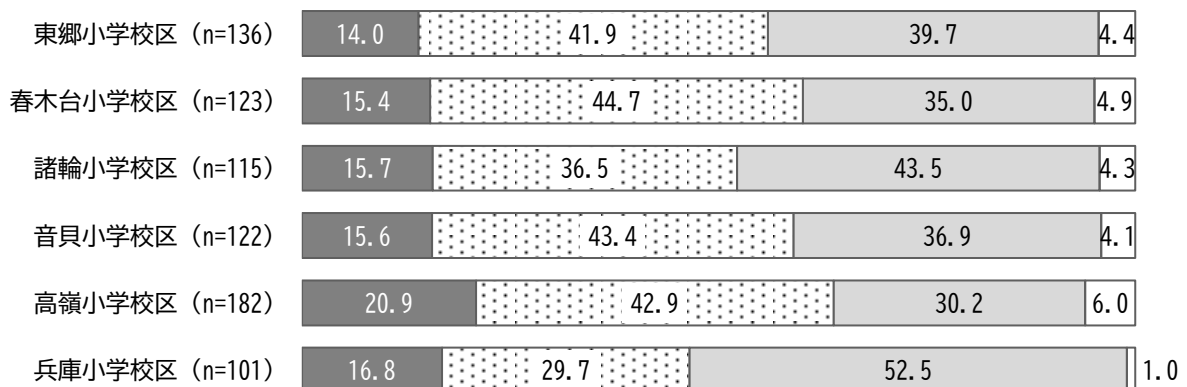
【性別】



【年齢別】



【小学校区別】



- 名前も内容も知っている
- ▨ 名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない
- 名前も内容も知らない
- 不明・無回答

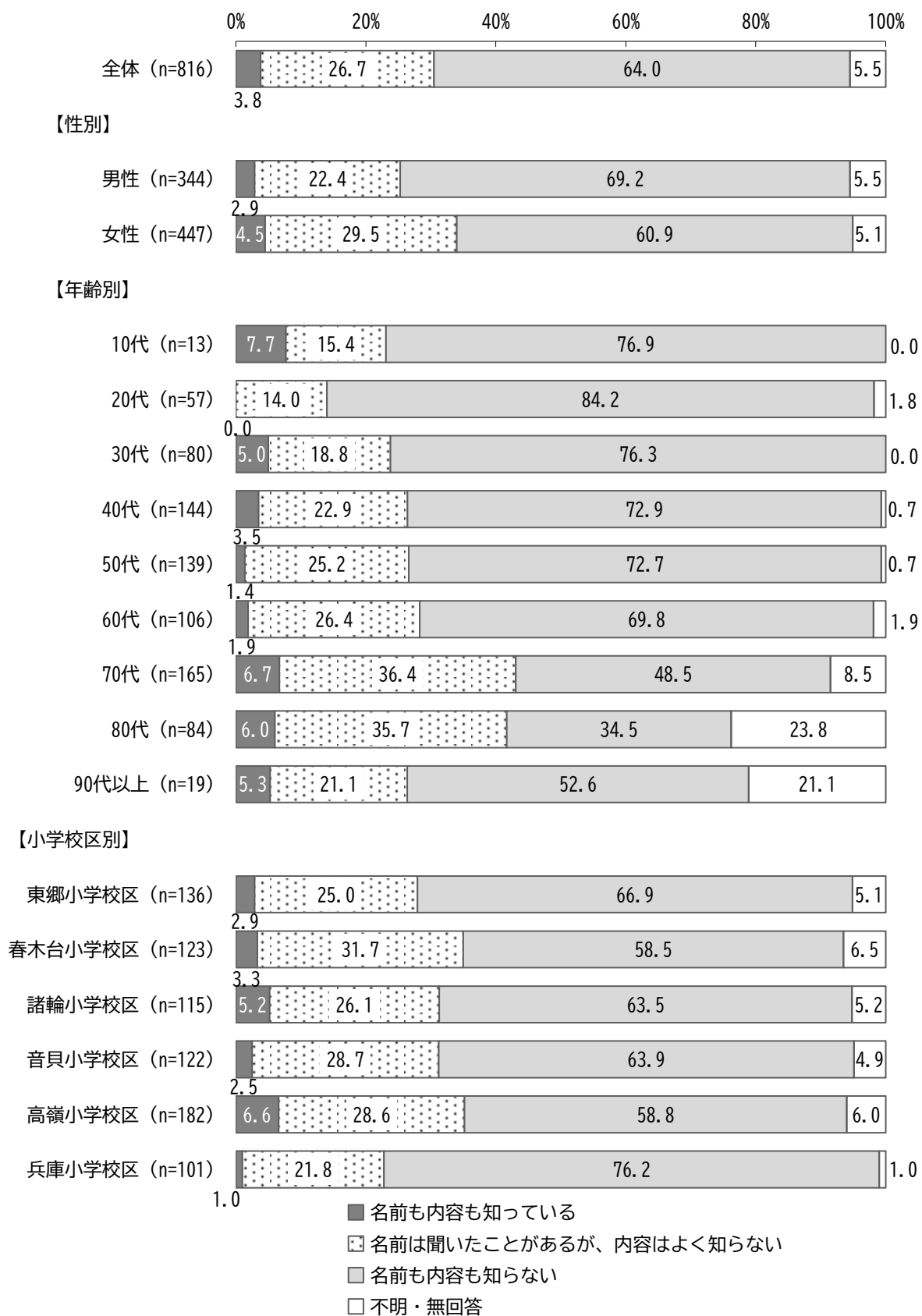
問 30－⑦ あなたは、市民後見人を知っていますか。(単数回答)

「名前も内容も知っている」が 3.8%、「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が 26.7%、「名前も内容も知らない」が 64.0%となっています。

性別でみると、男性で「名前も内容も知らない」が 69.2%と、女性と比べて 8.3 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、20 代で「名前も内容も知らない」が 84.2%と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、兵庫小学校区で「名前も内容も知らない」が 76.2%と、他の小学校区と比べて高くなっています。



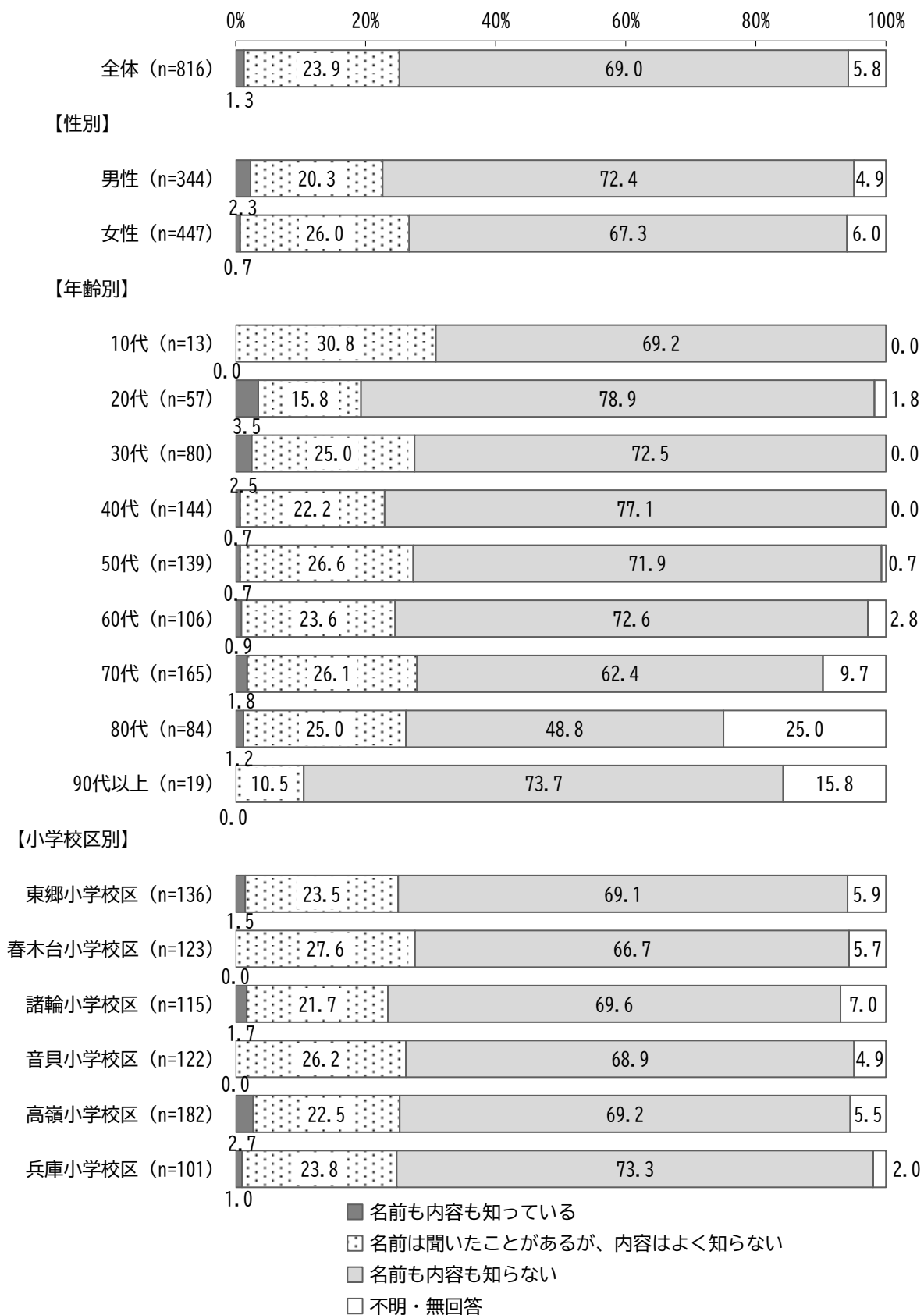
問 30－⑧ あなたは、再犯防止推進法を知っていますか。(単数回答)

「名前も内容も知っている」が 1.3%、「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が 23.9%、「名前も内容も知らない」が 69.0%となっています。

性別でみると、「名前も内容も知らない」が男性で 72.4%、女性で 67.3%と高くなっています。

年齢別でみると、80 代を除いて「名前も内容も知らない」がそれぞれ 6 割以上と高くなっています。

小学校区別でみると、いずれの小学校区においても「名前も内容も知らない」が 7 割前後と高くなっています。



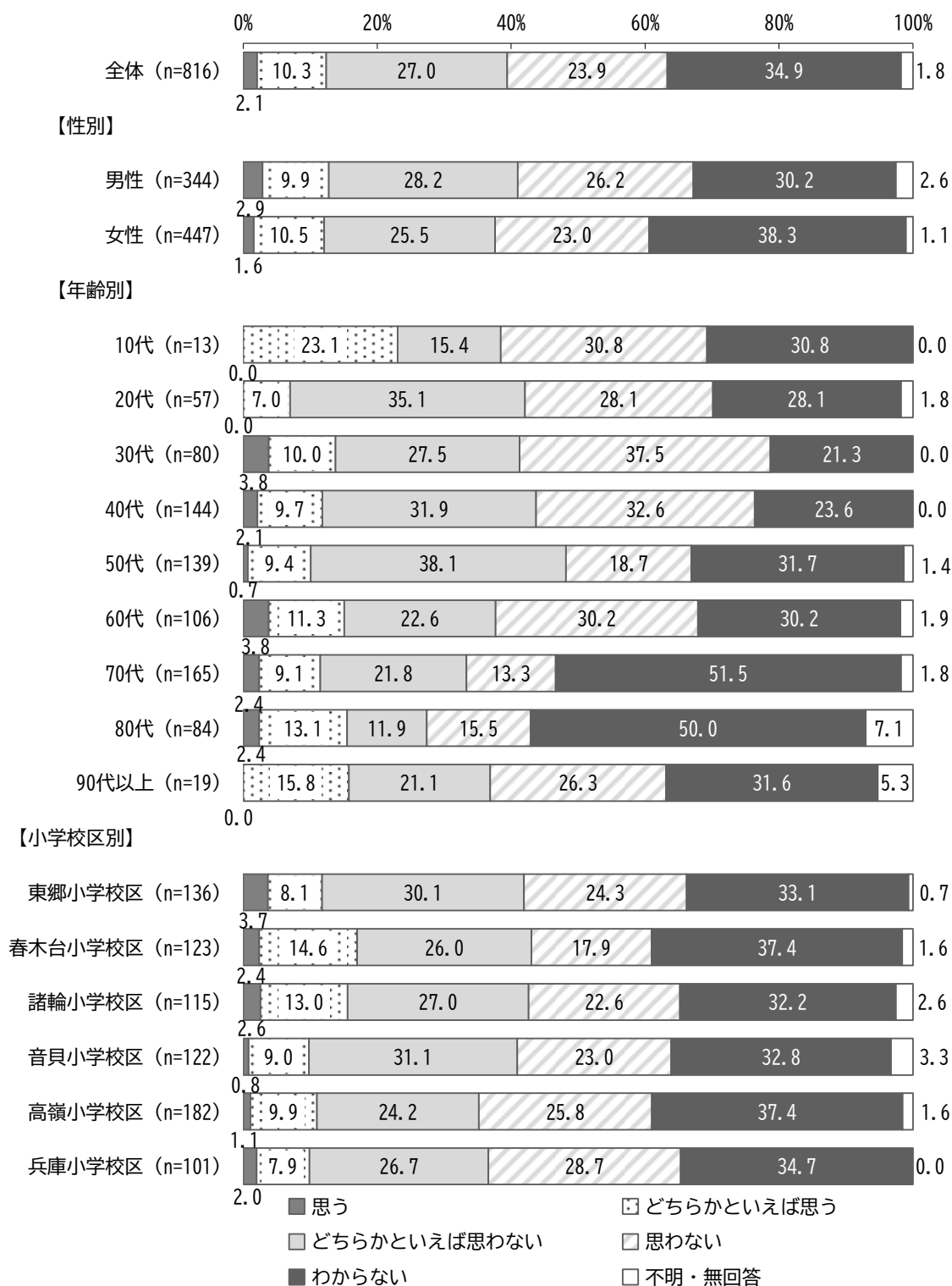
問 31 あなたは、犯罪をした人等の立ち直りに協力したいと思いますか。(単数回答)

『思う』(「思う」と「どちらかといえば思う」の合算)が12.4%、『思わない』(「どちらかといえば思わない」と「思わない」の合算)が50.9%、「わからない」が34.9%となっています。

性別でみると、男性で『思わない』が54.4%と、女性と比べて5.9ポイント高くなっています。

年齢別でみると、20～40代で『思わない』がそれぞれ6割台と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、いずれの小学校区においても『思わない』がそれぞれ5割前後と高くなっています。



問 31 で「1 思う」または「2 どちらかといえば思う」と回答した方

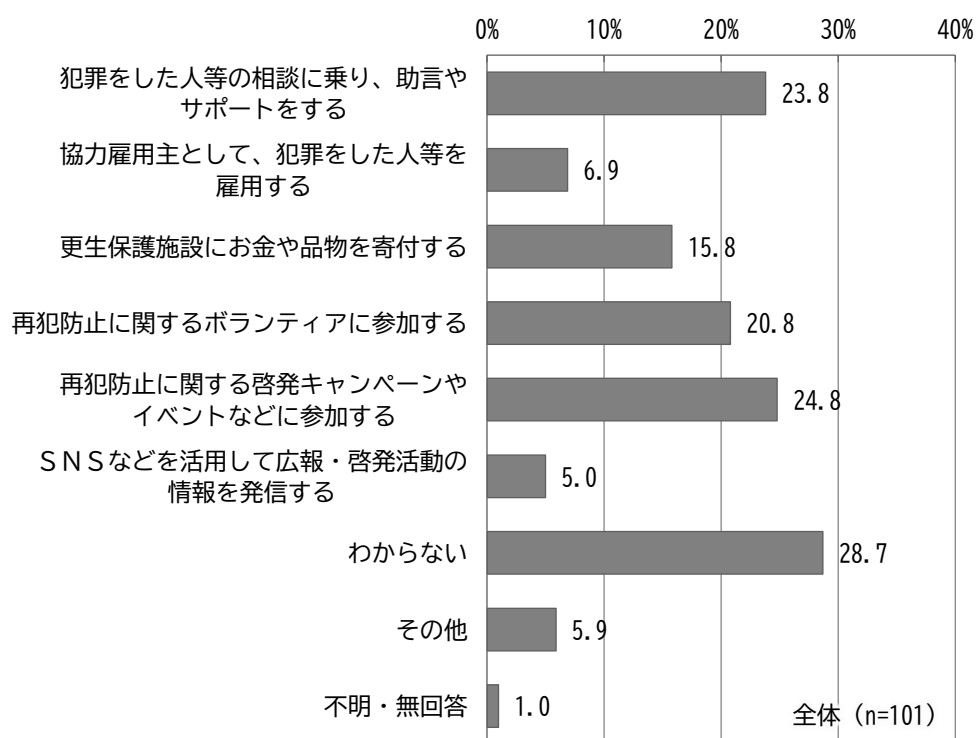
問 31－1 あなたは、どのような協力をしたいと思いますか。（複数回答）

「わからない」が 28.7%と最も高く、次いで「再犯防止に関する啓発キャンペーンやイベントなどに参加する」が 24.8%、「犯罪をした人等の相談に乗り、助言やサポートをする」が 23.8%となっています。

性別でみると、男性で「犯罪をした人等の相談に乗り、助言やサポートをする」が 27.3%、女性で「わからない」が 33.3%と、それぞれ最も高くなっています。

年齢別でみると、70代で「更生保護施設にお金や品物を寄付する」が 42.1%と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、東郷小学校区、諸輪小学校区で「犯罪をした人等の相談に乗り、助言やサポートをする」「再犯防止に関する啓発キャンペーンやイベントなどに参加する」がそれぞれ3割台と、他の小学校区と比べて高くなっています。



■クロス集計

(単位：%)	犯罪をした人等の相談に乗り、 助言やサポートをする	協力雇用主として、犯罪をした 人等を雇用する	更生保護施設にお金や品物を 寄付する	再犯防止に関するボランティアに 参加する	再犯防止に関する啓発キャンペー ンやイベントなどに参加する	SNSなどを活用して広報・啓発 活動の情報を発信する	わからない	その他	不明・無回答
【性別】									
男性(n=44)	27.3	15.9	15.9	20.5	25.0	4.5	22.7	4.5	2.3
女性(n=54)	20.4	0.0	14.8	22.2	24.1	5.6	33.3	7.4	0.0
【年齢別】									
10代(n=3)	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
20代(n=4)	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0
30代(n=11)	18.2	9.1	9.1	9.1	27.3	18.2	27.3	0.0	0.0
40代(n=17)	29.4	17.6	5.9	11.8	5.9	5.9	41.2	0.0	0.0
50代(n=14)	0.0	0.0	21.4	42.9	35.7	7.1	35.7	0.0	0.0
60代(n=16)	37.5	6.3	12.5	37.5	25.0	0.0	25.0	6.3	6.3
70代(n=19)	31.6	5.3	42.1	21.1	31.6	0.0	5.3	10.5	0.0
80代(n=13)	23.1	7.7	7.7	0.0	23.1	0.0	38.5	15.4	0.0
90代以上(n=3)	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
【小学校区別】									
東郷小学校区(n=16)	37.5	25.0	18.8	31.3	37.5	12.5	6.3	6.3	0.0
春木台小学校区(n=21)	23.8	4.8	9.5	19.0	23.8	4.8	23.8	19.0	0.0
諸輪小学校区(n=18)	33.3	5.6	11.1	16.7	33.3	5.6	33.3	0.0	0.0
音貝小学校区(n=12)	16.7	0.0	25.0	25.0	8.3	0.0	25.0	8.3	0.0
高嶺小学校区(n=20)	15.0	0.0	20.0	20.0	30.0	0.0	40.0	0.0	0.0
兵庫小学校区(n=10)	10.0	0.0	20.0	20.0	10.0	10.0	50.0	0.0	0.0

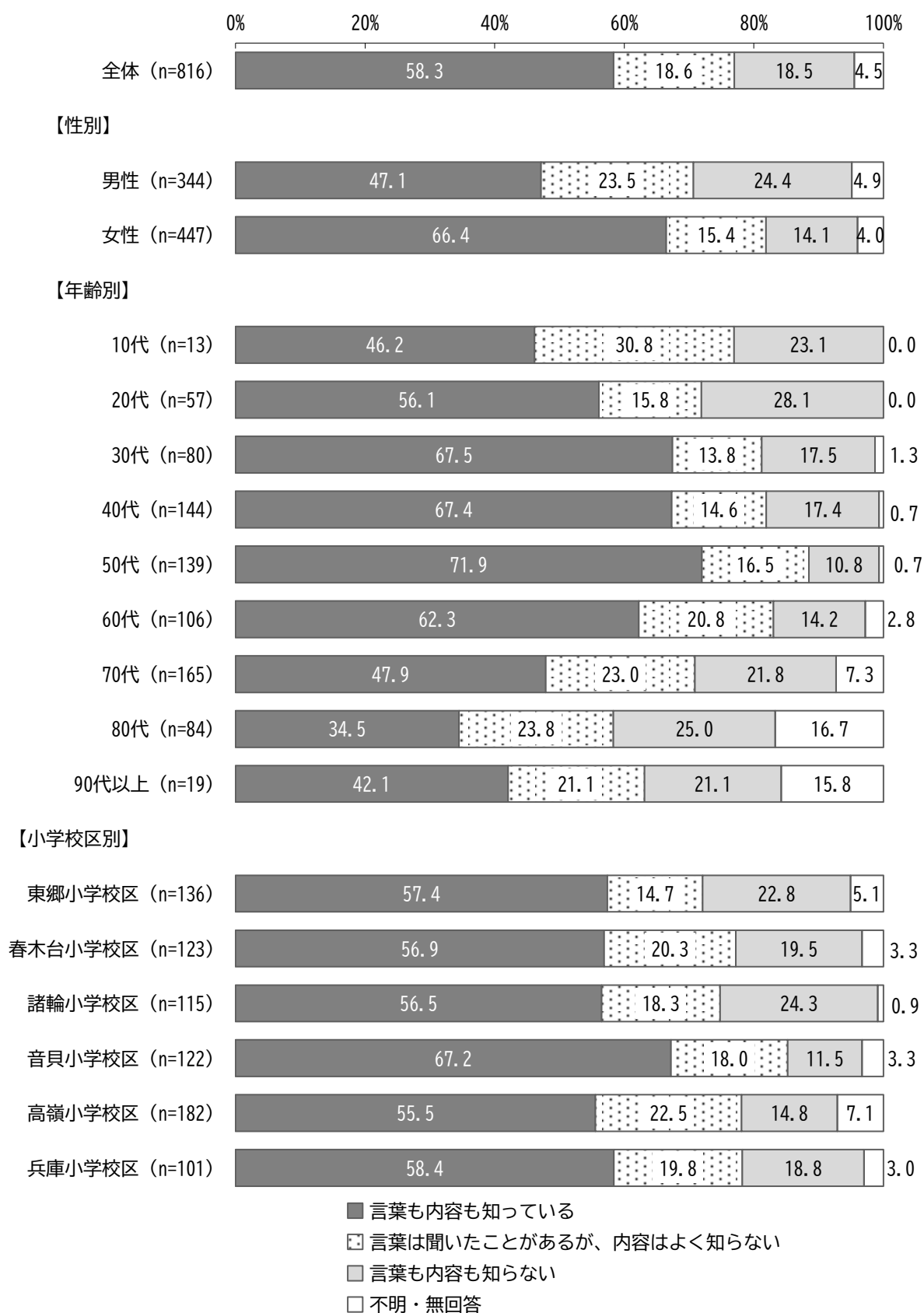
問 32－① あなたは、ヤングケアラーを知っていますか。(単数回答)

「名前も内容も知っている」が 58.3%、「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が 18.6%、「名前も内容も知らない」が 18.5%となっています。

性別でみると、男性で「名前も内容も知らない」が 24.4%と、女性と比べて 10.3 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、10 代、20 代、70 代以上で「名前も内容も知らない」がそれぞれ 2 割台と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、東郷小学校区、諸輪小学校区で「名前も内容も知らない」がそれぞれ 2 割台と、他の小学校区と比べて高くなっています。



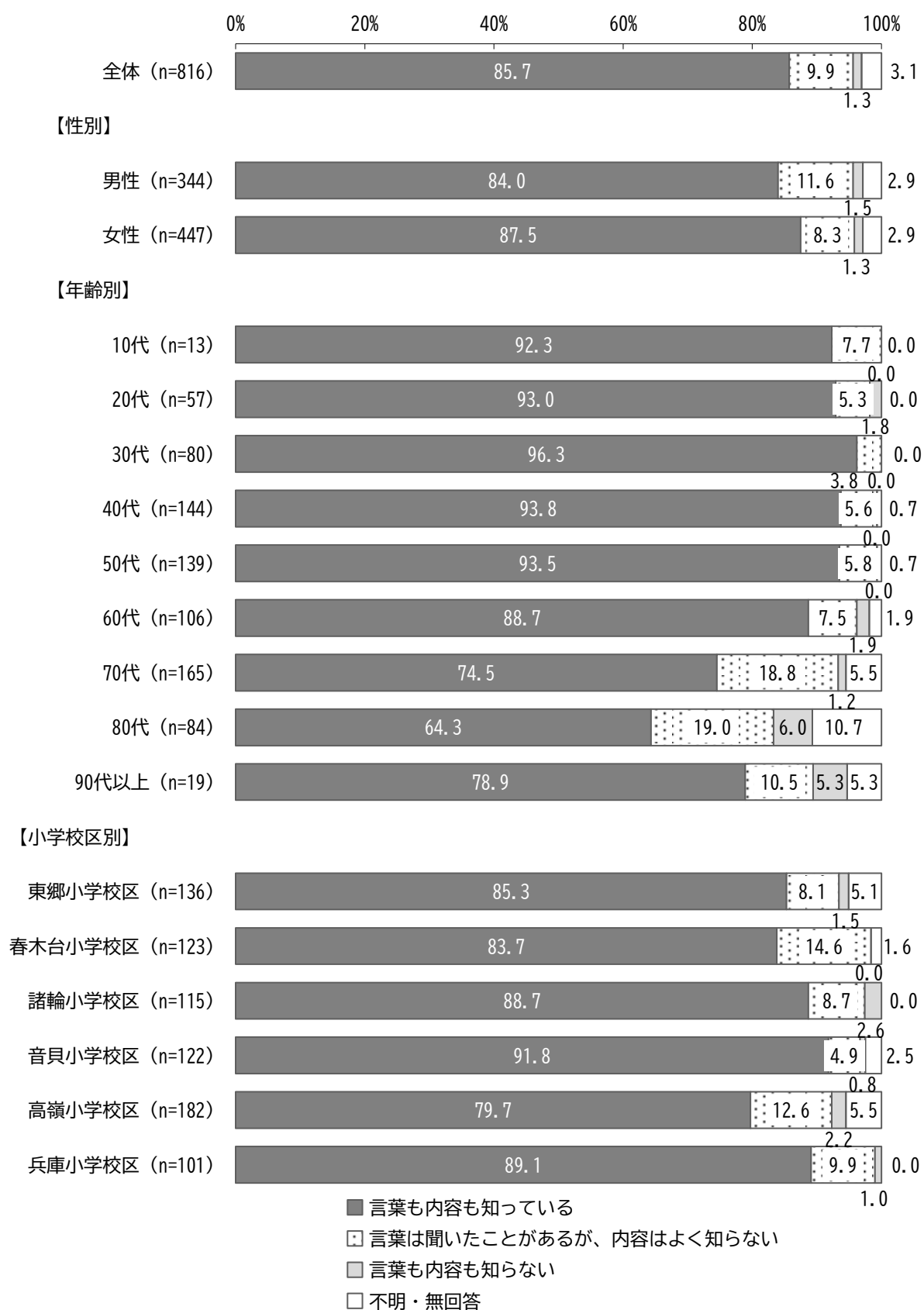
問 32－② あなたは、ひきこもりを知っていますか。(単数回答)

「名前も内容も知っている」が 85.7%、「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が 9.9%、「名前も内容も知らない」が 1.3%となっています。

性別でみると、「名前も内容も知っている」が男性で 84.0%、女性で 87.5%となっています。

年齢別でみると、70 代、80 代で「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」がそれぞれ 2 割近くと、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、春木台小学校区、高嶺小学校区で「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」がそれぞれ 1 割台と、他の小学校区と比べて高くなっています。



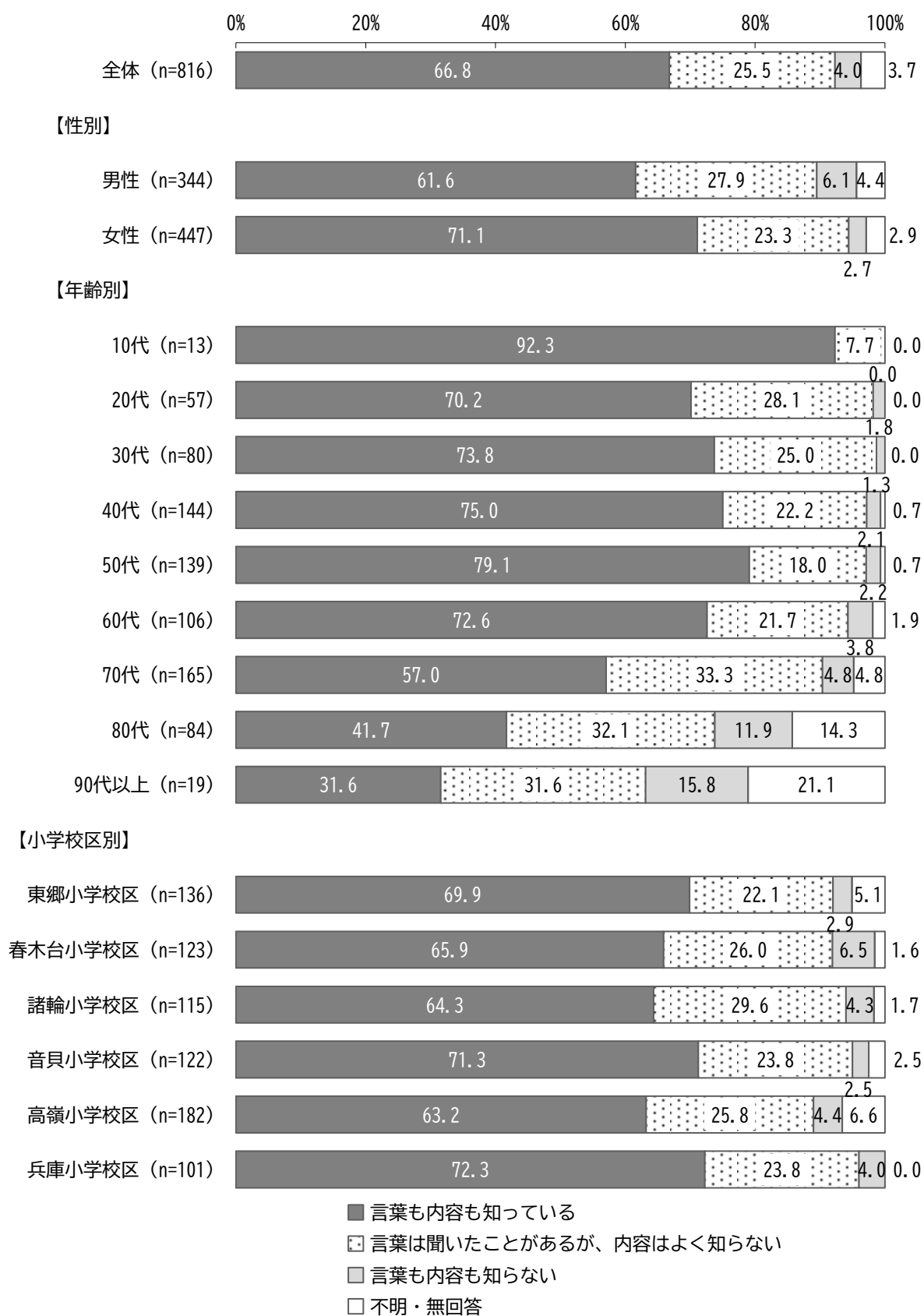
問 32－③ あなたは、地域食堂・子ども食堂を知っていますか。(単数回答)

「名前も内容も知っている」が 66.8%、「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が 25.5%、「名前も内容も知らない」が 4.0%となっています。

性別でみると、女性で「名前も内容も知っている」が 71.1%と、男性と比べて 9.5 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、70 代以上で「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」がそれぞれ 3 割台と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、いずれの小学校区においても「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が 2 割台となっています。



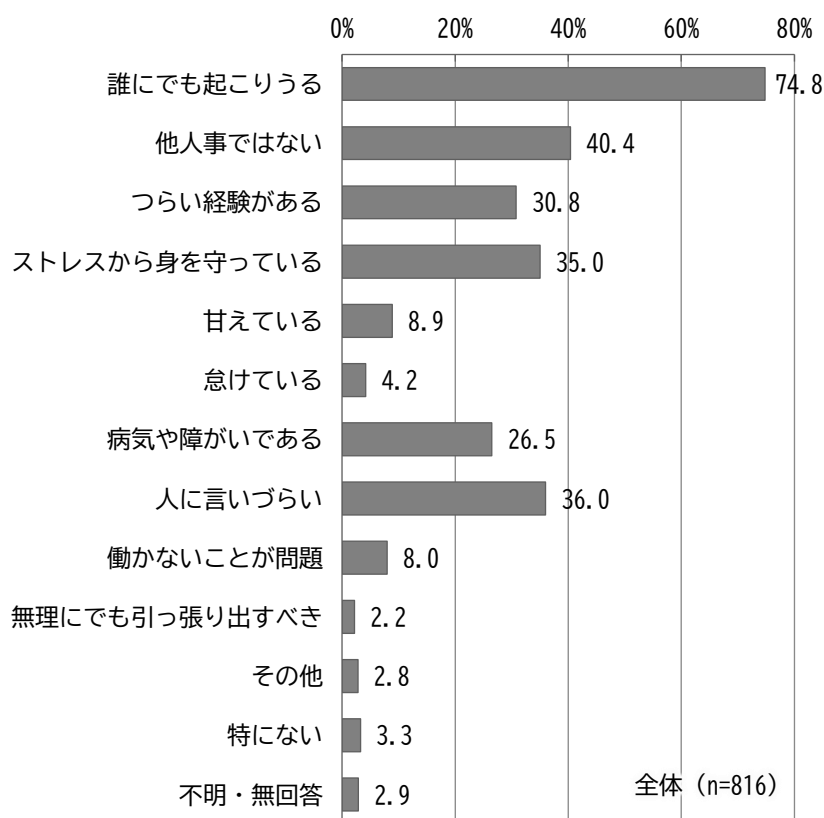
問 33 あなたは「ひきこもり」という状態について、どのような印象・考えを持っていますか。(複数回答)

「誰にでも起こりうる」が74.8%と最も高く、次いで「他人事ではない」が40.4%、「人に言いづらい」が36.0%となっています。

性別でみると、女性で「つらい経験がある」が35.8%と、男性と比べて11.4ポイント高くなっています。

年齢別でみると、10代で「つらい経験がある」が69.2%と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、東郷小学校区で「つらい経験がある」が41.2%と、他の小学校区と比べて高くなっています。



■クロス集計

(単位：%)	誰にでも起こりうる	他人事ではない	つらい経験がある	ストレスから身を守っている	甘えている	怠けている	病気や障がいである	人に言いづらい	働かないことが問題	無理にでも引っぱり出すべき
【性別】										
男性(n=344)	74.1	36.9	24.4	32.6	12.8	7.3	26.5	31.7	9.6	4.1
女性(n=447)	74.9	43.6	35.8	37.4	6.5	2.0	25.7	39.4	7.2	0.9
【年齢別】										
10代(n=13)	61.5	30.8	69.2	38.5	7.7	7.7	30.8	53.8	7.7	7.7
20代(n=57)	80.7	40.4	45.6	43.9	14.0	8.8	21.1	42.1	7.0	3.5
30代(n=80)	80.0	52.5	52.5	55.0	11.3	7.5	35.0	50.0	11.3	2.5
40代(n=144)	80.6	47.9	34.7	42.4	13.9	4.9	24.3	29.2	5.6	3.5
50代(n=139)	85.6	43.2	26.6	41.7	6.5	3.6	21.6	36.0	7.9	0.7
60代(n=106)	71.7	34.9	28.3	38.7	10.4	1.9	23.6	36.8	8.5	3.8
70代(n=165)	72.7	32.7	21.8	24.2	6.1	3.0	35.2	38.2	9.7	0.6
80代(n=84)	54.8	42.9	20.2	10.7	4.8	3.6	22.6	27.4	7.1	1.2
90代以上(n=19)	52.6	21.1	10.5	15.8	5.3	0.0	5.3	15.8	5.3	5.3
【小学校区別】										
東郷小学校区(n=136)	80.9	38.2	41.2	36.8	8.8	2.9	22.1	33.8	8.1	0.7
春木台小学校区(n=123)	71.5	41.5	30.1	32.5	13.0	8.1	23.6	39.0	9.8	4.1
諸輪小学校区(n=115)	80.9	41.7	32.2	37.4	9.6	5.2	27.8	32.2	8.7	2.6
音貝小学校区(n=122)	80.3	41.8	31.1	37.7	5.7	3.3	34.4	32.0	5.7	2.5
高嶺小学校区(n=182)	68.7	39.0	18.7	29.7	7.1	2.7	21.4	37.4	8.2	0.5
兵庫小学校区(n=101)	74.3	45.5	33.7	40.6	10.9	2.0	25.7	38.6	5.0	3.0

(単位：%)	その他	特 に ない	不 明 ・ 無 回 答
【性別】			
男性(n=344)	2.9	4.7	2.6
女性(n=447)	2.7	2.0	3.1
【年齢別】			
10代(n=13)	0.0	7.7	0.0
20代(n=57)	5.3	1.8	0.0
30代(n=80)	3.8	1.3	0.0
40代(n=144)	4.2	2.1	0.0
50代(n=139)	1.4	1.4	0.0
60代(n=106)	1.9	3.8	0.0
70代(n=165)	1.8	3.6	6.1
80代(n=84)	4.8	7.1	10.7
90代以上(n=19)	0.0	10.5	21.1
【小学校区別】			
東郷小学校区(n=136)	4.4	2.9	2.9
春木台小学校区(n=123)	4.1	1.6	2.4
諸輪小学校区(n=115)	0.0	1.7	0.9
音貝小学校区(n=122)	4.9	3.3	1.6
高嶺小学校区(n=182)	1.6	4.4	7.1
兵庫小学校区(n=101)	3.0	5.0	0.0

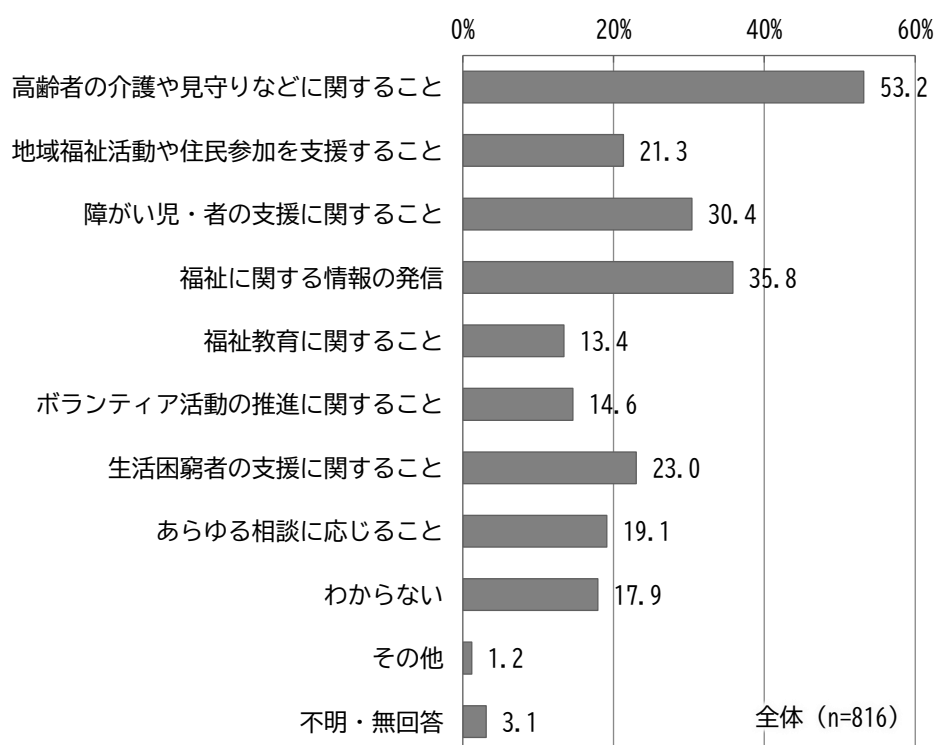
問 34 あなたは、今後、社会福祉協議会にどのような分野での役割を期待しますか。
(複数回答)

「高齢者の介護や見守りなどに関すること」が53.2%と最も高く、次いで「福祉に関する情報の発信」が35.8%、「障がい児・者の支援に関すること」が30.4%となっています。

性別でみると、「高齢者の介護や見守りなどに関すること」が男性で52.6%、女性で54.1%となっています。

年齢別でみると、10代で「生活困窮者の支援に関すること」が38.5%と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、東郷小学校区、音貝小学校区、高嶺小学校区、兵庫小学校区で「高齢者の介護や見守りなどに関すること」がそれぞれ5割台と、他の小学校区と比べて高くなっています。



■クロス集計

(単位：％)	高齢者の介護や見守り などに関すること	地域福祉活動や住民 参加を支援すること	障がい児・者の支援に 関すること	福祉に関する情報の 発信	福祉教育に関すること	ボランティア活動の 推進に関すること	生活困窮者の支援に 関すること	あらゆる相談に応じる こと	わからない	その他	不明・無回答
【性別】											
男性(n=344)	52.6	24.7	27.0	36.6	11.6	15.4	22.4	18.0	16.9	1.5	3.2
女性(n=447)	54.1	18.8	32.7	35.1	14.8	13.6	23.5	19.2	18.6	1.1	2.9
【年齢別】											
10代(n=13)	23.1	23.1	30.8	15.4	30.8	30.8	38.5	23.1	23.1	0.0	0.0
20代(n=57)	36.8	17.5	29.8	33.3	14.0	7.0	17.5	15.8	31.6	3.5	1.8
30代(n=80)	40.0	17.5	37.5	30.0	22.5	6.3	28.8	23.8	18.8	1.3	0.0
40代(n=144)	48.6	16.7	34.7	33.3	13.9	14.6	25.7	24.3	19.4	0.7	0.0
50代(n=139)	60.4	21.6	41.0	40.3	16.5	18.7	25.9	18.7	15.8	2.2	0.7
60代(n=106)	63.2	22.6	29.2	34.9	7.5	17.9	20.8	18.9	17.9	0.0	0.0
70代(n=165)	59.4	27.9	23.0	39.4	10.3	15.8	18.2	15.2	13.3	1.2	5.5
80代(n=84)	53.6	21.4	17.9	34.5	9.5	11.9	23.8	17.9	14.3	1.2	13.1
90代以上(n=19)	57.9	21.1	10.5	42.1	10.5	15.8	15.8	15.8	21.1	0.0	10.5
【小学校区別】											
東郷小学校区(n=136)	58.8	25.7	30.9	33.1	14.7	17.6	25.0	19.1	14.7	0.7	2.9
春木台小学校区(n=123)	45.5	16.3	19.5	40.7	11.4	13.0	22.8	13.0	17.1	1.6	3.3
諸輪小学校区(n=115)	46.1	20.9	27.8	26.1	14.8	9.6	15.7	20.9	24.3	0.9	0.9
音貝小学校区(n=122)	59.8	23.0	38.5	38.5	12.3	18.0	25.4	25.4	13.1	1.6	2.5
高嶺小学校区(n=182)	56.0	23.1	29.7	38.5	10.4	15.9	25.3	15.4	16.5	0.5	6.6
兵庫小学校区(n=101)	52.5	21.8	32.7	36.6	21.8	14.9	20.8	25.7	19.8	2.0	0.0

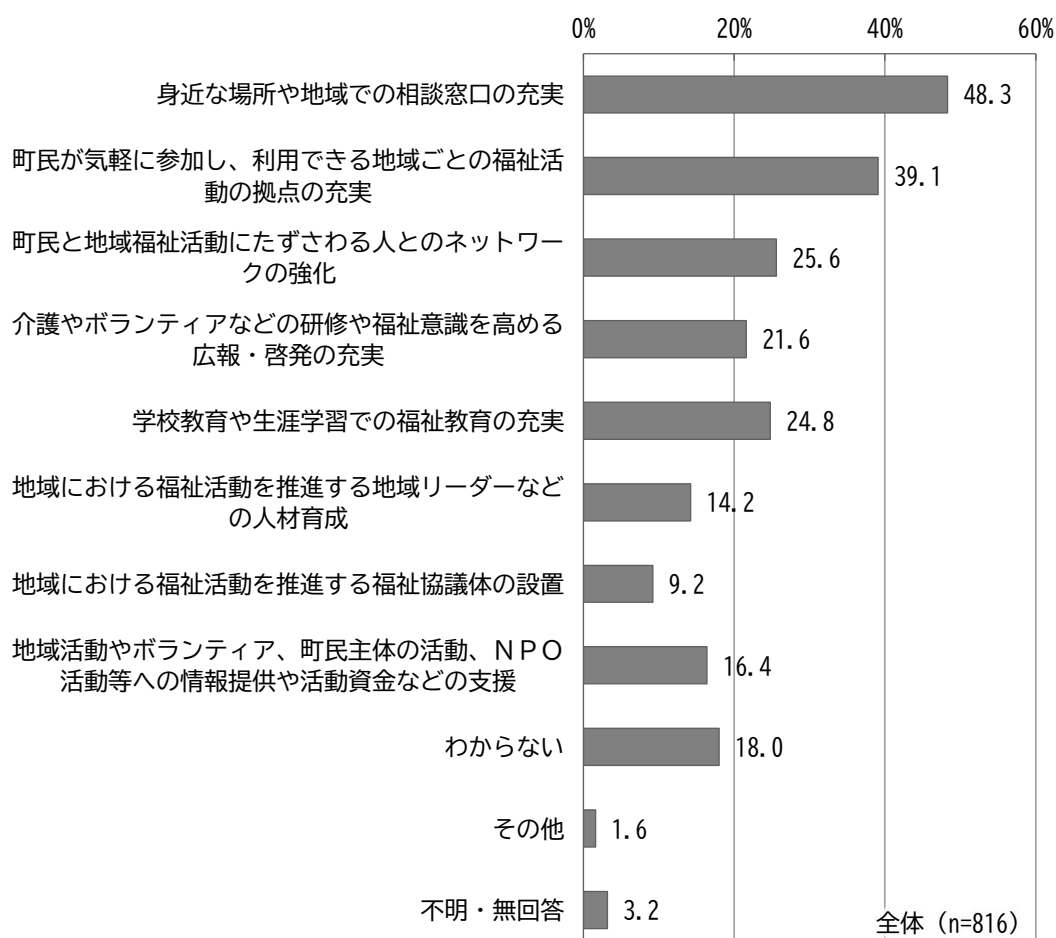
問 35 地域福祉を推進するために、何が必要だと思いますか。(複数回答)

「身近な場所や地域での相談窓口の充実」が 48.3%と最も高く、次いで「町民が気軽に参加し、利用できる地域ごとの福祉活動の拠点の充実」が 39.1%、「町民と地域福祉活動にたずさわる人とのネットワークの強化」が 25.6%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「身近な場所や地域での相談窓口の充実」が最も高く、それぞれ 48.0%、48.5%となっています。

年齢別でみると、10 代、30 代で「学校教育や生涯学習での福祉教育の充実」がそれぞれ 4 割台と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、東郷小学校区、音貝小学校区で「身近な場所や地域での相談窓口の充実」がそれぞれ 5 割台と、他の小学校区と比べて高くなっています。



■クロス集計

(単位：％)	身近な場所や地域での相談窓口の充実	町民が気軽に参加し、利用できる地域ごとの福祉活動の拠点の充実	町民と地域福祉活動にたずさわる人とのネットワークの強化	介護やボランティアなどの研修や福祉意識を高める広報・啓発の充実	学校教育や生涯学習での福祉教育の充実	地域における福祉活動を推進する地域リーダーなどの人材育成	地域における福祉活動を推進する福祉協議体の設置	地域活動やボランティア、町民主体の活動、NPO活動等への情報提供や活動資金などの支援	わからない	その他	不明・無回答
【性別】											
男性(n=344)	48.0	38.7	27.9	20.6	22.7	16.6	10.2	19.2	18.0	2.0	2.6
女性(n=447)	48.5	40.0	23.9	22.4	26.6	12.3	8.3	14.1	17.4	1.3	3.6
【年齢別】											
10代(n=13)	23.1	15.4	23.1	30.8	46.2	0.0	15.4	7.7	23.1	15.4	0.0
20代(n=57)	35.1	31.6	14.0	19.3	33.3	8.8	12.3	8.8	29.8	5.3	0.0
30代(n=80)	42.5	43.8	27.5	18.8	45.0	7.5	8.8	8.8	11.3	6.3	0.0
40代(n=144)	47.2	38.2	27.8	19.4	29.2	7.6	5.6	18.1	20.8	1.4	0.0
50代(n=139)	52.5	36.7	34.5	28.8	27.3	18.0	11.5	19.4	15.8	0.7	0.0
60代(n=106)	55.7	41.5	33.0	20.8	17.9	17.0	9.4	18.9	17.9	0.0	0.0
70代(n=165)	54.5	41.8	20.6	23.0	16.4	18.2	7.9	18.8	12.1	0.0	6.7
80代(n=84)	42.9	42.9	16.7	17.9	14.3	19.0	11.9	15.5	20.2	0.0	14.3
90代以上(n=19)	42.1	42.1	21.1	10.5	10.5	26.3	10.5	15.8	31.6	0.0	10.5
【小学校区別】											
東郷小学校区(n=136)	55.1	39.0	27.9	21.3	21.3	16.2	11.0	15.4	16.2	1.5	2.2
春木台小学校区(n=123)	42.3	42.3	30.1	20.3	27.6	14.6	5.7	14.6	19.5	3.3	3.3
諸輪小学校区(n=115)	44.3	41.7	26.1	16.5	20.0	13.0	5.2	19.1	17.4	2.6	0.9
音貝小学校区(n=122)	51.6	36.1	21.3	23.8	23.0	12.3	5.7	14.8	18.9	1.6	1.6
高嶺小学校区(n=182)	47.3	40.1	22.0	24.7	25.3	17.6	12.6	20.3	15.4	1.1	7.1
兵庫小学校区(n=101)	47.5	40.6	32.7	22.8	34.7	12.9	12.9	14.9	18.8	0.0	0.0

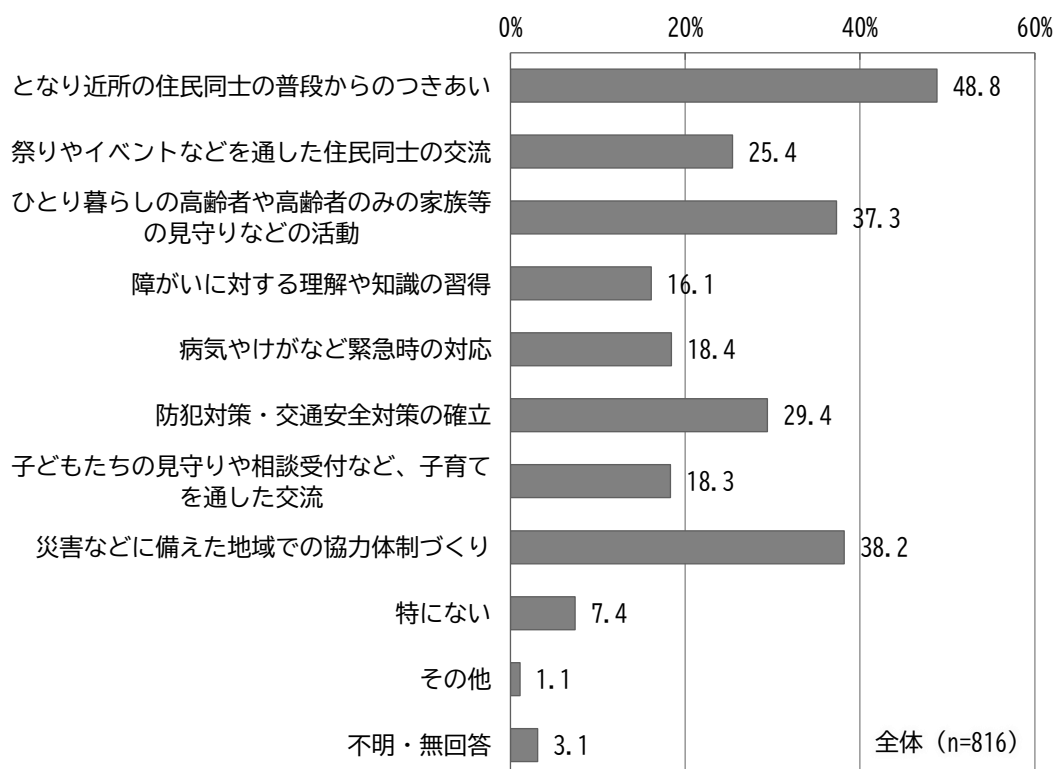
問 36 地域に住む人同士が、生活上の問題を共有し、解決に向けて考え、行動できるような「支え合う地域づくり」のために、地域としてどのようなことに取り組む必要があると思いますか。（複数回答）

「となり近所の住民同士の普段からのつきあい」が48.8%と最も高く、次いで「災害などに備えた地域での協力体制づくり」が38.2%、「ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの家族等の見守りなどの活動」が37.3%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「となり近所の住民同士の普段からのつきあい」が最も高く、それぞれ49.4%、48.8%となっています。

年齢別でみると、10代で「災害などに備えた地域での協力体制づくり」が53.8%と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、春木台小学校区で「となり近所の住民同士の普段からのつきあい」が57.7%と、他の小学校区と比べて高くなっています。



■クロス集計

(単位：%)	となり近所の住民同士の普段からのつきあい	祭りやイベントなどを通じた住民同士の交流	ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの家族等の見守りなどの活動	障がいに対する理解や知識の習得	病気やけがなど緊急時の対応	防犯対策・交通安全対策の確立	子どもたちの見守りや相談受付など、子育てを通じた交流	災害などに備えた地域での協力体制づくり	特にない	その他	不明・無回答
【性別】											
男性(n=344)	49.4	30.2	32.6	14.5	23.5	29.9	17.7	33.4	7.3	1.5	2.6
女性(n=447)	48.8	21.9	40.7	17.4	14.3	29.1	19.2	41.4	7.2	0.9	3.4
【年齢別】											
10代(n=13)	38.5	23.1	15.4	7.7	23.1	23.1	23.1	53.8	7.7	0.0	0.0
20代(n=57)	31.6	22.8	22.8	12.3	17.5	36.8	31.6	38.6	14.0	1.8	0.0
30代(n=80)	46.3	35.0	28.8	13.8	18.8	37.5	47.5	32.5	3.8	1.3	0.0
40代(n=144)	46.5	32.6	34.7	19.4	16.0	29.9	27.1	41.7	6.9	0.0	0.0
50代(n=139)	48.2	16.5	42.4	19.4	20.1	31.7	15.8	41.7	7.2	0.7	0.7
60代(n=106)	51.9	28.3	49.1	17.9	20.8	26.4	11.3	39.6	4.7	1.9	0.9
70代(n=165)	59.4	25.5	39.4	17.6	18.8	30.9	6.1	42.4	4.8	1.2	4.2
80代(n=84)	45.2	16.7	33.3	8.3	14.3	17.9	4.8	21.4	13.1	1.2	16.7
90代以上(n=19)	57.9	21.1	52.6	5.3	26.3	21.1	10.5	36.8	10.5	5.3	5.3
【小学校区別】											
東郷小学校区(n=136)	48.5	27.2	39.7	13.2	17.6	35.3	19.1	42.6	2.9	0.7	2.9
春木台小学校区(n=123)	57.7	20.3	37.4	14.6	17.1	28.5	13.0	38.2	6.5	1.6	3.3
諸輪小学校区(n=115)	48.7	32.2	35.7	17.4	20.0	24.3	18.3	34.8	9.6	1.7	0.9
音貝小学校区(n=122)	47.5	24.6	37.7	21.3	23.8	33.6	20.5	41.0	8.2	0.8	1.6
高嶺小学校区(n=182)	47.8	23.1	36.3	14.8	11.5	25.3	15.4	32.4	6.6	1.1	6.6
兵庫小学校区(n=101)	43.6	28.7	36.6	17.8	21.8	31.7	23.8	43.6	9.9	1.0	0.0

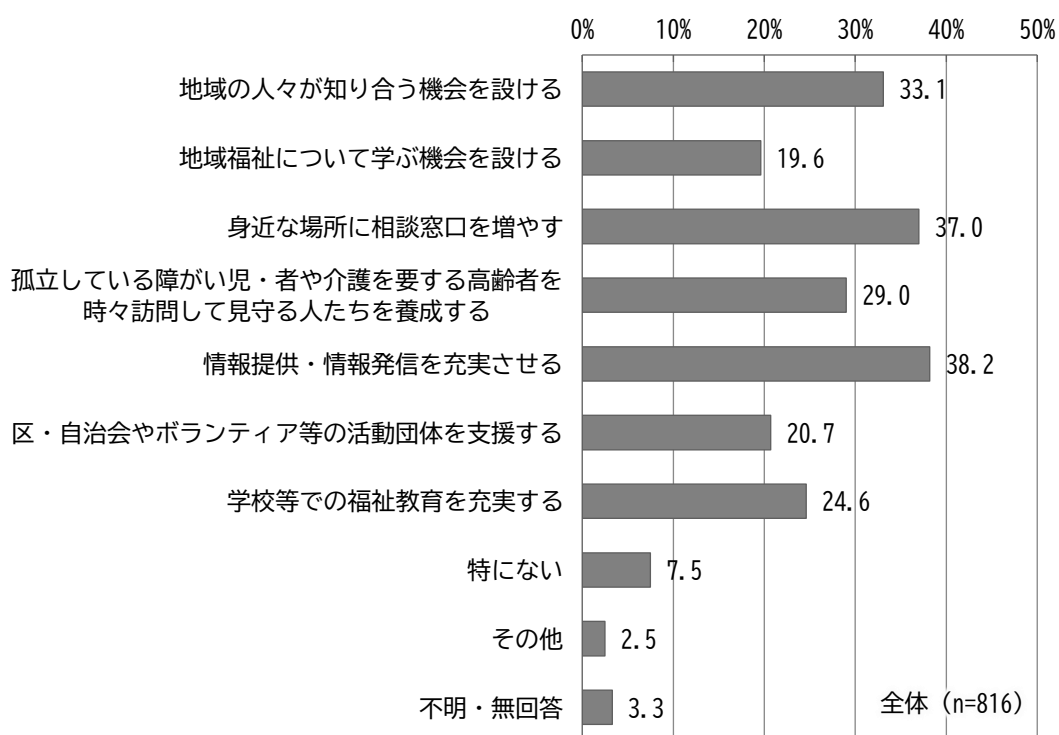
問 37 「支え合う地域づくり」を進めるために、行政（町）はどのような支援を行う必要
があると思いますか。（複数回答）

「情報提供・情報発信を充実させる」が 38.2%と最も高く、次いで「身近な場所に相談窓口を増やす」が 37.0%、「地域の人々が知り合う機会を設ける」が 33.1%となっています。

性別でみると、男性、女性ともに「情報提供・情報発信を充実させる」が最も高く、それぞれ 37.8%、38.7%となっています。

年齢別でみると、30代で「学校等での福祉教育を充実する」が 51.3%と、他の年代と比べて高くなっています。

小学校区別でみると、東郷小学校区で「地域の人々が知り合う機会を設ける」が 41.9%と、他の小学校区と比べて高くなっています。



■クロス集計

(単位：%)	地域の人々が知り合う機会を設ける	地域福祉について学ぶ機会を設ける	身近な場所に相談窓口を増やす	孤立している障がい児・者や介護を要する高齢者を時々訪問して見守る人たちを養成する	情報提供・情報発信を充実させる	区・自治会やボランティア等の活動団体を支援する	学校等での福祉教育を充実する	特にない	その他	不明・無回答
【性別】										
男性(n=344)	34.9	20.3	34.9	27.3	37.8	22.1	24.7	9.0	3.2	2.6
女性(n=447)	32.4	18.8	38.3	30.4	38.7	19.9	24.8	6.0	1.6	3.8
【年齢別】										
10代(n=13)	23.1	7.7	30.8	23.1	30.8	7.7	30.8	23.1	0.0	0.0
20代(n=57)	36.8	21.1	33.3	22.8	38.6	15.8	33.3	14.0	3.5	0.0
30代(n=80)	43.8	16.3	27.5	31.3	38.8	21.3	51.3	2.5	5.0	0.0
40代(n=144)	34.0	15.3	41.0	27.8	41.0	22.2	31.3	7.6	2.1	0.0
50代(n=139)	27.3	21.6	49.6	26.6	45.3	19.4	25.2	5.8	2.2	1.4
60代(n=106)	28.3	24.5	43.4	29.2	39.6	20.8	15.1	5.7	1.9	0.9
70代(n=165)	34.5	21.8	30.3	32.7	42.4	26.1	18.8	6.7	1.2	6.1
80代(n=84)	34.5	20.2	27.4	31.0	17.9	14.3	8.3	10.7	1.2	13.1
90代以上(n=19)	31.6	10.5	31.6	31.6	31.6	26.3	5.3	5.3	10.5	10.5
【小学校区別】										
東郷小学校区(n=136)	41.9	17.6	41.2	30.1	38.2	16.2	19.9	4.4	1.5	2.2
春木台小学校区(n=123)	33.3	19.5	32.5	27.6	45.5	17.9	20.3	6.5	3.3	4.1
諸輪小学校区(n=115)	34.8	16.5	33.9	34.8	37.4	20.9	28.7	7.8	1.7	0.9
音貝小学校区(n=122)	36.1	21.3	44.3	30.3	36.9	23.0	28.7	5.7	1.6	1.6
高嶺小学校区(n=182)	28.0	16.5	34.1	26.9	36.8	20.9	20.3	8.2	3.8	7.7
兵庫小学校区(n=101)	27.7	31.7	34.7	24.8	39.6	25.7	34.7	11.9	2.0	0.0

6. その他・自由回答

問 38 みんなで助けあい・支え合える地域をつくるために、必要だと思う取組や、見聞きしたことがある取組、今後あなたが取り組んでみたいことなどがあれば教えてください。（自由記述）

■回答の分類

「地域の助け合い・地域活動」...挨拶と声掛け、近所付き合い、世代間交流など

「地域での安全・安心・見守り」...災害時等の助け合いの体制づくりなど

「情報提供・相談等」...福祉に関する情報発信の必要性、身近な場所での相談窓口の設置など

「ボランティア」...ボランティアの機会、しくみなど

「居場所」...気軽に集うことができる場の充実など

※自由意見については、主な意見のみ掲載しています。

<地域の助け合い・地域活動>

記述内容
まずは積極的に近隣の方たちとの挨拶をするなどのコミュニケーションを意識していきたいと感じています。
どうしたらよいかかわからないが、ご近所さんへの挨拶や雑談はしていきたい。
道でのすれ違い時に通学時の子供達の「おはよう！」の挨拶ができればと思います。交通安全の交差点でのボランティア見守りの方々にまず挨拶ができる子供が増えれば明るい町になるのではと思います。そして助け合い、支え合いが生まれればよいと思います。
地域交流が必要かと思っています。
近隣住民の方との交流を深める行事、イベントなどがもっと増えると良いと思う。子ども世代は保育園などで顔を合わせる機会があるが、お年寄りの方との交流を深める機会がもう少しあると良いと思う。
町内の行事に参加するようにする。
平時からのご近所付き合い。困ったときの相談先の情報提供、住民が把握していること。制度も必要だけど、具体的な取り組みを進め、実績をつくっていくこと。計画相談事業の充実。
地域活動に関心が高く住民主体で活動可能な方の発掘。協議体へのお誘い。隣近所との普段からの良好な関係づくり。
高齢者の二人家族ですが、健康に恵まれ親族も皆近くに暮らしています。自分たちに関しては悩みや不安はありませんが、「地域での支え合い」は必要不可欠と思います。高齢者でも生活上で困っている方々の支援が出来るのであれば、参加していきたいと思います。それをつなぐ窓口を身近な自治会に設けていただけたら助け合いの協力をしていきたいと思います。
私の住んでいる地区は外国の人が多く住んでいる。また高齢者世帯も多い。高齢者は外国の人への正しい理解がなく、交流がないに等しい。外国の人の中には、話してみるといい人もいて、高齢者の手助けになりうる人もいる。お互いを知るための交流ができれば、何か困ったことがあった時に助け合えるのではないかと思います。

<地域での安全・安心>

記述内容
子どもが小さい時に外に出て支え合える環境がもっとあるといいなと感じました。また、近所に住んではいるけれど、顔がわからないレベルの方も多いので、いろいろ難しい部分もあるなと感じています。自治会に入っていない家庭も増えて来ているので、災害時の対応をどうするのか、地域としてもう少し具体的に考えたほうがいいのでは？と思ったりもしていますが、難しいですね。
地域で避難訓練や防災訓練等を年に1度行う等、全ての世代に関係するイベントをやってみるのも良いと思う。
私の住んでいる地域でも近所付き合いが減っています。災害や事故が起きた時、お互いに助け合えるのか不安です。子供の頃からの福祉教育は大切だと思います。
独身アパート住まいなので隣近所とは全く交流がありません。南海トラフのような大地震が起こった際どこに避難すればいいのか、そんな時どうやって地域で支え合えばいいのか。取り組みが必要だと思う。

<情報提供・相談等>

記述内容
気軽に何でも相談できる場所があると良いと思う。
困った時に相談が可能な窓口と、窓口がある事を周知するための情報展開。(HP、広報等。)
現在は家族がいるので福祉のお世話になっていないが、近い将来独り暮らしになると思う。気軽に相談できる所があちこちにあればいいと思う。
高齢者や障がい者、またはそれを支えているご家族の方が使える制度や支援を知れる機会を増やす。ソーシャル・サポート・ネットワークを強化して、地域全体で高齢者等の見守り、支援を行う。
これを機に福祉について考えましたが、知らない事ばかりで、知識がない事が分かりました。理解と関心を深め、まず知る所から、始めたいと思います。またどこかでその知識を知る所があるといいなと思いました。
昔のようになり近所で支え合うようなものは現代では無理だと思う。困ったことがあったときに相談できる機関があることが良いと思うが、まずそういった機関があることを知らない人が多く、とくに子供でも大人の助けを必要としている場合があると思うので、学校でも相談できる場所があることを教えておく必要があると思う

<ボランティア>

記述内容
学生や若者の方に、子育て世代や高齢者との交流の場を与えてほしい。例えば、学生や若者達に、スマホやネット環境について苦手な人の簡単なアドバイスやサポートをしてもらうなどである。子育て世代の家庭では、小さいお子さんと関わりを持つことはもちろん自分と同じぐらいのお子さんを持つ方と交流を持つことで、お互いに色んなことを知ることができるメリットがたくさんあると思う。学校に行けない子達と遊んであげたり、お母さんと話をして子供目線でのアドバイスや子供の声を届けてあげてほしい。
今はみんなが仕事で忙しく、地域の支え合いを考える時間や機会がない。リタイア後に時間ができるので、その時期やその年齢に合わせて、ボランティア活動等ができると思う。
何でも「ボランティア」として運営すると長続きしないと考えるので、ファミリー・サポート・センターのように、ある程度有料の方が良いと思う。
医療ボランティアの充実。医療の知識を持った人が地域福祉に関われば、もっとスムーズに助け合える。

<居場所>

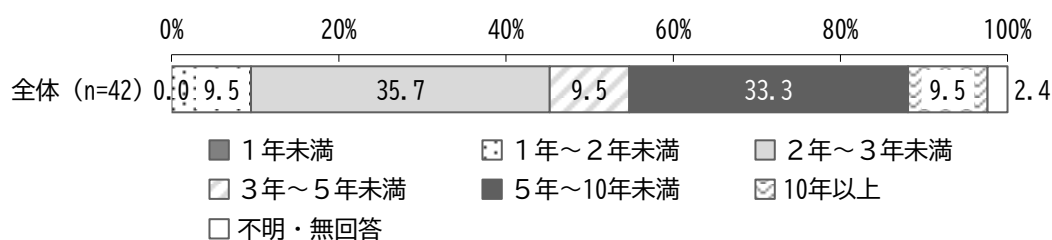
記述内容
犬の散歩で色々な人と話す機会があるので、地域の人とふれ合っている実感がある。でも、犬を飼っていないければ、近所で話す機会もあまりないと思う。もっと気軽にみんなが外に出て、近所の人たちと集える場所があると良いと思う。
誰もがふらっと立ち寄れる場所。学校帰りに宿題や遊びに来てもいいし、世代を問わず話しをしに来てもいい。ゆるくつながることができる場所作り。

(2) 民生委員・児童委員調査

1. 活動の状況について

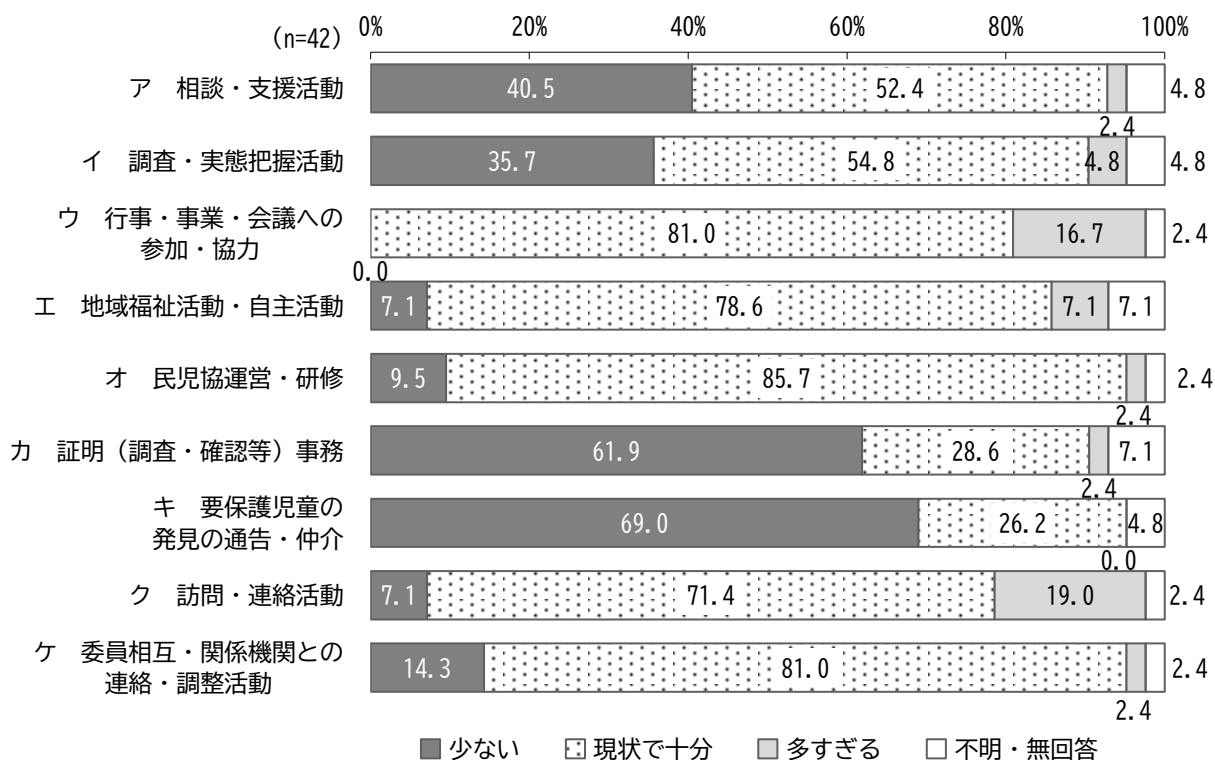
問1 活動年数を教えてください。(単数回答)

「2年～3年未満」が35.7%と最も高く、次いで「5年～10年未満」が33.3%となっています。



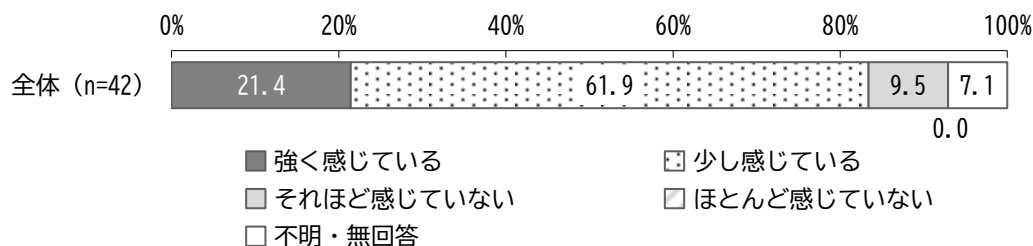
問2 あなたは、民生委員・児童委員活動をどのように感じていますか。 (それぞれ単数回答)

〔カ 証明（調査・確認等）事務〕〔キ 要保護児童の発見の通告・仲介〕で「少ない」がそれぞれ6割以上と、他の項目と比べて高くなっています。なお、〔ウ 行事・事業・会議への参加・協力〕〔ク 訪問・連絡活動〕で「多すぎる」がそれぞれ1割台と、他の項目と比べて高くなっています。



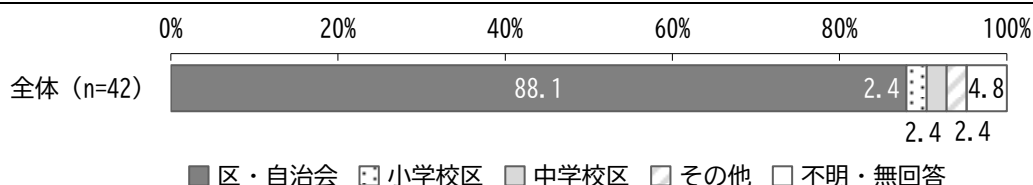
問3 現在の活動にやりがいを感じられていますか。(単数回答)

『感じている』(「強く感じている」と「少し感じている」の合算)が83.3%、『感じていない』(「それほど感じていない」と「ほとんど感じていない」の合算)が9.5%となっています。



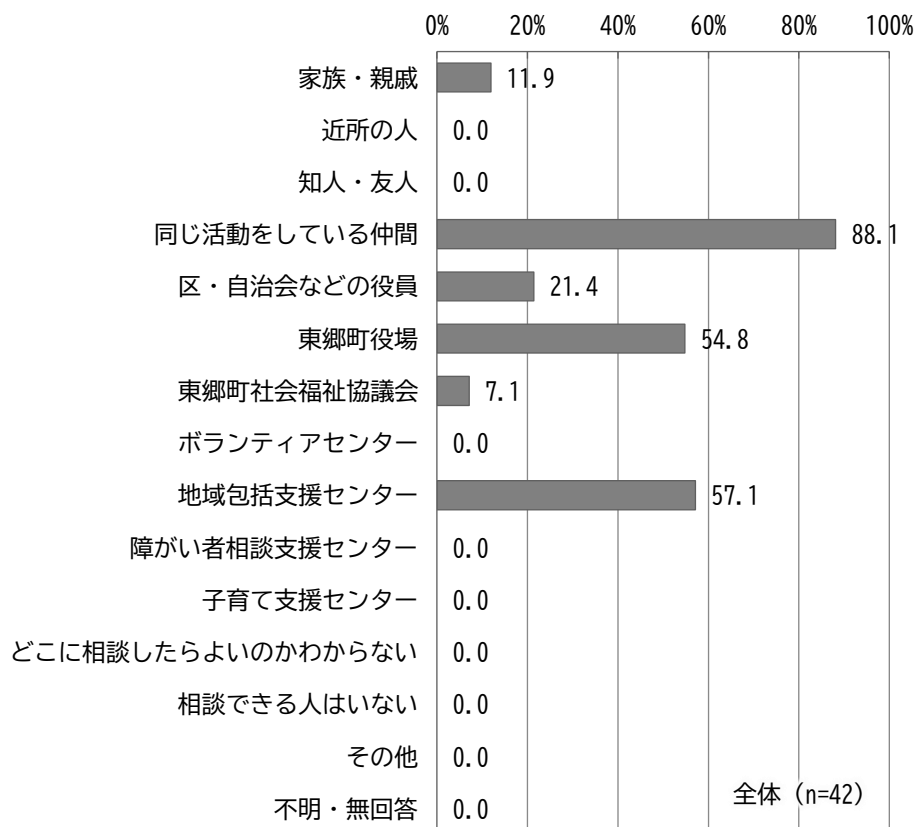
問4 民生委員・児童委員の活動を取り組みやすい区域について、どのようにお考えですか。(単数回答)

「区・自治会」が88.1%と最も高く、次いで「小学校区」「中学校区」「その他」がそれぞれ2.4%となっています。



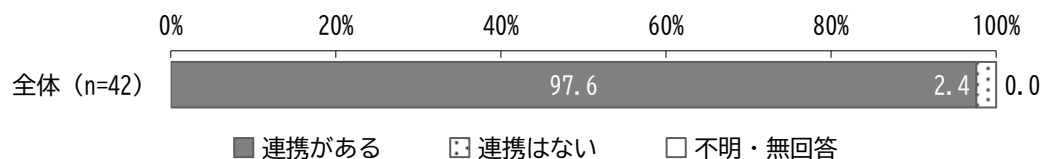
問5 民生委員・児童委員の活動をする中で困ったとき、主に誰に(どこに)相談していますか。(複数回答)

「同じ活動をしている仲間」が88.1%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」が57.1%となっています。



問6 民生委員・児童委員の活動の中で、他の組織・団体との連携はありますか。
(単数回答)

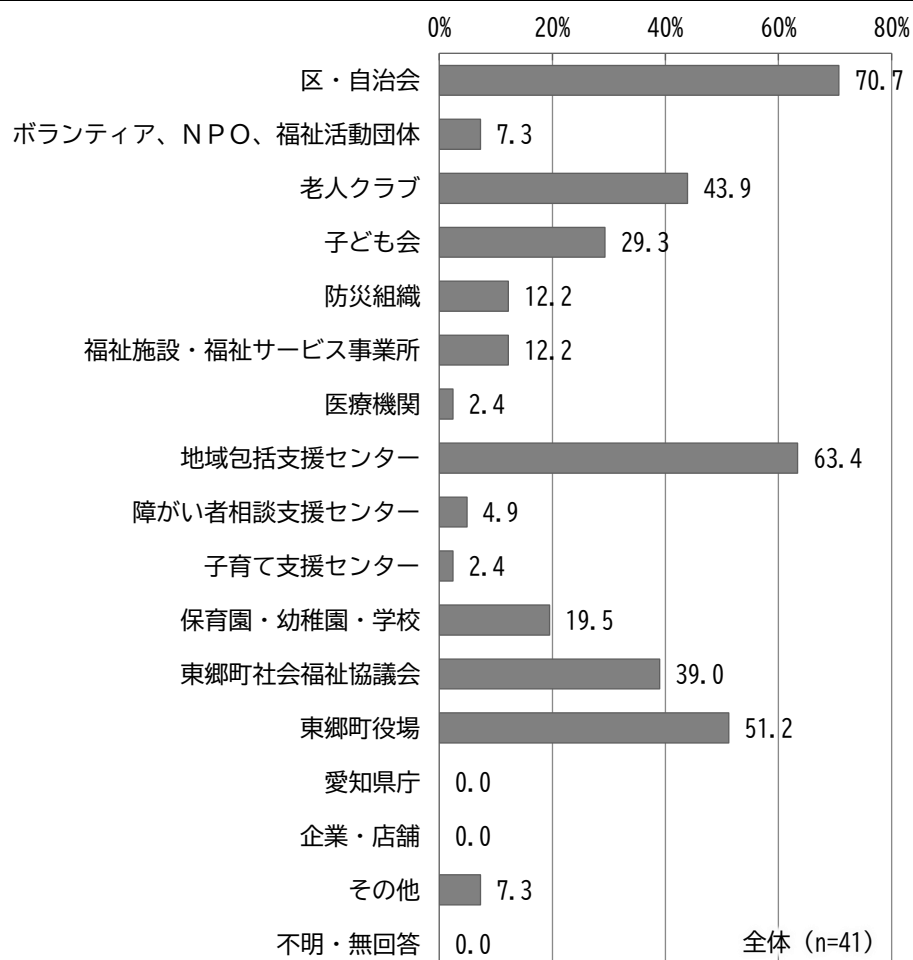
「連携がある」が97.6%、「連携はない」が2.4%となっています。



問6で「1 連携がある」と回答した方

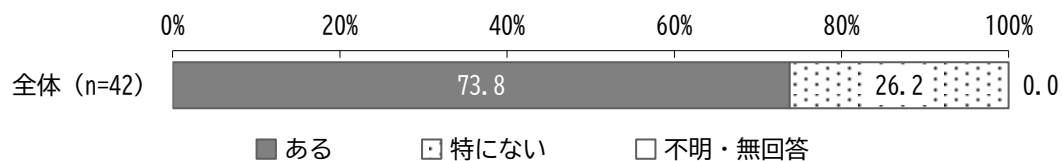
問6-1 連携がある組織・団体は次のうちどれですか。(複数回答)

「区・自治会」が70.7%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」が63.4%となっています。



問7 今後、地域活動の中で連携をとりたい組織・団体はありますか。(単数回答)

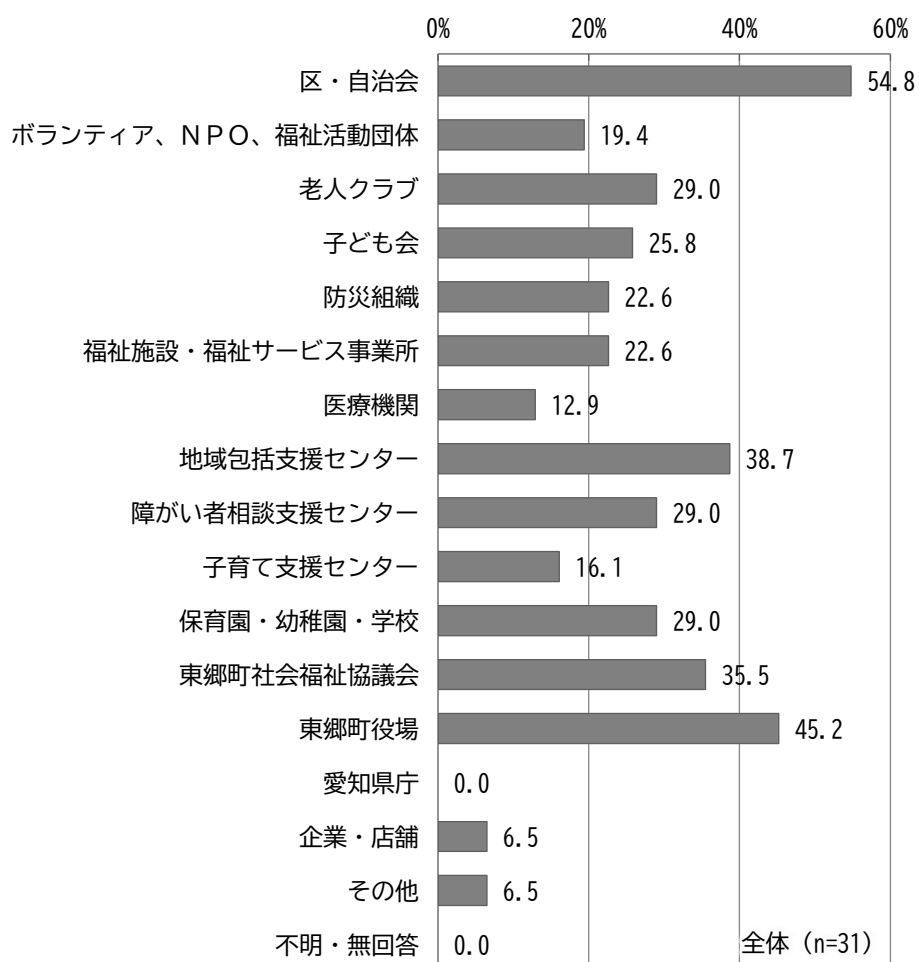
「ある」が73.8%、「特にない」が26.2%となっています。



問7で「1 ある」と回答した方

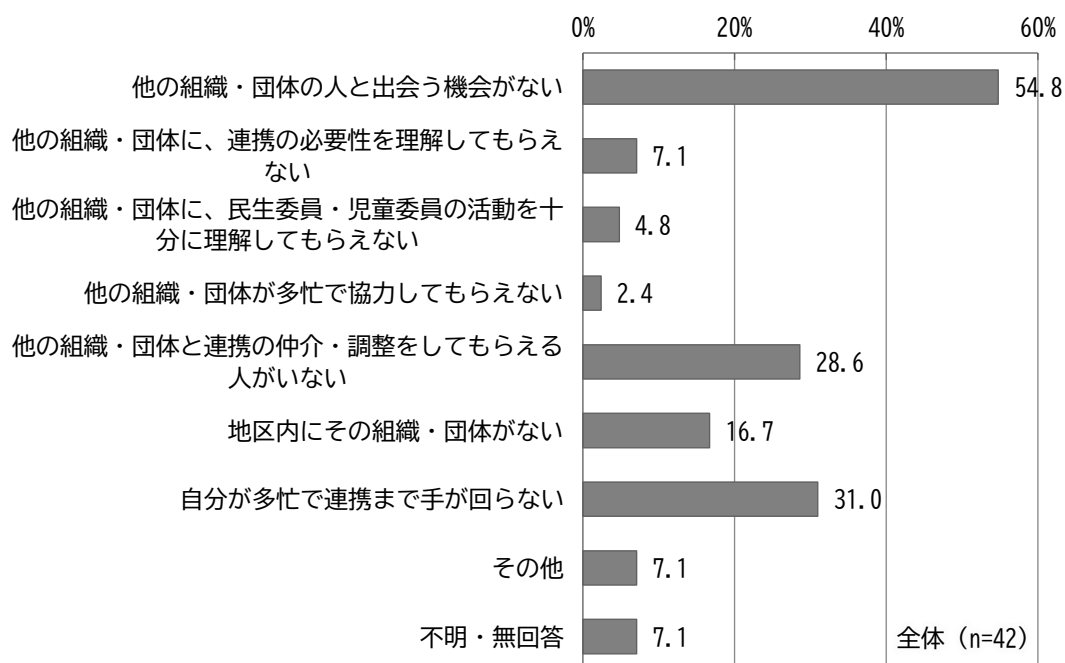
問7-1 これから連携していきたい組織・団体は次のうちどれですか。(複数回答)

「区・自治会」が54.8%と最も高く、次いで「東郷町役場」が45.2%となっています。



問8 他の組織・団体と連携しようとする上で困っていることはありますか。（複数回答）

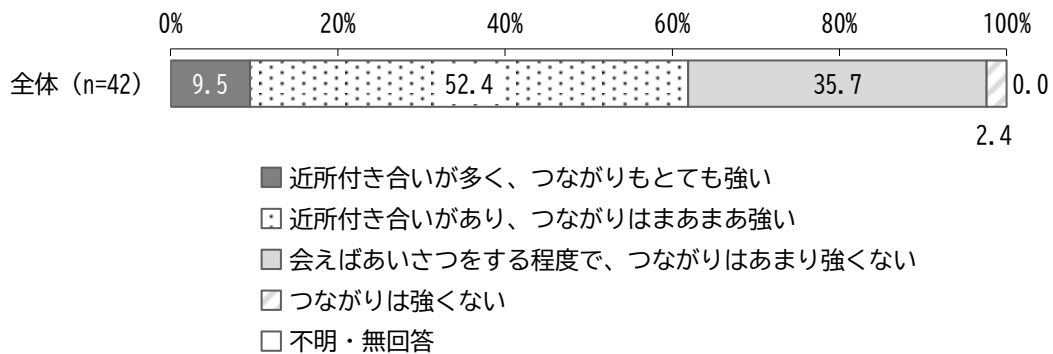
「他の組織・団体の人と出会う機会がない」が54.8%と最も高く、次いで「自分が多忙で連携まで手が回らない」が31.0%となっています。



2. 地域について

問9 あなたがお住まいの地域では、地域のつながりが強いですか。（単数回答）

『つながりは強い』（「近所付き合いが多く、つながりはとても強い」と「近所付き合いがあり、つながりはまあまあ強い」の合算）が 61.9%、『つながりは強くない』（「会えばあいさつをする程度で、つながりはあまり強くない」と「つながりは強くない」の合算）が 38.1%となっています。



■ 『つながりは強い』と思う理由（自由回答）

記述内容
昔からの流れで、困った時の相談や協力が今もそれなりに残っている。ただし、この数年で良き協力が途切れるようになってきている。
この地に居住して 50 年、長いお付き合いの方とは強いつながりがあると思いますが、50 年の間に世代交代があり、新しく引っ越ししてきた方とは年齢も違うので、繋がりが殆ど無い。若い世帯の方とも仲良くお付き合いしたいとは思いますが、接する機会がなかなか無い。
古い地区で神社、寺、老人クラブへの加入が半強制的な面があった。そのため、それらの付き合いが長く続いてきた。近頃はそれらへの加入を強いられることがなくなった。加えて古い地区に新しく住居を建て引っ越ししてくる方が増え、その人々とのつながりがなかなかできない。
私が住んでいる地区は昔からずっと同世代（現在は高齢者が多い）で住んでいる住民も多く、駅が近いなど利便性が高いからか親と子が近くに住んでいたり、兄弟で近所に住んでいる事がある。同世代同士のつながりが強く、誰かが引っ越ししてくると声をかけ合うなどコミュニティへ誘っているの、孤立している人は少ないように感じる。
地域活動が好き。
昔からのつながりがあるため。
古い地域なので良くも悪くも強いつながりがあります。
顔見知りの人が多い。
以前より仲が良く、何でも話せる関係が築かれているからだと思います。お互いの信頼関係が良好だからです。
地区内の諸団体のメンバーと話す機会が増えた。
溝掃除、除草の他、自主活動の場において作業中に話をする機会が多い。
昔からの住民が多いから。

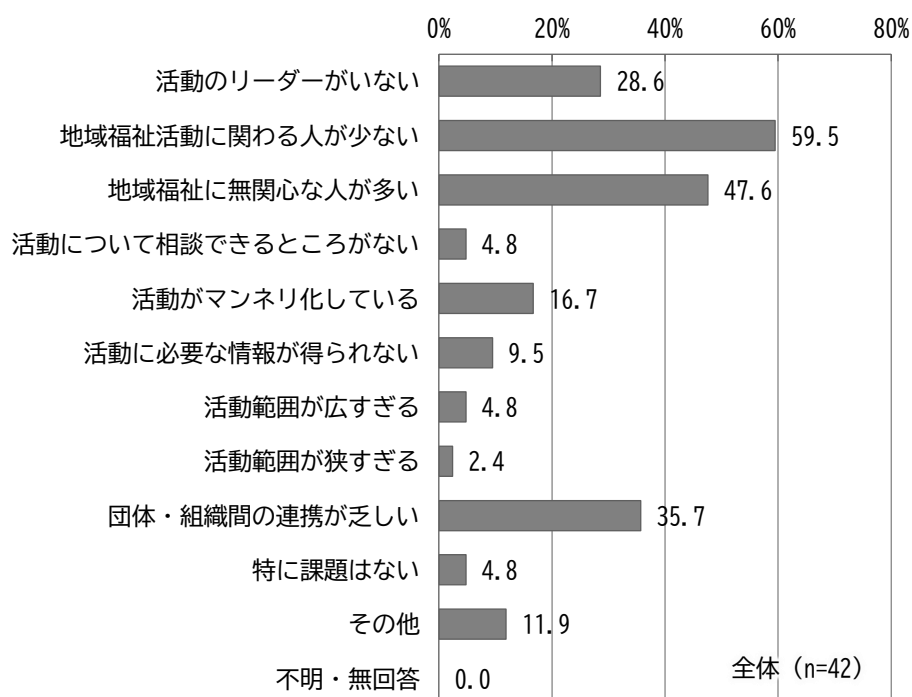
記述内容
昭和 45 年頃から住んでいる方が多く、子ども、親同士のグループがあつて昨今まで続いているところがある。また、半分は開発された時に入居されているので、子ども達も同じ学校に入学している。
地区行事として、盆踊り、グラウンドゴルフ大会などがある。老人クラブでは、ゲートボール、グラウンドゴルフの練習がある。公民館では、月 2 回のお茶会（老人クラブ主催）がある。また、毎週のたまり場から名称を変更したまちかど運動教室がある。神社の夏のお祭りや秋の行事での奉賛会としての手伝い、老人クラブの地区の草取り作業、秋の作品展などがある。
同世代の地域のつながりがあり、地域のセンターでいろいろな活動がある。気になった隣家があると民生委員に連絡がある。個々で助けあっている様子がみられる。

■『つながりは強くない』と思う理由（自由回答）

記述内容
自治体が減少しているから。
新しくできた地域だから。
開発されて 55 年も経っているので初めに居住した方達は高齢化し、この数年で何人も死亡、入院、施設入居、転居と歯抜けになる。その後、空き家や空き地に転入されてくるが、顔も名前も家族構成もよく分からず、自治会や子ども会に入らない人も増え、バラバラになってきている。全国的に同じだと思う。プライバシーもあり、積極的に声をかけたりできない。年齢のギャップもあり、会う機会もないので警戒される。
日々皆さん忙しい。
開発されて住宅街ができた歴史の浅い地区なので、住民のつながりが薄いと思います。
昔から地域で暮らしている方と新しく転入してきた方の価値観や生活スタイルの違いがあり、関係を構築するのが難しいと思われる。特に、若い世帯の方は個人主義的な考えをされることが多いと感じる。
新しい住民が多く、昼間は仕事で互いに顔を合わせることもない。

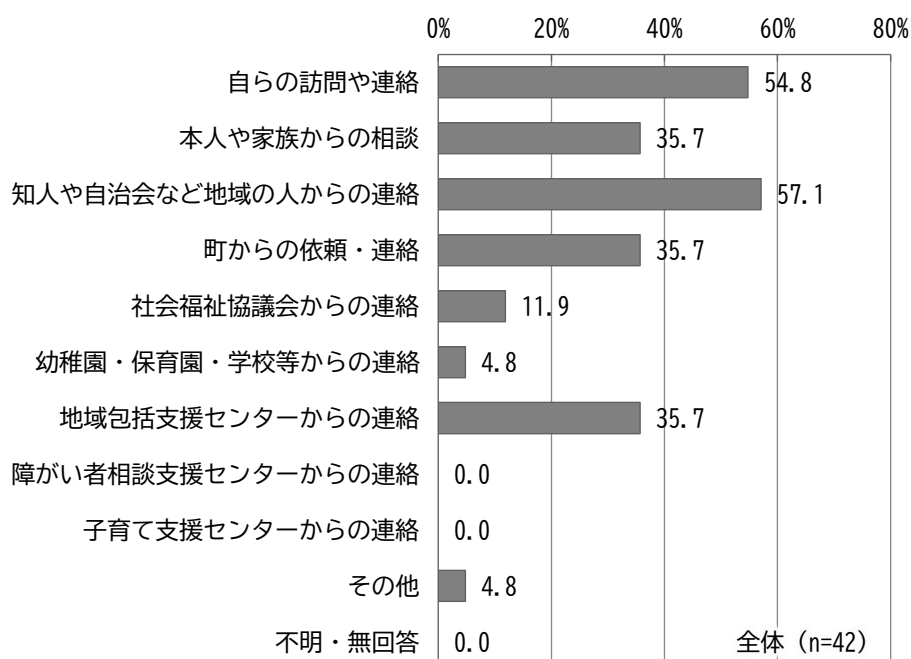
問 10 あなたがお住まいの地域では、地域の助け合い・支え合い活動を推進するにあたっての課題はありますか。（複数回答）

「地域福祉活動に関わる人が少ない」が 59.5%と最も高く、次いで「地域福祉に無関心な人が多い」が 47.6%となっています。



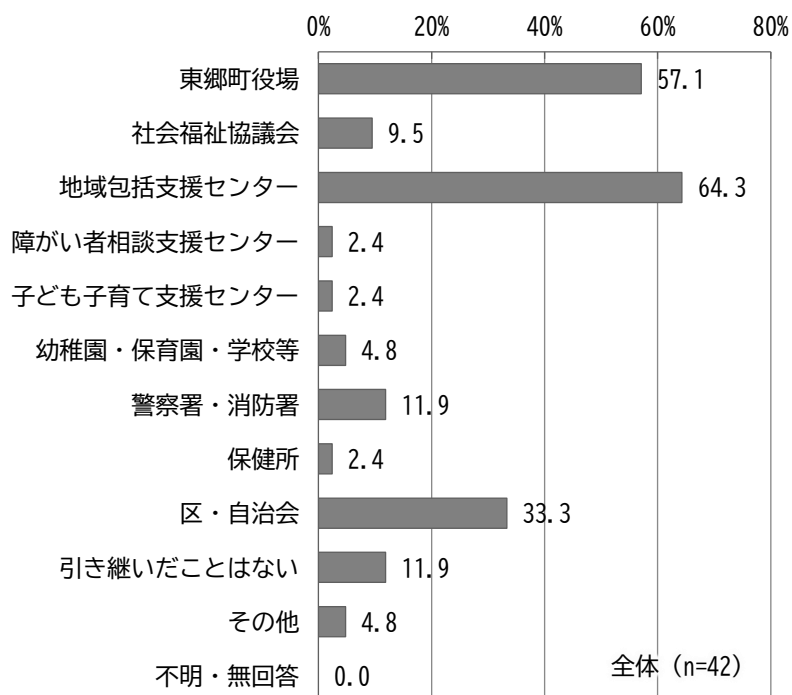
問 11 相談を受ける主なきっかけは何ですか。（複数回答）

「知人や自治会など地域の人からの連絡」が 57.1%と最も高く、次いで「自らの訪問や連絡」が 54.8%となっています。



問 12 あなたが受けた相談は、主にどの関係機関に引き継ぎましたか。(複数回答)

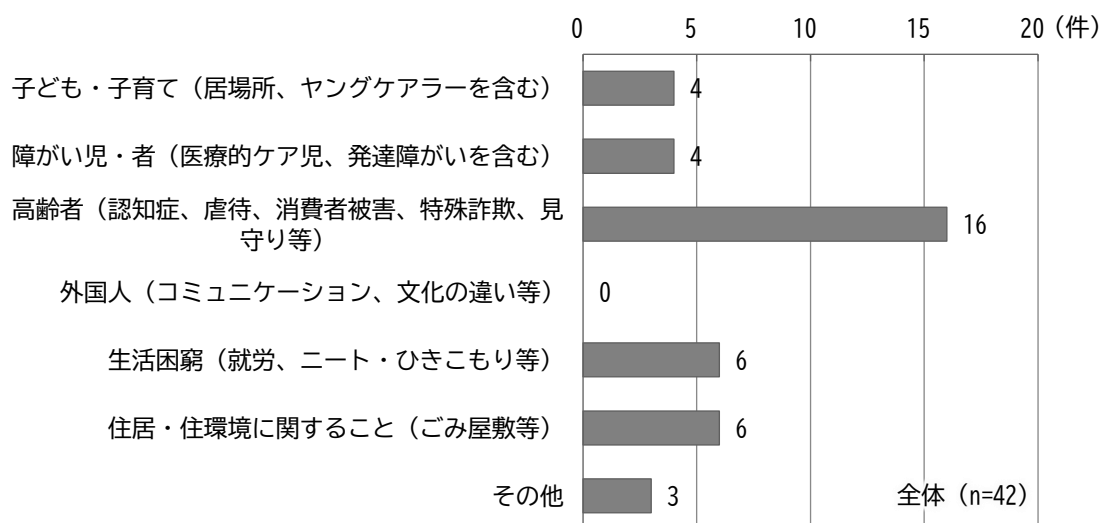
「地域包括支援センター」が 64.3%と最も高く、次いで「東郷町役場」が 57.1%となっています。



問 13 様々な要因が重なって解決を困難にしている事例が報告されています。活動を通して経験した対応が難しいと感じた分野の組み合わせを選び、その具体的事例の内容をご記入ください。(複数回答)

「高齢者（認知症、虐待、消費者被害、特殊詐欺、見守り等）」が 16 件と最も多く、次いで「生活困窮（就労、ニート・ひきこもり等）」「住居・住環境に関すること（ゴミ屋敷等）」がそれぞれ 6 件となっています。

※回答のあった件数を分野ごとに示しています。



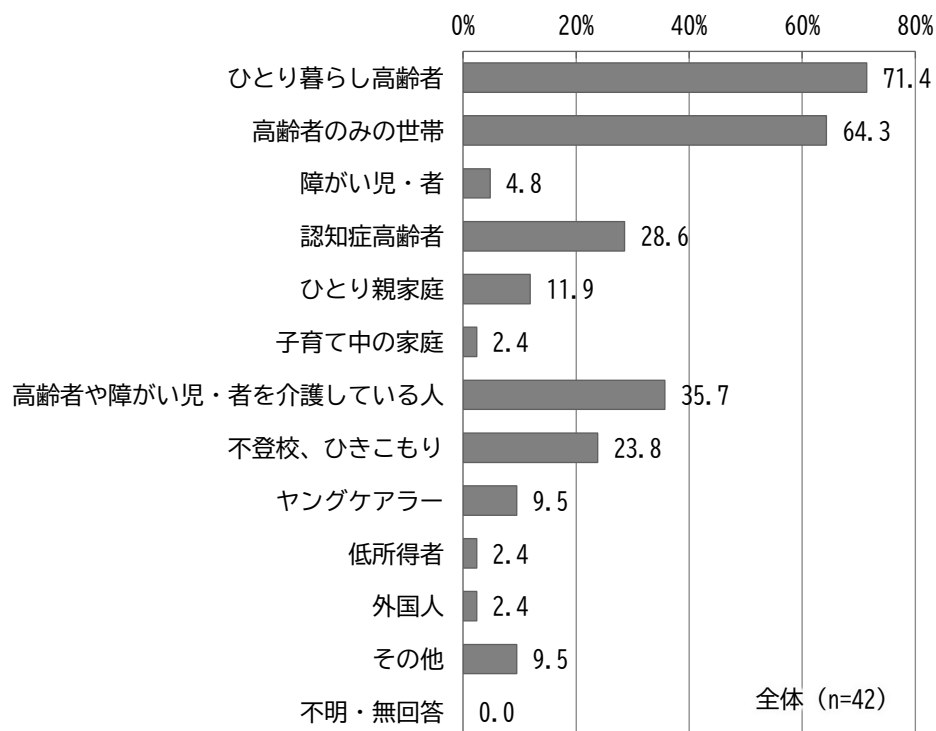
■ 具体的事例（自由回答）

該当する分野	事例内容
子ども・子育て	ひきこもり、不登校の相談。
障がい児・者	一人暮らしの方の家庭に屋根の補修を業者が勧めた。高額の見積もりを持ってくるので、断ったがしつこかった。
高齢者	困った時には電話をかけてくる高齢者が突然姿を見せなくなった。20回以上足を運んだが、たまたま会った娘さんから「施設に入った」と聞いた。施設へ行っても会わせてくれず、確認してもらったら入所していた。
	困難ではないが、独居高齢者は変な電話や訪問や買い取り業者の被害に遭っている人が多い。そのため、不安で（警戒しすぎて）インターホンや電話に出ない。
	訪問した際に、「訪問してもらおうのが申し訳ないから、何かあればこちらから連絡する」とやんわり断られました。視力が落ちているため、人との関わりが少なくなっているように見受けられます。
	高齢者2人が認知症になり、本人が気落ちがちになって相談される（ケアマネはついている）。
	高齢者の住まいでアパートの近所付き合いが大変という相談。
	認知症の方で、他の住民の方に迷惑電話が何回もあったが、息子とケアマネにより解決した。
生活困窮	ひきこもりの相談。
	ひきこもり傾向のお宅を訪問するが、インターホンでの対応すらしてもらえず、住んでいるのかさえも分からない。
住居・住環境に関する事	隣との間の空き地を巡り、嫌がらせの手紙が度々ポストに入っていた事があってので、区長に相談して様子をみました。
	空き家の草木や建物についての相談を受ける事があるが、解決するのが難しい。
	住居の隣人の苦情が多く、悩んでいる人がいる。
その他	町バスの経路や本数等の要望が出たので、町長との懇談会で話題になったが、なかなか変更や追加は難しいとのことだった。
子ども・子育て、障がい児・者、生活困窮、その他	親が精神疾患であり、子どもも同様に精神疾患があるが、17歳未満であるため、親の申請がないと適切な支援が受けられないが、親も申請するために役場に行くことができない。子が将来に対して大きな不安を感じながら生活している家庭がある。
子ども・子育て、高齢者	不登校、いじめ、高齢者の生活相談、緊急時の連絡。
	子どもとの折り合いが悪く、家の合いかぎも持っているので心配。
障がい児・者、高齢者	高齢の親が障がいのある娘の世話をしている。長男の奥さんが買い物をして冷蔵庫に入れるており、助かると言われる。書いている字が見にくいとも言われている。娘は毎日、親は週2回のデイサービスとのこと。親は母親のみ。
障がい児・者、生活困窮	内部障がいの方で、独居生活をしているが、まだ若いので社会参加の機会を提供し、就労へつなぐことができないかと思い、担当課の方と検討中です。
高齢者、生活困窮	月に一度、少し話を聞くだけではほとんど見守りができていないと感じるが、何度も訪問するのも迷惑だろうし難しい（認知症が進んでいることに全く気づくことができなかった）。夏の暑さでひきこもりになっていたと思う。

該当する分野	事例内容
高齢者、住居・住環境に関すること	認知症があり、介護サービスを受けている状態だが、本人の拒否が強く、害虫がわき、周囲の住民に迷惑をかけている一人暮らしの方がいる。
高齢者、その他	災害時に避難するタイミングや場所、移動手段の確保が難しい。

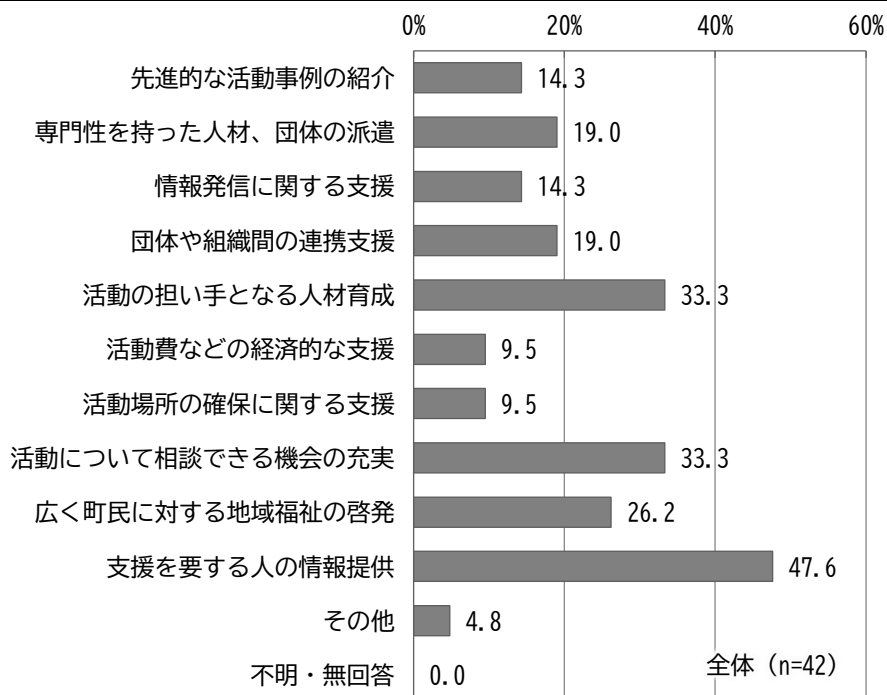
問 14 あなたがお住まいの地域において、これから特に支援が必要だと思う対象は誰ですか。（複数回答）

「ひとり暮らし高齢者」が 71.4%と最も高く、次いで「高齢者のみの世帯」が 64.3%となっています。



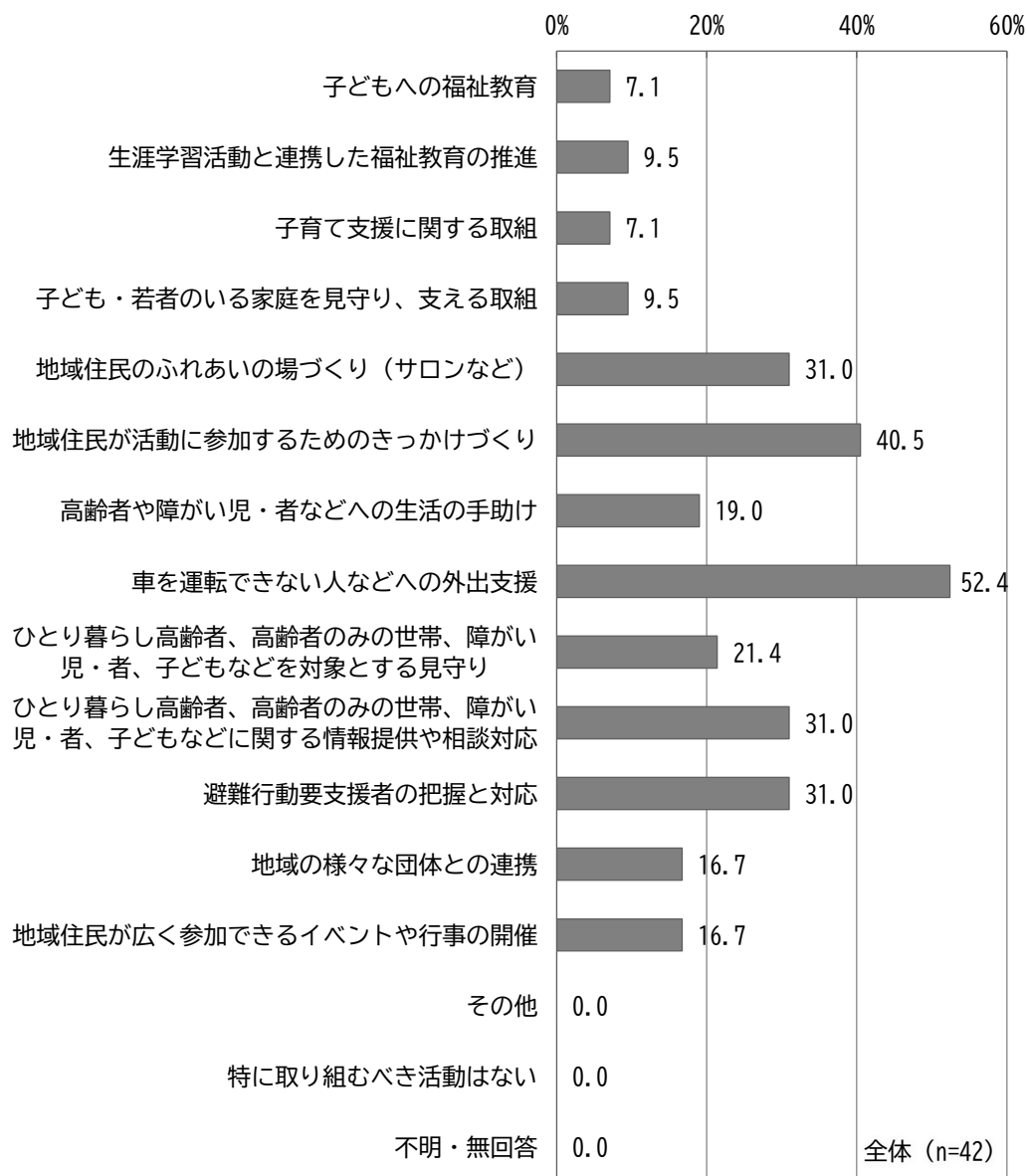
問 15 問 14 で回答した対象者の支援に向けた地域の助け合い・支え合い活動を推進するために必要なことは何ですか。（複数回答）

「支援を要する人の情報提供」が 47.6%と最も高く、次いで「活動の担い手となる人材育成」「活動について相談できる機会の充実」がそれぞれ 33.3%となっています。



問 16 今後、あなたがお住まいの地域で、支え合い・助け合い活動を推進するために何が
必要だと思いますか。（複数回答）

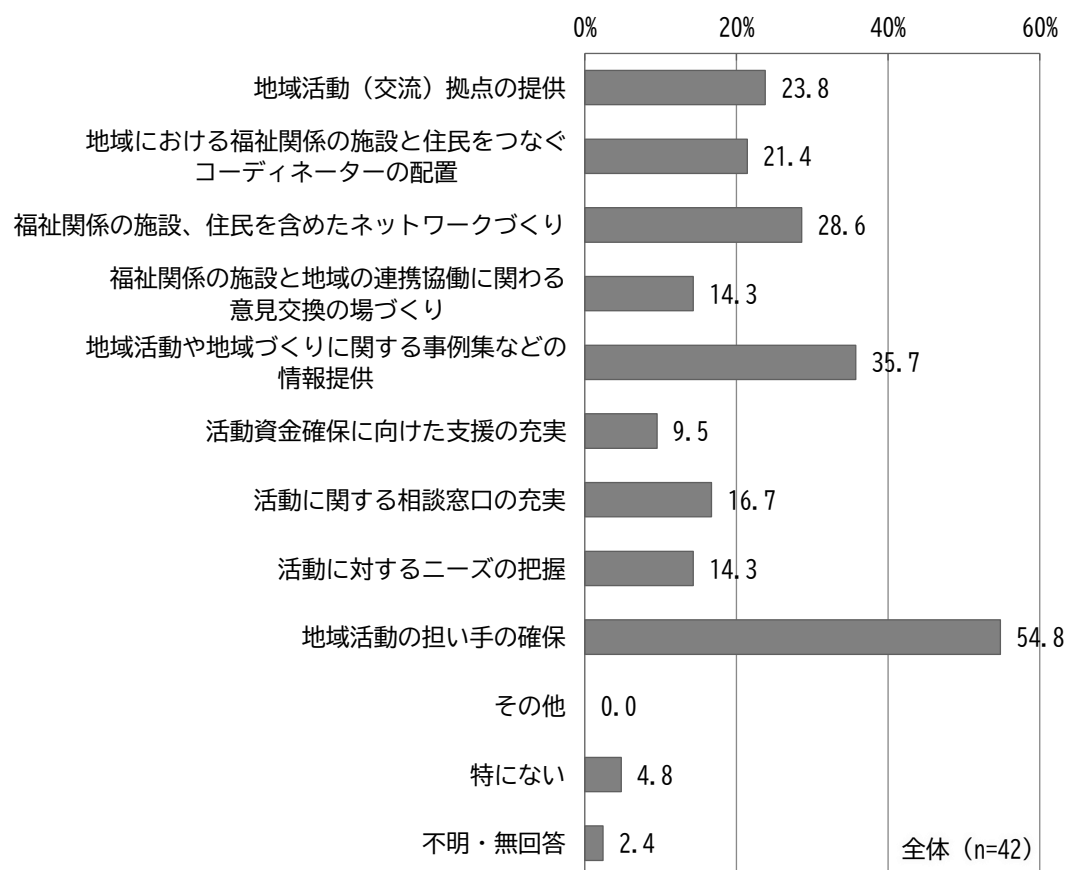
「車を運転できない人などへの外出支援」が 52.4%と最も高く、次いで「地域住民が活動に参加するためのきっかけづくり」が 40.5%となっています。



3. 地域福祉の推進について

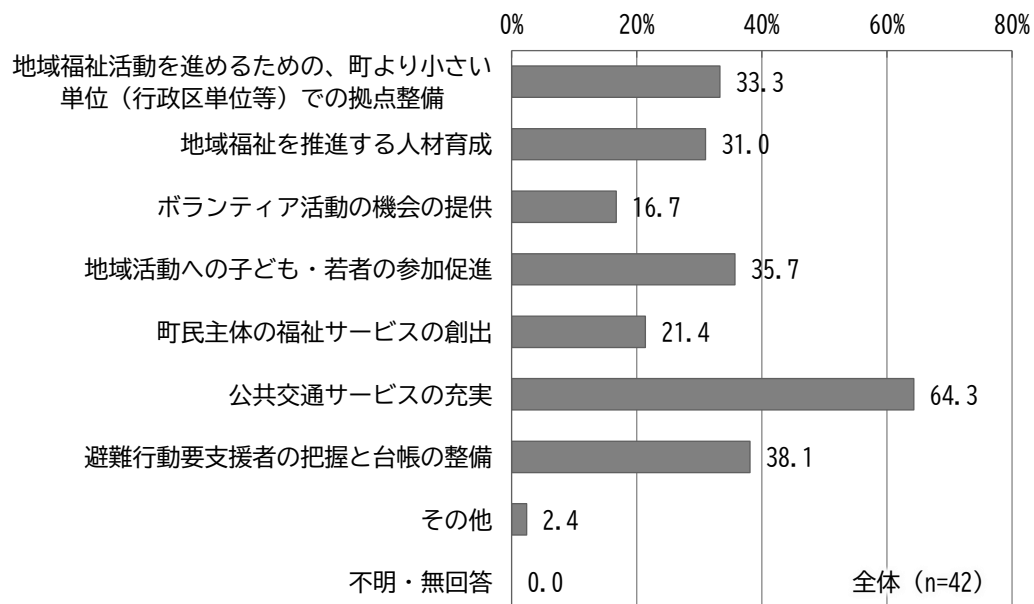
問 17 今行っている活動について、今後、町社会福祉協議会に支援してほしいことは何ですか。（複数回答）

「地域活動の担い手の確保」が 54.8%と最も高く、次いで「地域活動や地域づくりに関する事例集などの情報提供」が 35.7%となっています。



問 18 次の取組のうち、今後、行政（町）で重点的に進めるべきだと思うものはどれですか。（複数回答）

「公共交通サービスの充実」が 64.3%と最も高く、次いで「避難行動要支援者の把握と台帳の整備」が 38.1%となっています。



4. その他・自由意見

問 19 現在の活動を行っている中で悩んでいること、困りごとがございましたらご自由にお書きください。（自由記述）

記述内容
見回る方が多く、家事が重くのしかかっている。「動ける人」に役割を委ねたいと思っている。
自分の居住地域と民生委員としての担当地域が離れているため、担当地域の情報が殆ど入ってきません。一人暮らし高齢者の方からの情報で「あそこの人淋しがってるよ」とか「昼間は一人だから訪ねてあげて」との情報で訪問するのですが、話し相手が欲しく、結構引き止められるなど時間がかかります。一人暮らし高齢者には該当しないのですが、このような淋しい高齢者はまだ他にもあると思いますが、情報は入ってきません。また、「高齢者のみ世帯」の方も年1度くらいしか訪問できません。多分困っている家庭もあると思います。「余計なことしないで」と言われたいような訪問の機会ができると良いなと思います。例えば何かを配布するとか。
26 件の家庭訪問が担当です。丁寧な訪問ができていません。分担に片寄りがありませんか。3 件 6 件の方もいると聞きますが、もう 1 人増やしてもらうなり、他地区から来てもらうなり、お願いできたらと思います。
サロンを開き、全町民とのつながりの場をつくることを目的としている。しかし、サロンを訪ねてくれる方々は代々この地区に住む人である。この地区で新たな住民になった方の参加がない。新しく家を建て、引っ越してくる人が増えているので、その人達とのつながりを持つにはどのようにすればよいか悩んでいる。
個人情報厳しく、一人暮らしの方への声かけの際に話題が無い。せめて、要支援、要介護の保険レベルくらいは情報として教えてほしい。
地域柄なのでしょう、わりと穏やかな方が多く、訪問するととても感謝されるので、私としてもやりがいがあります。

記述内容
周囲もどんどん高齢化し、入院、施設入所、転居などでお年寄りが減ってきてつつあります。福祉サービスにつながった方はそんなに民生委員の訪問は必要ないのではないかなんかと思いつつ訪ねていますが、人と話したい方ばかりで、孤独で淋しいようです。サロンや地域の活動も歩いて行けないとか、他人の中に入りたくないとか、消極的な方も多いです。変な訪問や電話もあるので、ますます警戒して孤立しがちです。老老介護のように高齢者のみの世帯も多いようです。空き家や空き地に新築が建ち転入されても、顔を合わせることもなく、自治会や子ども会に入らない人もいますので、元から住んでいる方の孫、曾孫の世代で共通の話題も無く、かわりがありませぬ。区の行事も一生懸命されても参加が減ってきて、自治会役員もなり手が見つかりにくい。防災防犯のためにもなんとかしたい、とずっと思っています。
まだまだ活動がやっと分ってきたところです。今のところ活動でいっぱいな状況です。もう少し経験を積むと広く目が向くのかかもしれません。3年でやっと活動に慣れてきたような気がしています。
高齢者の訪問の件数が多く負担になるので、民生委員の負担を少なくしないとなり手がなくなる。
男性の一人暮らし高齢者宅への訪問で、言葉かけが難しい方がいるので、毎回緊張してしまう。今年から「おしゃべりサロン」を開催したが、毎回参加してくれる人が同じで人数が増えず、もっと多くの方に参加してもらいたいと思う。魅力あるサロンにするにどうしたら良いか。
近隣住民の迷惑行為に関する訴えが意外に多く、その都度自治会と等と対策を検討しているが、非協力的な方も少なくない。コミュニティのつながりをつくる取り組みが先決であろうかと思う。
毎年、児童館の子どもまつりが開催されていますが、児童館に通っている子どもだけではなく、全児童を対象とした催し（地区別）があればよいと思います。
毎月の訪問者で元気がよく、ほとんど自宅にいない車で出かける方が1人みえる。不在表に記入しておいてきますが、連絡は1度もないです。時間を変えて訪問しても会えず、前はコミュニティセンターのカラオケのところへ行って、声かけを1度しました。夜に訪問したことがないのですが、夜に訪問をした方がいいのか迷っています。
一人暮らし高齢者の中で見回り登録されていない方を訪ねていくが、何度行っても会えない。近所の方に伺うと、息子さんがいるとのことで少し安心した。見回り登録していない方で、足が不自由でチャイムを鳴らしても、出てこない。返答もなく、いつも息子さんに状況をうかがうのみである。
ひきこもり家庭が2件ある。どうアプローチしてよいか、わからない。不登校の問題が気になる。
困りごとの実態が分からない。個人情報保護のため、うわべだけの活動になる。町で個々の問題を把握して、本人が訪問してもよいと言われるのであれば伺いたい。
あまり地域で困っている方の役に立てている気がしない。訪問している高齢者の方も近くに家族が住んでいて毎日のように顔を合わせている方とか、ヘルパーさんが毎日こられる方、お友達が多くいつも出かけてられる方ばかりで、あまり訪問の必要性を感じない。土曜サロン等の参加者もいつも同じで、元気に社会参加されている方ばかりである。何か的外れな活動になっている気がする。
高齢者で体調が悪く、訪問を嫌がっている方がいる。電話で様子をうかがっても迷惑そう。
地区の民生委員が1人なので、早くもう1人の委員を探してください。
昨年開催された一人暮らし高齢者事業について、皆様楽しみにされていたが、今年は開催されなかった。参加費等を出してもぜひ開催してほしいと多くの方より話があった。参加者は1日の楽しい思いを体験したようである。是非、実現してほしい。

問 20 「支え合う地域づくり」をはじめ福祉全般について、民生委員・児童委員として取り組みたいことや、ご意見・ご要望がございましたらご自由にお書きください。
(自由記述)

記述内容
地区コミュニティセンターでのサロンや様々な行事に出かけてほしいのですが、声をかけても「知り合いがいない」「出かける足が無い」など、出かけてほしい人が参加できない状況が多くあります。来てほしい人に来てもらうにはどうしたら良いのでしょうか。
本当に一人暮らしだが町に届け出をしない人が多く、一人暮らし認定されている人が身内と同敷地に住んでいて、本当なら許可されないはずの人もあるので、見直しが必要ではないか。
個人個人のレベル、スキルの差を縮小する。
訪問している方が入所や入院した時に家族の方から役場に連絡がないのか、何回も訪問して留守のような時に、家族に連絡を取って初めて分かる事があるので、そのような事がなくなるとありがたい。
転入の際に自治会や子ども会に入りたくなるような広報（何のために自治会に入るんですか？何のための区費ですか？と拒否されることもあるとききました）、現状の区や町の行事、保育園・学校でのウェルカムな雰囲気づくり、顔を合わせたら挨拶、親しみを感じてもらえる声かけを地道に重ねていくしかないのかなと思います。以前ネットで、若い人が回覧板も嫌だし地区の活動も無関心だったけど、たまたまお隣のおばあさんが（独居）倒れていた際、回覧板を持って行ったときに発見したので、やっぱり意味があった！との書き込みを見ました。そういうアプローチ、青少年でも若者でも向かい三軒両隣のセキュリティの気持ちに火をつけるような、犬の散歩、子どもとの散歩でもちょっとした意識を持って、守る側で手を借りたいというようなアピールが良いのかもしれません。
訪問活動や地域の住民の方から、近所の空き家の管理ができていない状況の中、成長しすぎた木や草の問題、ブロック壁や火事の心配を何件か受けています。役場で所有者の住所と名前を知ることができましたが、それ以降の対応で困りました。1件は区長さんの助言で進展しましたが、他はなかなか解決までたどり着けそうにありません。何か方法があると良いと思います。
民生委員の活動は大事だと思いますが、もっと役場の支援が必要だと思います。若い方が協力して参加できるように、報酬も増やして募集した方が良いのではないかと思います。
行政にお願いしたい事 ①地域福祉活動を行政区（コミュニティセンター拠点）単位。これまで私の地区の自治会は、案件によっては民生委員と一緒に活動しています。特にサロンが、地域包括支援センターと民生委員との情報交換の場となっています。個人で活動する、民生には自治会の協力が不可欠だと思います。 ②高齢者障がい者向け交通サービスの充実について。一人暮らしの高齢者は、買い物や病院に行くにも大変苦労しています。また、自治会のイベントサロンにも多くの高齢者が参加していますが、大半はリピーターです。新たな人を誘いますが「行きたいが運転できない」とのことです。

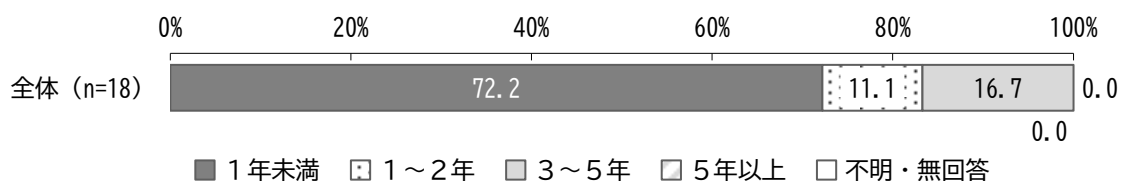
記述内容
皆が集まれるコミュニティセンターが地域の1番高い所にあり、そこまで行くのが大変です。長い坂道が続き、行きたくてもいけない人が大勢います。じゅんかい君のバス停が地域の1番上と下で、バス停まで行くのも大変です。中央にバス停がありません。本数も少なく、利用できないのが問題です。もっとバスを利用しやすくするために、バス停まで行かなくても、利用者の1番近いバス通りまで出て合図をすると止まるようにすれば、利用が増えると思います。そうすれば、特に高齢者は助かるし、皆が集まる場所への参加も増え、生活が変わると思います。
災害があった時の避難行動要支援者の把握を、自治会とともに検討したい。
地区内の団体（子ども会・老人クラブ・サークル・企業・行政など）と定期的に話し合いができると良い。福祉施設も含め、顔見知りになるだけでも大切な事だと思う。
子どもから高齢者まで個々の年齢層を対象とした集まり、講座、ボランティア活動を働かせたいと考えている。
一人暮らし高齢者が毎年増加しているので、隣に子どもが住んでいる方は一人暮らし世帯の見守りから除外した方が民生委員の負担が軽減すると思います。
地域交流の拠点と担い手の確保を、まず目指していきたいです。
新しく住んでいる方で自治会や子ども会に入っている方がいないので、顔が見えてこないのはさみしく思います。
公民館を拠点に出前講座などを行ってほしい。地域の人と出会い、顔見知りとなる機会が多くなると良い。健康たまり場教室のおかげで、地域の人々と親しくお話しする機会も持てて、共同体の仲間意識、支え合おうという意識が強くなった。誰でも参加できるようまず、交通の利便性を第1に図ってほしい。公民館まで遠くデマンドタクシーを予約して参加しているが、予約が取れない時は欠席せざるを得ない方がいた。誘っても、「遠いから行きようがないから無理」という方も多くいた。
ひきこもりや不登校の相談や居場所、活動場所の提供。母親の話し相手になりたい。
警察官2人が私の家を巡回訪問してくれた。各住民の名簿と緊急連絡先を持っており、何かあれば助けてくれる安心感はある。どこの警察、交番でもやっていることではないと思う。人口の多い所では無理である。 民生委員も2人1組で全家庭を訪問しても良いと思う（玄関先で）。1年に1度が無理なら数年に1度でも良いので、支え合うきっかけになればと思う。
本当に孤立してしまっている方、支援が必要な方に手が届くような活動ができるなら、多少の労力がかかっても取り組みたいと思うが、現在の民生委員の活動は地域づくり活動に参加する人数合わせのような感じ。無駄に忙しいと感じることが多い。文化産業まつりの出展は、民生委員としてやる意味があるのか疑問に思う。社会参加ができない方にアプローチできるような取り組みが、民生委員の役割だと思う。

(3) 区長・自治会長調査

1. 活動の状況について

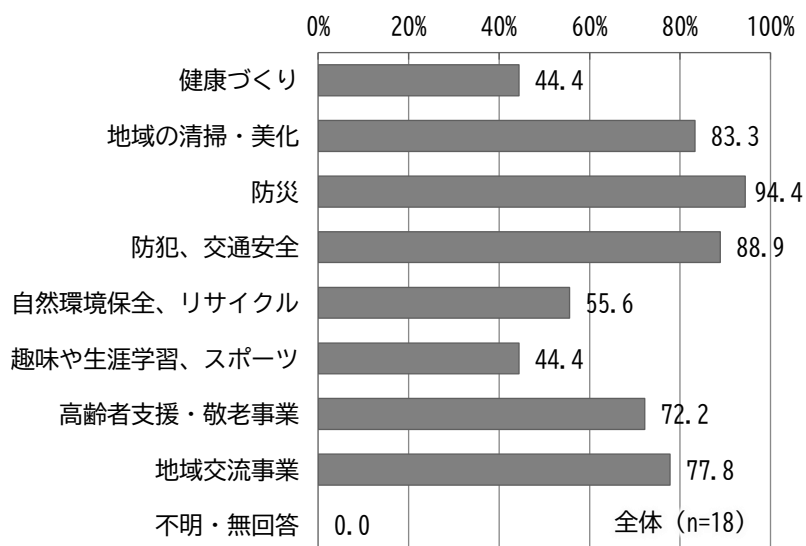
問1 通算の在職年数をお答えください。(単数回答)

「1年未満」が72.2%と最も高く、次いで「3～5年」が16.7%となっています。



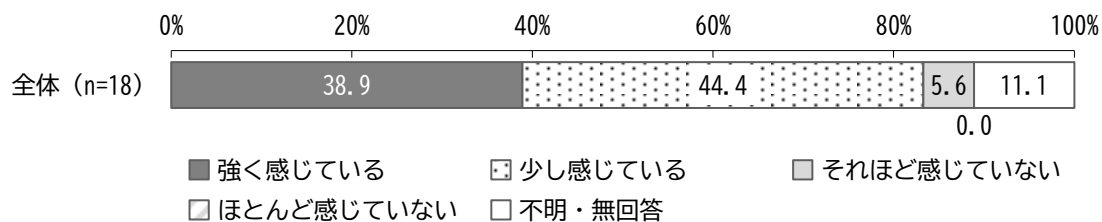
問2 現在の活動の内容は次のうちどれですか。(複数回答)

「防災」が94.4%と最も高く、次いで「防犯、交通安全」が88.9%となっています。



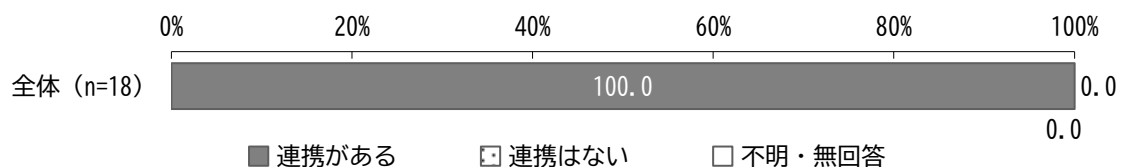
問3 現在の活動にやりがいを感じられていますか。(単数回答)

『感じている』(「強く感じている」と「少し感じている」の合算)が83.3%、『感じていない』(「それほど感じていない」と「ほとんど感じていない」の合算)が5.6%となっています。



問4 地域活動の中で、他の組織・団体との連携はありますか。(単数回答)

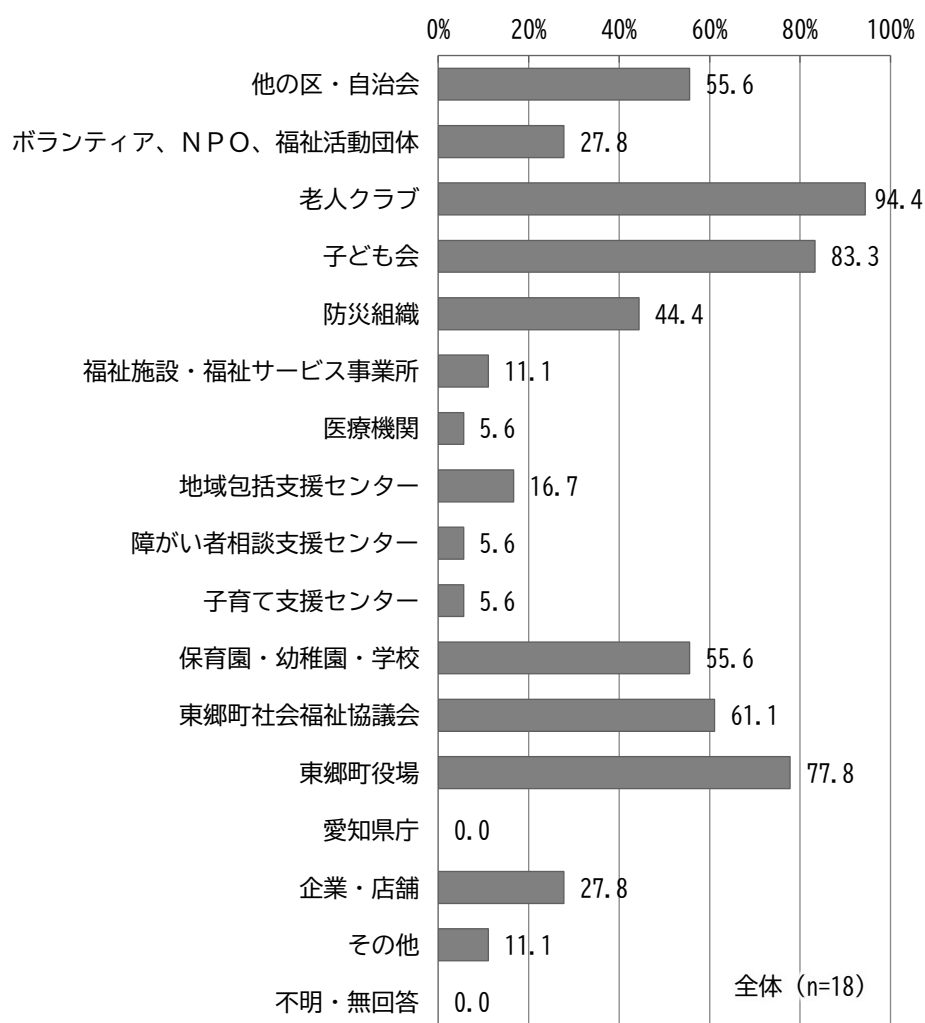
「連携がある」が100.0%となっています。



問4で「1 連携がある」と回答した方

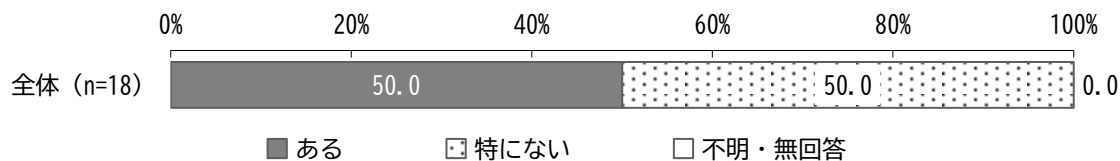
問4-1 連携がある組織・団体は次のうちどれですか。(複数回答)

「老人クラブ」が94.4%と最も高く、次いで「子ども会」が83.3%となっています。



問5 今後、地域活動の中で連携をとりたい組織・団体はありますか。(単数回答)

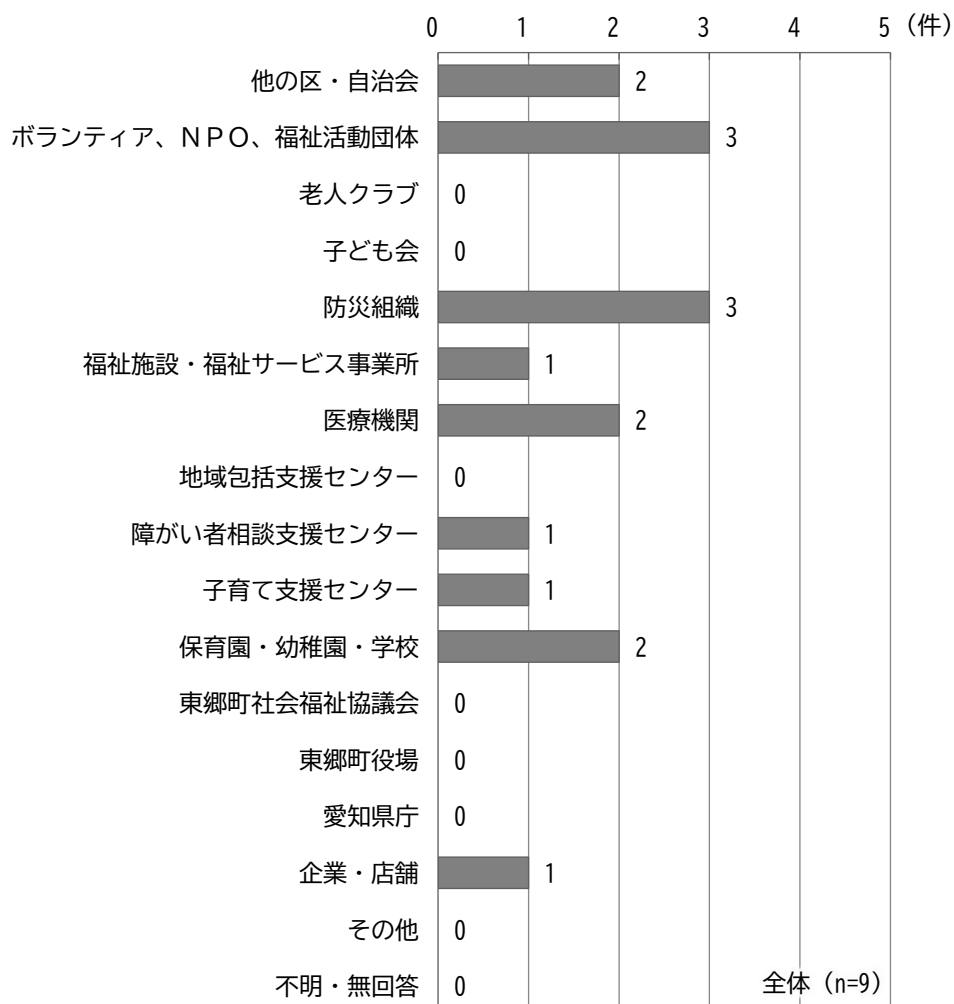
「ある」が50.0%、「特にない」が50.0%となっています。



問5で「1 ある」と回答した方

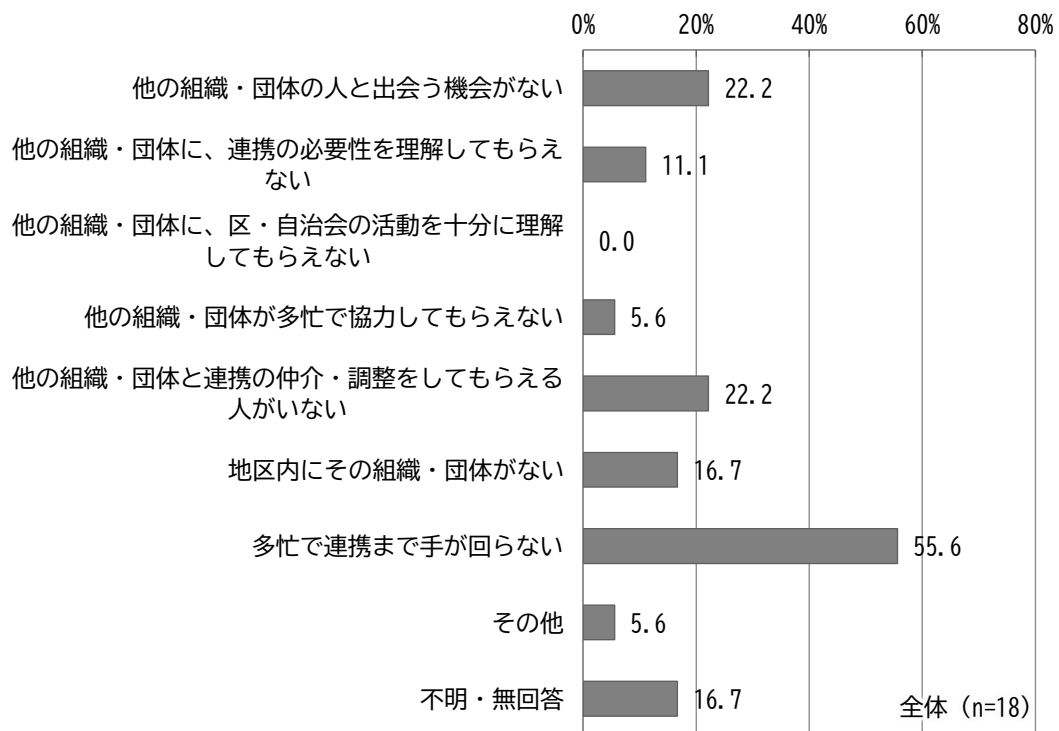
問5-1 これから連携していきたい組織・団体は次のうちどれですか。(複数回答)

「ボランティア、NPO、福祉活動団体」「防災組織」がそれぞれ3件と最も多く、次いで「他の区・自治会」「医療機関」「保育園・幼稚園・学校」がそれぞれ2件となっています。



問6 他の組織・団体と連携しようとする上で困っていることはありますか。(複数回答)

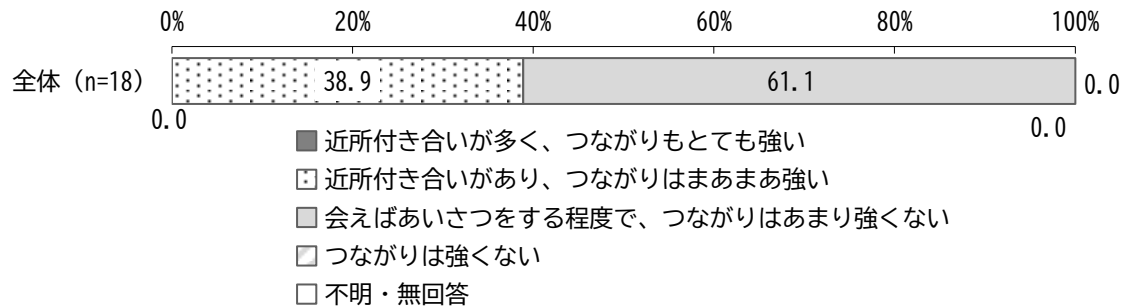
「多忙で連携まで手が回らない」が55.6%と最も高く、次いで「他の組織・団体の人と出会う機会がない」「他の組織・団体と連携の仲介・調整をしてもらえる人がいない」がそれぞれ22.2%となっています。



2. 地域について

問7 あなたがお住まいの地域では、地域のつながりが強いですか。（単数回答）

『つながりは強い』（「近所付き合いが多く、つながりはとても強い」と「近所付き合いがあり、つながりはまあまあ強い」の合算）が38.9%、『つながりは強くない』（「会えばあいさつをする程度で、つながりはあまり強くない」と「つながりは強くない」の合算）が61.1%となっています。



■『つながりは強い』と思う理由（自由回答）

記述内容
区が主催の「ふれあい事業」に、コロナ禍で落ち込んでいた集まりが復活してきたと思います。
元々、地元の方が多い。
ある地域では強いが、離れた山の中の方はとても弱い。全体的につながりが強い地域でも新規加入した若い世代は弱い。
なるべく声を聞くようにしている（自治会の人たち）。
近所付き合いであれば、新規住民であれ、従前からの住民であれ、それなりにあると思う。区全体を見た場合、区役員・子ども会役員等を通して、つながりは徐々に強くなっていくと思う（あいさつをするだけでも）。

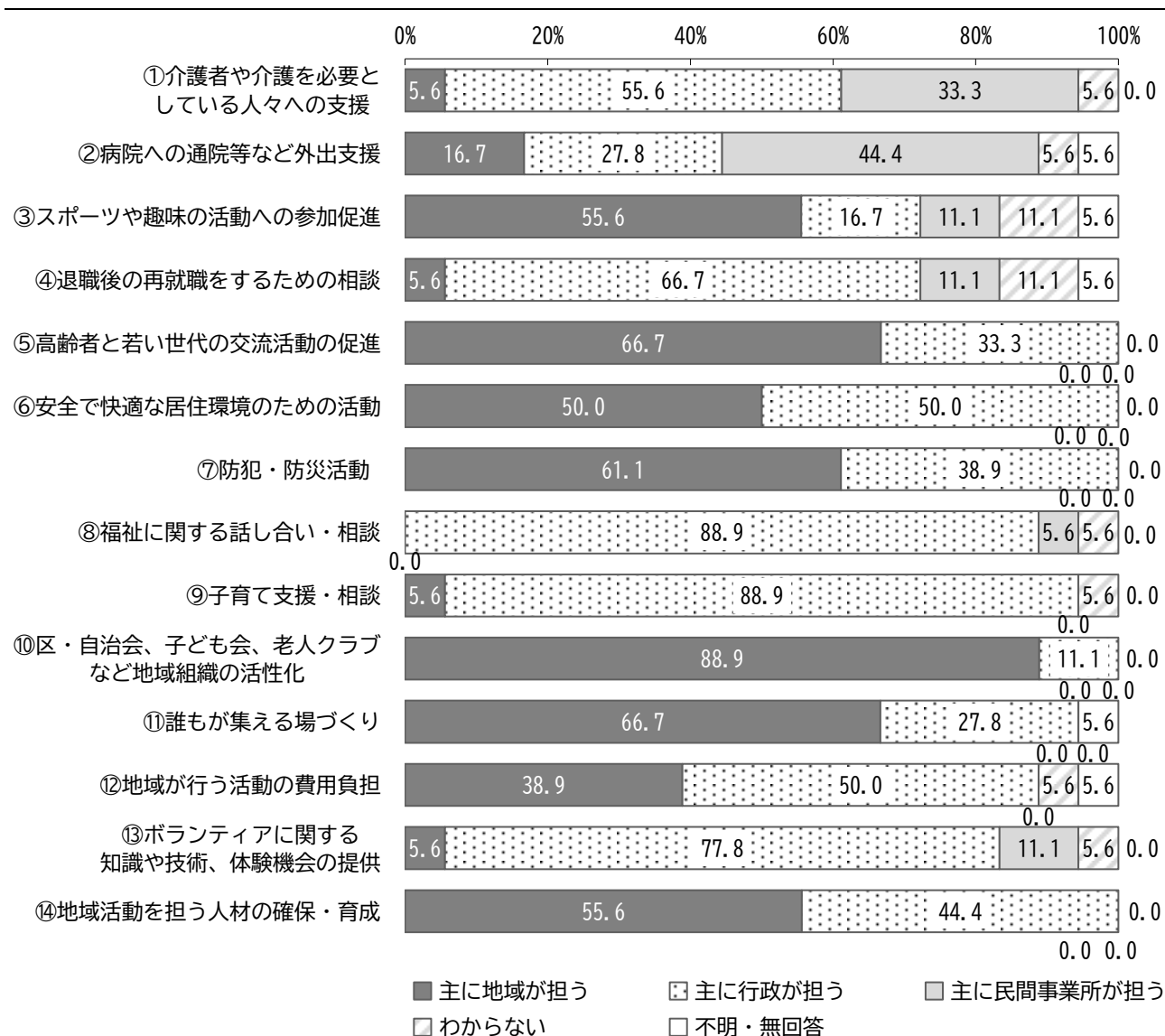
■『つながりは強くない』と思う理由（自由回答）

記述内容
世代間交流が少なく、また、歩み寄りが少ないことが原因かと思います。子育て世帯は子育て、共働き等で地域のことに時間を割く余裕がない。
高齢者になっても生活に不安があり、仕事をしなければならなくなるなど、近所付き合いが希薄となっているのが現状です。
自治会員以外は管理組合の大掃除しか一緒に活動することがない。
地域での近所付き合いのつながりが強くない理由について考えると、いくつかの要因が挙げられるが、まず、仕事や家庭の忙しさから、地域活動に参加する時間が取れない人が増えている。また、高齢化により、地域のイベントや活動に参加することが難しくなっている。高齢化が進む中で、住民同士の距離感が広がり、近所付き合いが希薄になっている傾向がある。新しい住民が増えることで地域のコミュニティが一体感を持つことが難しくなっている場合もある。また、インターネットやSNSの普及により、オンラインでのコミュニケーションが主流となり、顔を合わせる機会が減少していることも影響している。これらにより、地域でのつながりが希薄化していると思う。

記述内容
集合住宅のみで構成されている地域のため、住民が地域を創ってきた意識が薄い。近年、外国人居住者が増加しており、習慣の違いや言語等、意思の疎通の難しさがある。UR賃貸は自治会加入者で情報交換、交流の機会を得てない。
散歩している方に挨拶をしても無視される。小学校の交通ボランティアをしているが、挨拶をしても返してくれない。自治会員が減少している。
近所同士のコミュニケーション不足を感じます。つながりが弱いと嫌なことが目に付くようになり、ますます疎遠になっていくようです。
少子高齢化による人口減少、核家族化、働き方や生活様式の多様化などにより、地域でのつながりの機会が減少している。
同じ組に転居してきても挨拶がないので名前もわからない状態（自治会にも入っていない）である。
新しく生まれた方や若い世帯はつながりを拒否するのか、つながりが強くない。

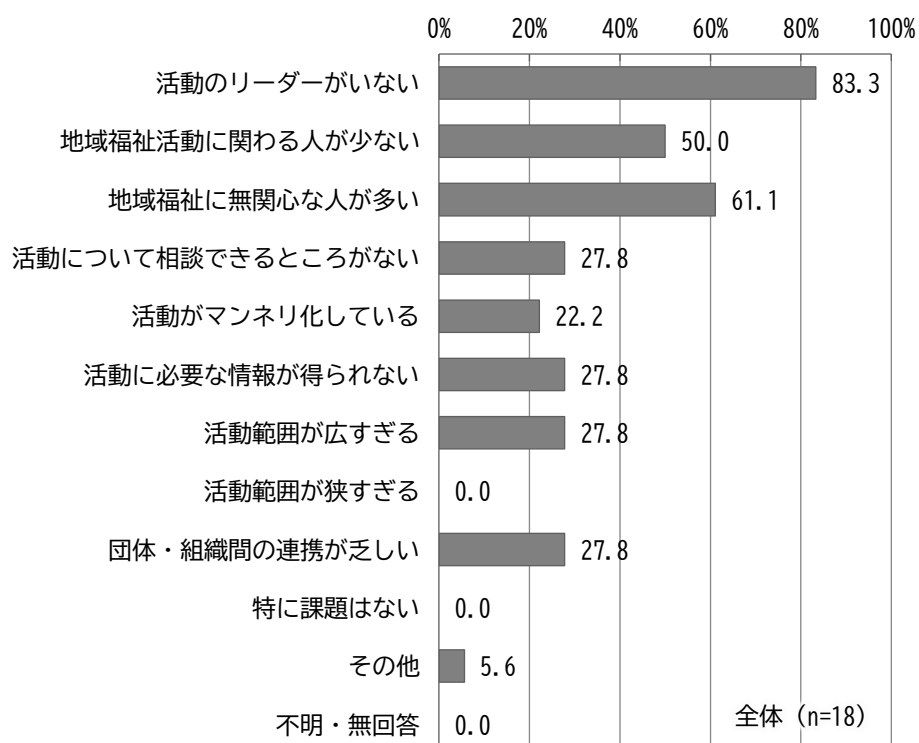
問 8 地域での人とのつきあいや関わり方について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（それぞれ単数回答）

〔⑩区・自治会、子ども会、老人クラブなど地域組織の活性化〕で「主に地域が担う」が88.9%と、他の項目と比べて高くなっています。



問9 あなたがお住まいの地域では、地域住民による地域の支え合い活動を進めるにあたっての課題はありますか。(複数回答)

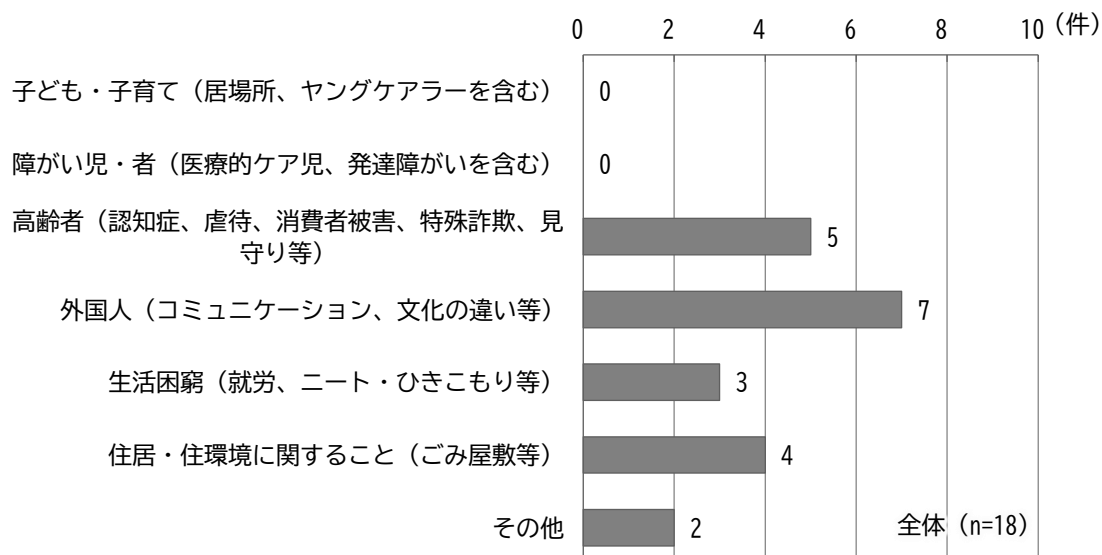
「活動のリーダーがない」が83.3%と最も高く、次いで「地域福祉に無関心な人が多い」が61.1%となっています。



問10 様々な要因が重なって解決を困難にしている事例が報告されています。活動を通して経験した対応が難しいと感じた分野の組み合わせを選び、その具体的事例の内容をご記入ください。(複数回答)

「外国人（コミュニケーション、文化の違い等）」が7件と最も多く、次いで「高齢者（認知症、虐待、消費者被害、特殊詐欺、見守り等）」が5件となっています。

※回答のあった件数を分野ごとに示しています。

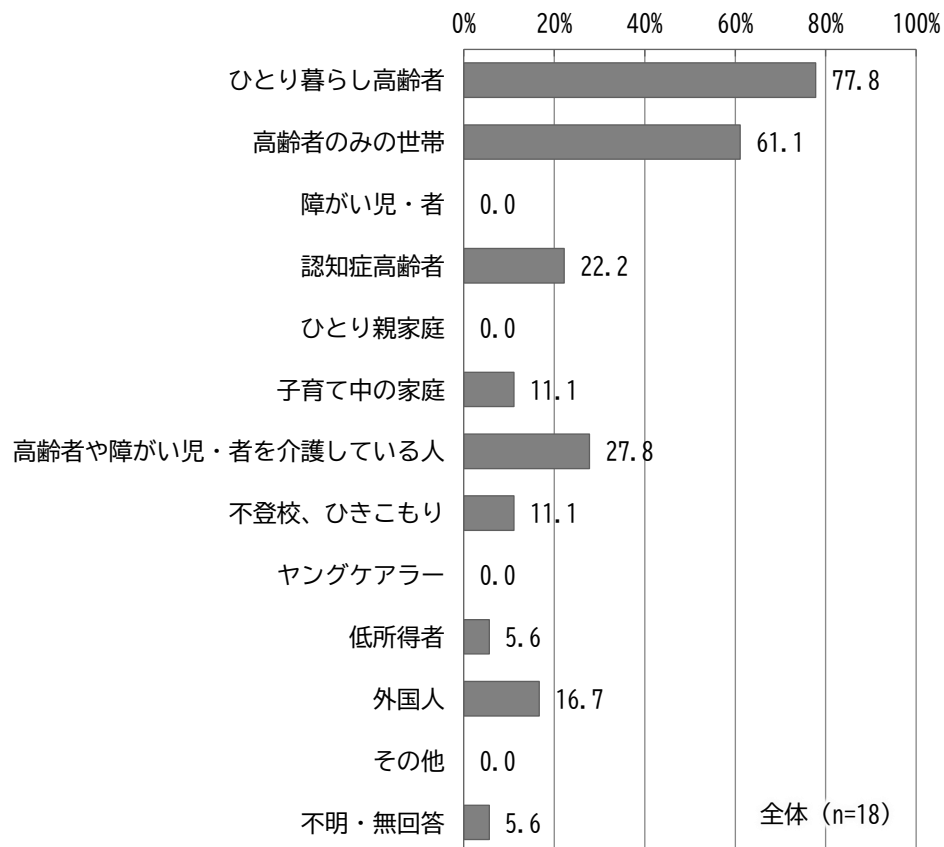


■ 具体的事例（自由回答）

該当する分野	事例内容
高齢者	じゅんかい君の便数が13便から4便と大幅に減少されて、免許を持たない一人暮らし高齢者は、生活していく上での必要諸施設への移動がまったくない。
	一人暮らし高齢者への見守りの範囲（距離感）の判断が難しい。
外国人	言葉の問題で、コミュニケーションがうまくとれない。
	文化の違いがあり、ごみの分別がスムーズに進めず、近隣住民からの苦情が多い。
	ゴミの分別ができていない。回収日の散乱がなされていない。
住居・住環境に関する こと	ごみの放置問題。共同住宅が増えるにしたがって問題が多発している。
	住居周辺の無管理地への対応（雑草の手入れ）。
	空き家、空き地の増加から草木の管理不足。
その他	区民の減少、担い手の減少。
	自治会用務が多忙である。住民の防災意識が低い。
高齢者、外国人、生活困窮	うわさでは聞くが、残念ながら自治会行政に期待していないため、未加入の声が直接聞けない。
高齢者、生活困窮	個人情報の問題から、どの方が支援を必要としているのかが分からない。
外国人、生活困窮	地域の住民同士が交流できる機会を多くし、顔見知りの人を多くすることが大事であり、地域力のUPにつながると思います。
外国人、住居・住環境に関する こと	外国の方がゴミ捨てのルールを理解しておらず、回収してもらえない。

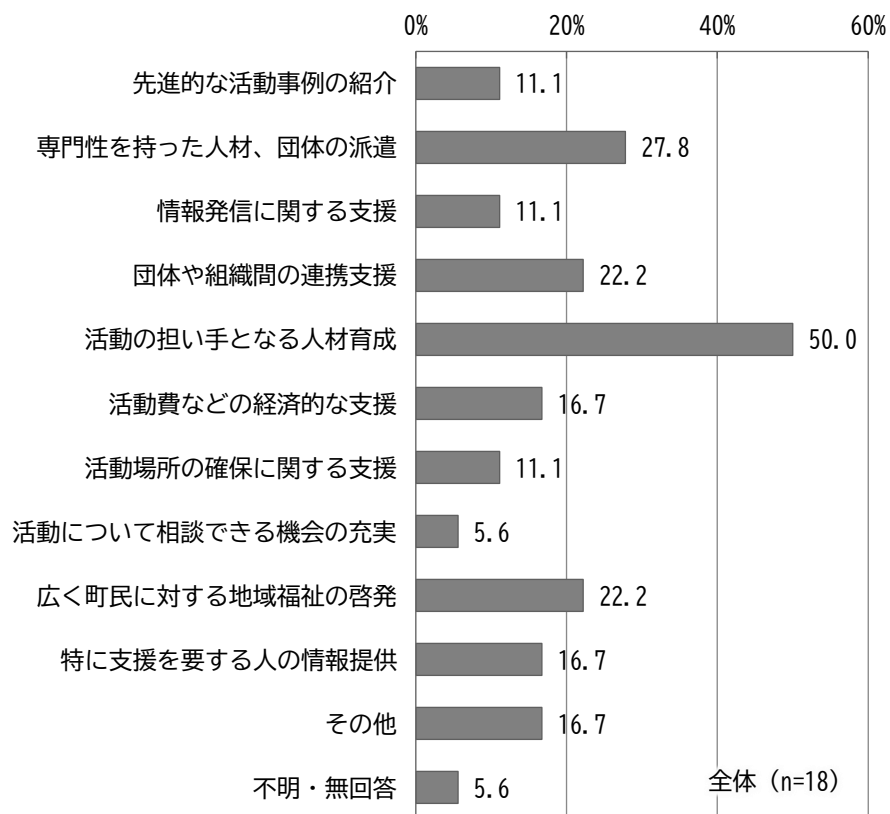
問 11 あなたがお住まいの地域において、これから特に支援が必要だと思う対象は誰ですか。（複数回答）

「ひとり暮らし高齢者」が 77.8%と最も高く、次いで「高齢者のみの世帯」が 61.1%となっています。



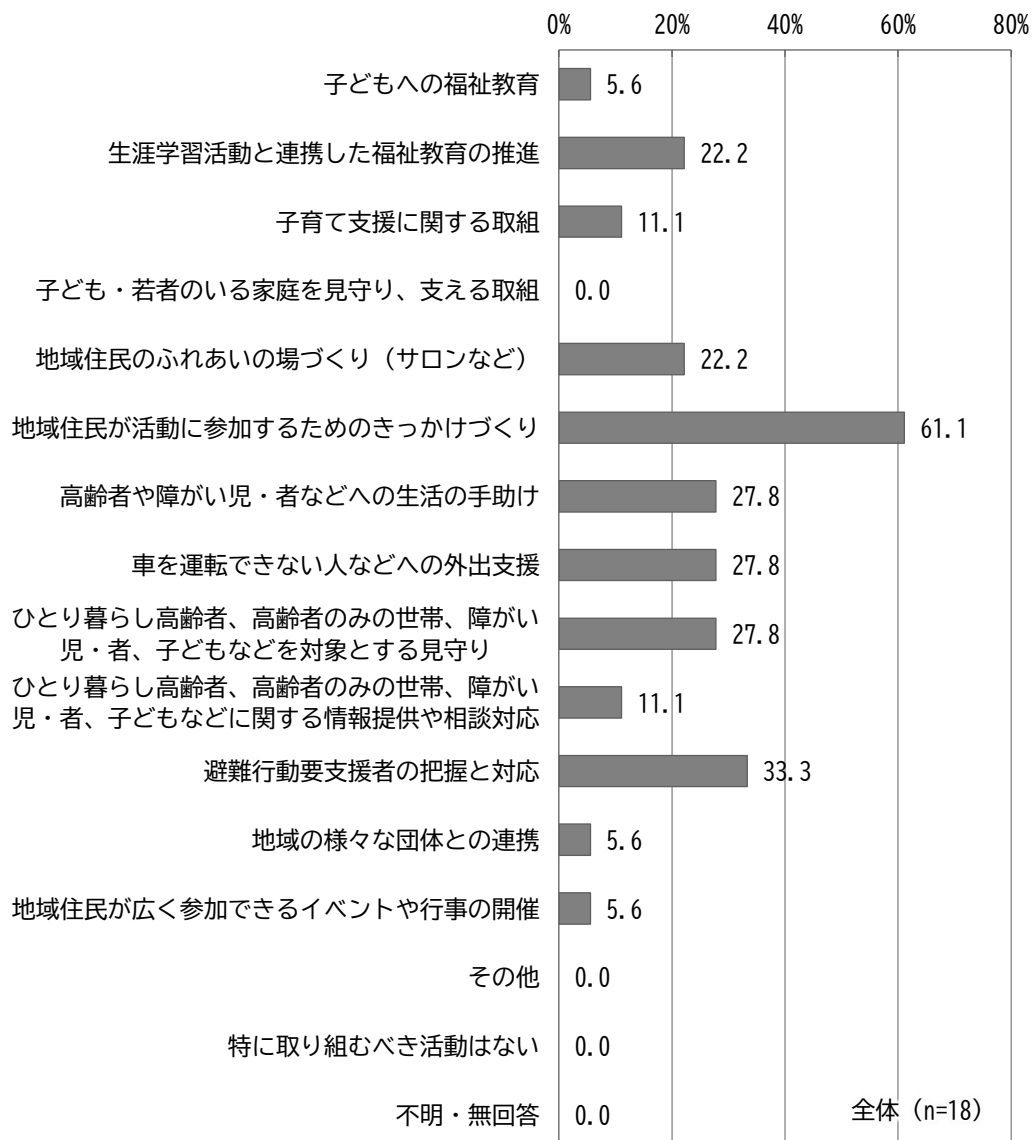
問 12 問 11 で回答した対象者の支援に向けた地域の支え合いを推進するために必要なことは何ですか。(複数回答)

「活動の担い手となる人材育成」が 50.0%と最も高く、次いで「専門性を持った人材、団体の派遣」が 27.8%となっています。



問 13 今後、あなたがお住まいの地域で、支え合い・助け合い活動を推進するために何が
必要だと思いますか。(複数回答)

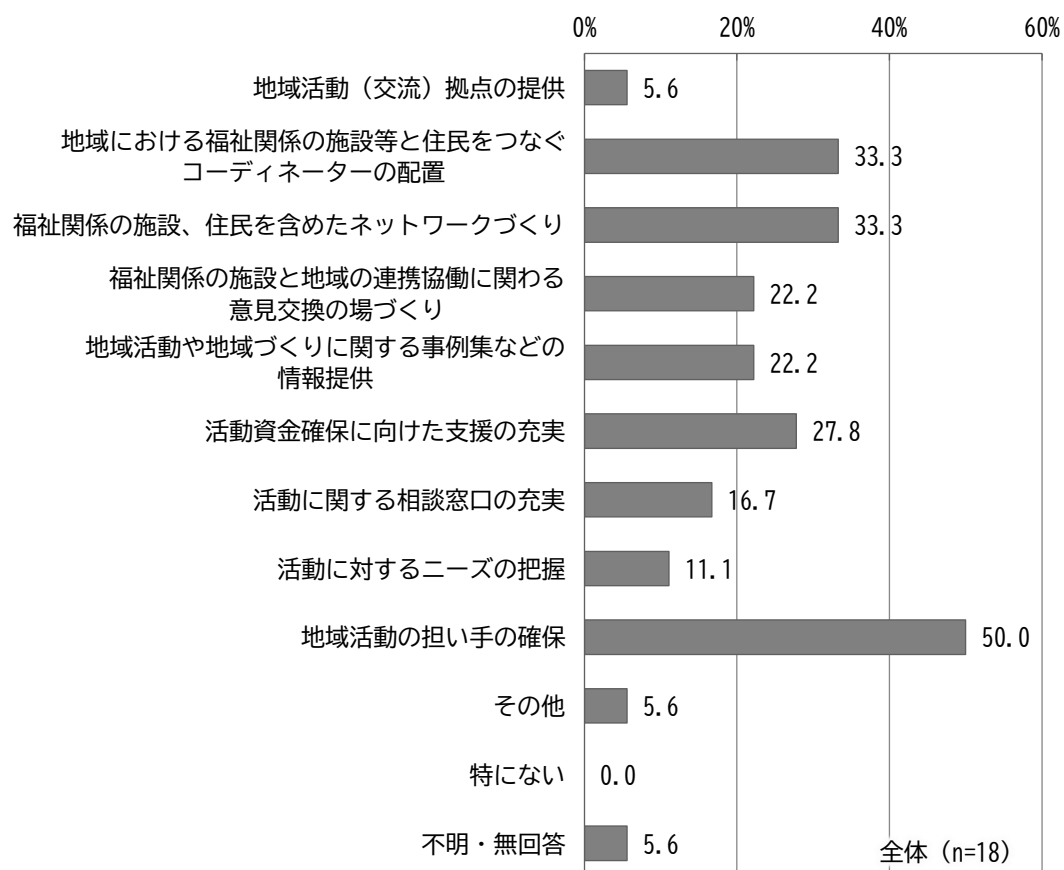
「地域住民が活動に参加するためのきっかけづくり」が 61.1%と最も高く、次いで「避難行動要支援者の把握と対応」が 33.3%となっています。



3. 地域福祉の推進について

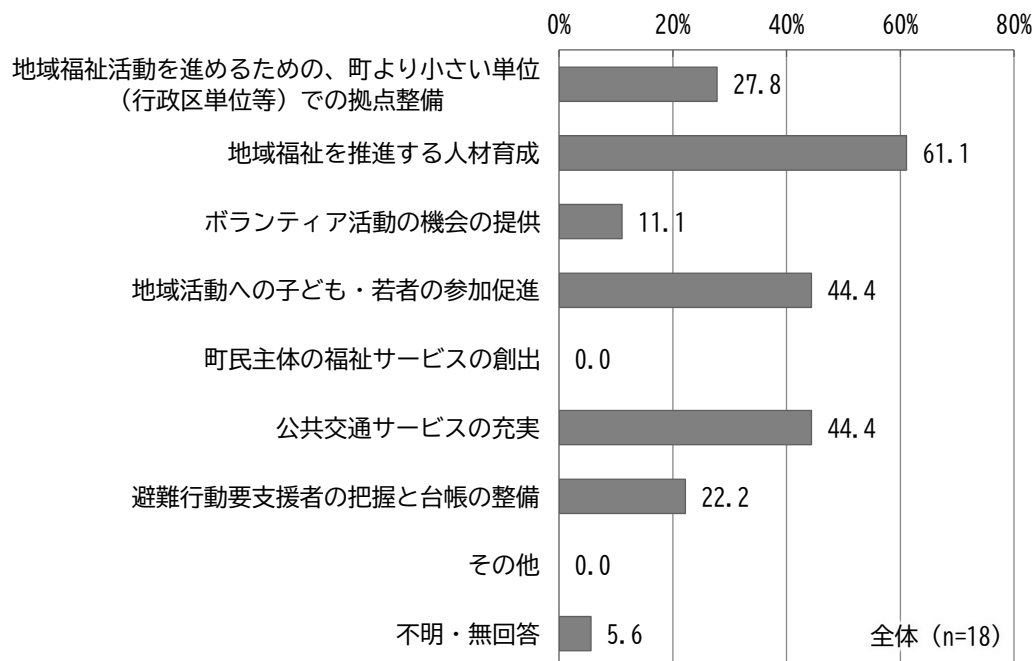
問 14 今行っている活動について、今後、町社会福祉協議会に支援してほしいことは何ですか。（複数回答）

「地域活動の担い手の確保」が 50.0%と最も高く、次いで「地域における福祉関係の施設等と住民をつなぐコーディネーターの配置」「福祉関係の施設、住民を含めたネットワークづくり」がそれぞれ 33.3%となっています。



問 15 次の取組のうち、今後、行政（町）で重点的に進めるべきだと思うものはどれですか。（複数回答）

「地域福祉を推進する人材育成」が61.1%と最も高く、次いで「地域活動への子ども・若者の参加促進」「公共交通サービスの充実」がそれぞれ44.4%となっています。



4. その他・自由意見

問 16 「支え合う地域づくり」をはじめ福祉全般について、地域での困りごとや、ご意見・ご要望がございましたらご自由にお書きください。（自由記述）

記述内容
令和3年にじゅんかい君の再編が行われてから3年が経ち、日に日に生活上の困難に直面する方を早く支援しないと、本当に町として問題だと思います。支え合う地域づくり以前の問題です。食べ物を買うお店がない地域もあります。また、集落も多く、生活上どうしても外に出かけなければいけない所もあります。6月議会の一般質問で、じゅんかい君の見直し時期の質問に対して、令和8年に策定、令和9年からの実施という回答に開いた口が塞がりません。これだけ多くの切実な声が発せられている現実を、見て見ぬふりは許されないと思います。
交通安全週間が年に4回は多すぎるので、減らしてほしい。地域コミュニティ活性化支援で1事業5万円と単純に割り当てられるのではなく、大型イベントに支援の拡大をしてほしい。他の課の困り事だが、負担軽減をしてもらわないと、こちらから福祉支援の意見をくみ上げる聞き取りは厳しい。
地域での支え合いと福祉の充実は重要な課題となっていますが、これらを実現するためにはいくつかの問題点があります。例えば、地域のつながりが希薄化していることが挙げられます。都市化やライフスタイルの変化により、住民同士の交流が減少し、近所付き合いが薄れています。これにより、地域での支え合いが難しくなっています。福祉サービスについては、人員不足が問題となっています。高齢化社会が進む中で、介護や福祉サービスを必要とする人が増加しているが、それに対応するための人員が不足しているといわれています。また、地域での福祉活動に対する理解や協力が不足していることも問題です。多くの人が忙しい日常生活を送る中で、地域活動やボランティアに参加する時間がとれないことが多く、結果として地域全体での支え合いが難しくなっています。行政と地域住民との連携が十分でない場合があります。行政が提供する福祉サービスや支援策が住民に十分に伝わっていないことや、住民のニーズが行政に適切に反映されていないことも問題だと思います。これらの問題を解決するためには、地域や住民同士の交流を促進し、支え合いの地域を高めることが重要だと思います。
若い人の場合は育児についての相談、困り事などの相談場所が少ないことが考えられる。「母親・ばあちゃん」型の相談や、気軽に話をすることができる会があればよいと思う。高齢者の場合（免許返納、一人暮らし対応）は、役場へ交通、地下鉄駅への利便性の実現が必要だと思う。
現在は各自治区で民生委員等の役員を推薦しているが、高齢化が進んでいる当地域では、今後ますます推薦等による人選ができない状況になります。町全体で選出方法を検討する時になっていると思います。
自治会の役員（区長、評議員等）のなり手が不足している。
自治会員と非自治会員の区別化が必要である。例えば、資源ごみ回収場は自治会で管理し、清掃を行っている。町からはネットのみの支給で、それだけでは容量不足である。カラスからの被害対策には対応しきれていないので、自治会で容器を購入している。すべて自治会費からの出費である。その中、非自治会員が回収場所を使用することへの憤りを感じる。また、新たに資源回収場所を設置しようとしても非自治会員の反対に遭い、設置不可になった事例もある。町からのよく言われる「すべての住民の承諾を得てください。」では、自治会活動が円滑に進められない。

記述内容
自治会を退会される方が多い。長年のつけかと思うが、自治会としての魅力がない。草刈りを依頼しても地主さんに無視される。また、見積もりをとるのに苦労する。業者を紹介してほしい。本来、地主さんが責任をもって草刈りを実施すべきであり、自治会が依頼して草刈りを行うのはおかしい。ゴミ捨てのマナーが悪く、ゴミ置き場がきれいに保てない。戸別回収を行ってほしい。公園のボール遊びのルールを守らない子どもがいるため、周辺住民からの苦情が絶えない。(ボールがフェンスを越えて窓ガラスや車にボールが当たる。)
「支え合う地域づくり」については、世代・年齢・環境等によって温度差があるのは承知していますが、日々の生活の中で適温(平温)を維持することの大切さは誰しもが抱く共通の思いと察する。一人ではできることに限界があるが、「支え合う(相互に)地域づくり」を通じて何をするのか。まずは地域住民の平温を守るにはどうするのか?を住民(組員)同士で話す機会と場所(区役場でも)を設けることが大前提だと思う。地域での出来事(トラブルや楽しいこと)・生活・福祉などの課題についてメンバー(組員)で話し合い、その内容について吟味し、解決(より良い方向)に向けて、関係機関と協議できる機会と場所があることが重要だと思う。地区内でのトラブルがあると、その当事者を「困った人」だと言いがちになることがあるが、その当事者の背景を知ることによって、実は「困っている人」だと気づかされることがあり、それによって対処の仕方も変わるものだと思う。
高齢化により車の免許返納者が増え、じゅんかい君の利用者も増える傾向にあると思います。その反面、じゅんかい君の運行本数が少ないです。スーパーや商業施設、役場やいこまい館方面の運行を増やしてほしいです。行きの便は時間を合わせて乗るが、帰りの便が待ち時間が長いとの意見がありました。私が住んでいる地域でも高齢化が進み、高齢者の一人暮らしが増えました。人との接触、会話も少なくなり、一人暮らしで軽い認知症の方もいます。一人で生活できるか、施設に入れるかの判断も難しい高齢者もいます。自治会の方でも一人暮らし高齢者の安否確認はできない状況で、ヘルパーさんや福祉の方に任せています。これからは自治会の方でも高齢者の見守りとしてできることがあるか、ご指導をお願いします。一人暮らしの高齢者にヘルプブザーを配布して、首にさげるようにすれば、緊急のブザー音で室内や屋外でも助けることができると思います。また、私の地区には子ども会がありません(母親同士のトラブルでなくなりました)。そのため、七夕やクリスマス会等の行事はなく、自治会のグラウンドゴルフや盆踊りで子どもたちが大人と触れ合うだけです。東郷町の子育て支援や福祉の方で、子ども会が再活動できるように保護者に呼びかけてほしいです。
コロナ禍により地域活動が停止したことで、以前の活動が困難になりました。地域におけるコミュニティ活動がますます希薄になっています。地域での支え合う力が弱くなってきています。情報化により地域での相談より、自分に合った情報・福祉サービスを探すことが可能となり、ますます地域とのつながりが必要なくてもサービス・支援が受けられます。時代に合った支援とは何かを考えさせられます。

問17 地域福祉の推進のために、今後自治会としてやっていきたいことがございましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

記述内容
じゅんかい君の運行について、協議する地域公共交通会議でこのような事態を予想できたならば、とんでもない再編案にならなかったと思います。地域公共交通はドライバー2024年問題で窮地に立たされているといわれるが、本町の面積でのこの事例を引き出すのはまったくの間違いです。福祉の部門の委員を加え、悠長なことを言っている場合ではないことをお示しいただいて、早急な見直しを強く進めてもらいたいです。
自治会として、次の取り組みを今後も行っていききたいと思う。 1 地域住民の交流促進。令和4年度から夏祭りから秋祭りに変更、昼間に実施し、子どもや高齢者が参加できるまつりとして行ってきたが、参加者が年々多くなったので、若者や高齢者など幅広い世代の交流の場として今後もこのようなイベントを実施していきたい。 2 防災対策の強化。地域住民が災害時に協力し合えるように、防災訓練や避難訓練を定期的に開催し、災害時に迅速な対応ができるようにする。
福祉で何を柱にするかを明示する必要があると思う。地域としては現在、区費を納入している区民に対しての対処と、区費を納入していない住民が多くいる現状下で、まず未納者の対策を考えることが急務である。「平等の不平等」が当たり前のような現状を変えつつ、本当に必要な人に対しての福祉を考え、実現可能な対応を考えなければならない。
当地区では管理組合、管理会社があり、自治会と管理組合の違いが理解されていない住民が多い。また、地域特性として自治会員としてのメリットを感じない住民も多く、退会される方が近年多くなっている。具体的な事例として、ごみの収集場所は管理組合が提供、清掃も行っている。夏祭り、もちつき大会等も自治会主催であるが、小学生以下はおかしのつかみどりなどは無料で提供している。また、非自治会員も当日に多少の負担で楽しんでもらえるようにしている。現在も管理組合と連携し多くのことを行っているが、今後も連携強化する方向で考えている。
子どもは増加しており、夏場のクーラーのきいた遊び場として区のホール等を提供したいが、見守る人が不足。または、どうしたら募集できるか（財源は不足）。
来年度以降の会長にコミセン建設を託します。
ごみ置き場のパトロール化。避難所運営のルール化。避難する方を対象とした小学校を使用しての避難訓練。
定期的に各関係機関と交流会を開催できたらと思う。子ども会・老人クラブ・サークル団体・民生委員等で話すことで、地域内の課題がみえてきたり、その解決に向けて協議する中で良いアイデアや対処の方法が出てくると思う。
普段から、コミュニケーションがとれる活動が必要ではないかと思います。元気な時に情報を得ることです。